

令和3年度

熊本大学

博士課程教育リーディングプログラム  
グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラム  
HIGO  
(HIGO プログラム)

シラバス

URL: <https://higoprogram.jp/>

問い合わせ先：熊本大学 医薬保健学系事務課  
医学事務チーム HIGO プログラム担当  
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号  
TEL: 096-373-5006 FAX: 096-373-5031  
E-mail: [higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp)

## 授業時間

	大江キャンパス	本荘キャンパス	黒髪キャンパス
1時限	8:40 - 10:10	8:45 - 10:15	8:40-10:10
2時限	10:20 - 11:50	10:30 - 12:00	10:25-11:55
3時限	12:50 - 14:20	13:15 - 14:45	12:55-14:25
4時限	14:30 - 16:00	15:00 - 16:30	14:40-16:10
5時限	16:10 - 17:40	16:45 - 18:15	16:25-17:55
6時限	18:00 - 19:30	18:30 - 20:00	18:10-19:40

## HIGO プログラム シラバス 目次

### 1. HIGO コースの授業科目、単位数及び履修方法

#### 医学教育部

基礎コース	7
専門コース	8
4 年コース	9

#### 薬学教育部

基礎コース	11
専門コース	12
4 年コース	13

#### 履修届様式

#### 医学教育部

基礎コース	14
専門コース	16
4 年コース	17

#### 薬学教育部

基礎コース	19
専門コース	21
4 年コース	22

### 2. 講義科目（医学教育部開講科目）

時間割コード	26
HIGO 生体構造学Ⅰ	27
HIGO 生体構造学Ⅱ	28
HIGO 生体機能学Ⅰ	29
HIGO 生体機能学Ⅱ	30
HIGO 生命倫理学	31
HIGO 臨床病理学	32
HIGO 社会医学総論	33
HIGO 医療情報・倫理学理論	34
HIGO 生体分子情報学理論	35
HIGO 細胞機能制御学理論	36
HIGO 造血免疫制御学理論	37
HIGO 感染病態制御学理論	38
HIGO 神経情報科学理論	39
HIGO 神経機能科学理論	40
HIGO 発生再生医学理論	41
HIGO 先端診断医学理論	42
HIGO 先端治療医学理論	43

HIGO 代謝循環制御学理論	44
HIGO 発達生育医学理論	46
HIGO 腫瘍先端医学理論Ⅰ	47
HIGO 腫瘍先端医学理論Ⅱ	48
HIGO 機能再建医学理論	49
HIGO がん治療学理論	50
HIGO 緩和ケア学理論	51
HIGO 臨床研究理論	52
HIGO 環境社会医学理論	53

### 3. 講義科目（薬学教育部開講科目）

時間割コード	56
HIGO 有機化学特論	57
HIGO 物性化学特論	58
HIGO 医薬品学特論	59
HIGO 薬物動態学特論	60
HIGO 生体機能学特論	61
HIGO 臨床薬学特論	62
HIGO 薬物送達学特論	63
HIGO 先端医療学特論	64
HIGO 創薬学特論	65
HIGO 薬学生化学特論	66
HIGO 有機合成学特論	67
HIGO 天然物化学特論	68
HIGO 病態遺伝子解析学特論	69
HIGO 臓器形成学特論	70
HIGO 医療薬学論文研究	71
HIGO 薬剤疫学特論	72
HIGO 医療経営学特論	73
HIGO 医療薬科学特論	74
HIGO 医薬品治験開発特論	75
HIGO 専門薬剤師特論	76
HIGO トランスレーショナル基礎講座	77

### 4. 講義科目（共通開講科目）

時間割コード	80
HIGO 社会文化科学総論	81



## 5. 演習・実習・研究指導科目

時間割コード	84
--------	----

### ◎基礎コース

HIGO 行政セミナー I	85
HIGO 企業セミナー I	86
HIGO 中国語講座 I	87
HIGO 英語講座 I	88
HIGO 日本語講座 I	89
HIGO 特別実習 I	90
HIGO 行政インターンシップ I	91
HIGO 企業インターンシップ I	92
HIGO 海外インターンシップ I	93
HIGO 最先端研究プロジェクト I	94

### ◎専門コース

HIGO 行政セミナー II	95
HIGO 企業セミナー II	96
HIGO 中国語講座 II	97
HIGO 英語講座 II	98
HIGO 日本語講座 II	99
HIGO 行政インターンシップ II	100
HIGO 企業インターンシップ II	101
HIGO 海外インターンシップ II	102
HIGO 最先端研究セミナー II	103
HIGO 最先端研究プロジェクト II	104

### ◎4 年コース

HIGO 特別実習	105
HIGO 行政セミナー	106
HIGO 企業セミナー	107
HIGO 中国語講座	108
HIGO 英語講座	109
HIGO 日本語講座	110
HIGO 行政インターンシップ	111
HIGO 企業インターンシップ	112
HIGO 海外インターンシップ	113
HIGO 最先端研究セミナー	114
HIGO 最先端研究プロジェクト	115

◎基礎コース、4年コース共通

HIGO リーダーシップトレーニング講座	116
----------------------	-----

◎専門コース、4年コース共通

HIGO 研究プレゼンテーション	117
HIGO 公共政策演習Ⅰ	118
HIGO 公共政策演習Ⅱ	119
HIGO 技術マネジメント演習Ⅰ	120
HIGO 技術マネジメント演習Ⅱ	121
HIGO 異文化コミュニケーション演習Ⅰ	123
HIGO 異文化コミュニケーション演習Ⅱ	124
HIGO 社会文化科学課題演習	126

# **1. HIG0 コースの授業科目**

## **単位数及び履修方法**



## HIGOコースの授業科目、単位数及び履修方法(医学教育部)

## HIGOプログラム基礎コース

授業科目	単位数		履修方法	備考	
	必修	選択			
HIGO生体構造学Ⅰ		1	3単位以上	医学教育部開講	
HIGO生体構造学Ⅱ		1			
HIGO生体機能学Ⅰ		1			
HIGO生体機能学Ⅱ		1			
HIGO生命倫理学		1			
HIGO臨床病理学	1				
HIGO社会医学総論	2				
HIGO医療情報・倫理学理論		2	4単位以上		
HIGO生体分子情報学理論		2			
HIGO細胞機能制御学理論		2			
HIGO造血免疫制御学理論		2			
HIGO感染病態制御学理論		2			
HIGO神経情報科学理論		2			
HIGO神経機能科学理論		2			
HIGO発生再生医学理論		2			
HIGO先端診断医学理論		2			
HIGO先端治療医学理論		2			
HIGO代謝循環制御学理論		2			
HIGO発達生育医学理論		2			
HIGO腫瘍先端医学理論Ⅰ		2			
HIGO腫瘍先端医学理論Ⅱ		2			
HIGO機能再建医学理論		2			
HIGOがん治療学理論		2			
HIGO緩和ケア学理論		2			
HIGO臨床研究理論		2			
HIGO有機化学特論		1	4単位以上	薬学教育部開講	
HIGO物性化学特論		1			
HIGO医薬品学特論		1			
HIGO薬物動態学特論		1			
HIGO生体機能学特論		1			
HIGO臨床薬学特論		1			
HIGO薬物送達学特論		1			
HIGO先端医療学特論		1			
HIGO創薬学特論		1			
HIGO薬学生化学特論		1			
HIGO有機合成学特論		1			
HIGO天然物化学特論		1			
HIGO病態遺伝子解析学特論		1			
HIGO臓器形成学特論		1			
HIGO社会文化科学総論	2			社会文化科学研究科開講	
HIGO行政セミナーⅠ	1			共通開講	
HIGO企業セミナーⅠ	2				
HIGO中国語講座Ⅰ		1	2単位以上※		
HIGO英語講座Ⅰ		1			
HIGO日本語講座Ⅰ		1			
HIGO特別実習Ⅰ	2				
HIGOリーダーシップトレーニング講座	1				
HIGO行政インターンシップⅠ	1				
HIGO企業インターンシップⅠ	1				
HIGO海外インターンシップⅠ	1				
HIGO最先端研究プロジェクトⅠ	8				

※母国語以外の言語で実施される授業科目の単位を修得しなければならない。

HIGOプログラム専門コース

授業科目		単位数		履修方法	備考
		必修	選択		
HIGO行政セミナーⅡ		1			共通開講
HIGO企業セミナーⅡ		2			
HIGO中国語講座Ⅱ			1	2単位以上※1	
HIGO英語講座Ⅱ			1		
HIGO日本語講座Ⅱ			1		
HIGO行政インターンシップⅡ			1	3単位以上	
HIGO企業インターンシップⅡ			1		
HIGO海外インターンシップⅡ			1		
HIGO研究プレゼンテーション			1		
キャリアアビリティ開発コース	HIGO公共政策演習Ⅰ		2	4単位以上	
	HIGO公共政策演習Ⅱ		2		
	HIGO技術マネジメント演習Ⅰ		2		
	HIGO技術マネジメント演習Ⅱ		2		
	HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅰ		2		
	HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅱ		2		
HIGO社会文化科学課題演習		2			
HIGO最先端研究セミナーⅡ		6			
HIGO最先端研究プロジェクトⅡ		10			

※1 母国語以外の言語で実施される授業科目の単位を修得しなければならない。

## HIGOプログラム4年コース

授業科目	単位数		履修方法	備考	
	必修	選択			
HIG0環境社会医学理論	2				
HIG0医療情報・倫理学理論		2	3単位以上※1	医学教育部開講	
HIG0生体分子情報学理論		2			
HIG0細胞機能制御学理論		2			
HIG0造血免疫制御学理論		2			
HIG0感染病態制御学理論		2			
HIG0神経情報科学理論		2			
HIG0神経機能科学理論		2			
HIG0発生再生医学理論		2			
HIG0先端診断医学理論		2			
HIG0先端治療医学理論		2			
HIG0代謝循環制御学理論		2			
HIG0発達生育医学理論		2			
HIG0腫瘍先端医学理論Ⅰ		2			
HIG0腫瘍先端医学理論Ⅱ		2			
HIG0機能再建医学理論		2			
HIG0がん治療学理論		2			
HIG0緩和ケア学理論		2			
HIG0臨床研究理論		2			
HIG0有機化学特論		1		3単位以上※2	薬学教育部開講
HIG0物性化学特論		1			
HIG0医薬品学特論		1			
HIG0薬物動態学特論		1			
HIG0生体機能学特論		1			
HIG0臨床薬学特論		1			
HIG0薬物送達学特論		1			
HIG0先端医療学特論		1			
HIG0創薬学特論		1			
HIG0薬学生化学特論		1			
HIG0有機合成学特論		1			
HIG0天然物化学特論		1			
HIG0病態遺伝子解析学特論		1			
HIG0臓器形成学特論		1			
HIG0医療薬学論文研究		1			
HIG0薬剤疫学特論		1			
HIG0医療経営学特論		1			
HIG0医療薬科学特論		1			
HIG0医薬品治験開発特論		1			
HIG0専門薬剤師特論		1			
HIG0トランスレーショナル基礎講座		1			
HIG0社会文化科学総論	2				
HIG0特別実習	1			共通開講	
HIG0行政セミナー	1				
HIG0企業セミナー	1				
HIG0中国語講座		1	1単位以上※2		
HIG0英語講座		1			
HIG0日本語講座		1			
HIG0行政インターンシップ		1	3単位以上		
HIG0企業インターンシップ		1			
HIG0海外インターンシップ		1			
HIG0研究プレゼンテーション		1			

キャリア アビ ジ ョ ン 開 発 コ ー ス	HIGO公共政策演習Ⅰ		2	4単位以上	共通開講
	HIGO公共政策演習Ⅱ		2		
	HIGO技術マネジメント演習Ⅰ		2		
	HIGO技術マネジメント演習Ⅱ		2		
	HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅰ		2		
	HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅱ		2		
	HIGO社会文化科学課題演習	2			
	HIGOリーダーシップトレーニング講座	1			
	HIGO最先端研究セミナー	2			
	HIGO最先端研究プロジェクト	10			

※1 医学教育部において開講される授業科目から1単位以上、薬学教育部において開講される授業科目から1単位以上修得しなければならない。

※2 母国語以外の言語で実施される授業科目の単位を修得しなければならない。



## HIGOコースの授業科目、単位数及び履修方法(薬学教育部)

## HIGOプログラム基礎コース

授業科目	単位数		履修方法	備考
	必修	選択必修		
HIGO有機化学特論	1			薬学教育部開講
HIGO物性化学特論	1			
HIGO医薬品学特論	1			
HIGO薬物動態学特論	1			
HIGO生体機能学特論	1			
HIGO臨床薬学特論	1			
HIGO薬物送達学特論		1	4単位以上	
HIGO先端医療学特論		1		
HIGO創薬学特論		1		
HIGO薬学生化学特論		1		
HIGO有機合成学特論		1		
HIGO天然物化学特論		1		
HIGO病態遺伝子解析学特論		1		
HIGO臓器形成学特論		1		
HIGO生体構造学Ⅰ		1	4単位以上	医学教育部開講
HIGO生体構造学Ⅱ		1		
HIGO生体機能学Ⅰ		1		
HIGO生体機能学Ⅱ		1		
HIGO生命倫理学		1		
HIGO臨床病理学		1		
HIGO社会医学総論		2		
HIGO医療情報・倫理学理論		2		
HIGO生体分子情報学理論		2		
HIGO細胞機能制御学理論		2		
HIGO造血免疫制御学理論		2		
HIGO感染病態制御学理論		2		
HIGO神経情報科学理論		2		
HIGO神経機能科学理論		2		
HIGO発生再生医学理論		2		
HIGO先端診断医学理論		2		
HIGO先端治療医学理論		2		
HIGO代謝循環制御学理論		2		
HIGO発達生育医学理論		2		
HIGO腫瘍先端医学理論Ⅰ		2		
HIGO腫瘍先端医学理論Ⅱ		2		
HIGO機能再建医学理論		2		
HIGOがん治療学理論		2		
HIGO緩和ケア学理論		2		
HIGO臨床研究理論		2		
HIGO社会文化科学総論	2			社会文化科学研究科開講
HIGO行政セミナーⅠ	1			共通開講
HIGO企業セミナーⅠ	2			
HIGO中国語講座Ⅰ		1	2単位以上※	
HIGO英語講座Ⅰ		1		
HIGO日本語講座Ⅰ		1		
HIGO特別実習Ⅰ	2			
HIGOリーダーシップトレーニング講座	1			
HIGO行政インターンシップⅠ	1			
HIGO企業インターンシップⅠ	1			
HIGO海外インターンシップⅠ	1			
HIGO最先端研究プロジェクトⅠ	8			

※母国語以外の言語で実施される授業科目の単位を修得しなければならない。

# HIGOプログラム専門コース

授業科目		単位数		履修方法	備考
		必修	選択必修		
HIGO行政セミナーⅡ		1		2単位以上※1	共通開講
HIGO企業セミナーⅡ		2			
HIGO中国語講座Ⅱ			1		
HIGO英語講座Ⅱ			1		
HIGO日本語講座Ⅱ			1		
HIGO行政インターンシップⅡ			1	3単位以上	
HIGO企業インターンシップⅡ			1		
HIGO海外インターンシップⅡ			1		
HIGO研究プレゼンテーション			1		
キャリア アビ ジ ョ ン 開 発 コ ー ス	HIGO公共政策演習Ⅰ		2	4単位以上	
	HIGO公共政策演習Ⅱ		2		
	HIGO技術マネジメント演習Ⅰ		2		
	HIGO技術マネジメント演習Ⅱ		2		
	HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅰ		2		
	HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅱ		2		
HIGO社会文化科学課題演習		2			
HIGO最先端研究セミナーⅡ		6			
HIGO最先端研究プロジェクトⅡ		10			

※1 母国語以外の言語で実施される授業科目の単位を修得しなければならない。

## HIGOプログラム4年コース

授業科目	単位数		履修方法	科目区分
	必修	選択必修		
HIGO医療薬学論文研究		1	5単位以上※1	薬学教育部開講
HIGO薬剤疫学特論		1		
HIGO医療経営学特論		1		
HIGO医療薬科学特論		1		
HIGO医薬品治験開発特論		1		
HIGO専門薬剤師特論		1		
HIGOトランスレーショナル基礎講座		1		
HIGO生体構造学Ⅰ		1		医学教育部開講
HIGO生体構造学Ⅱ		1		
HIGO生体機能学Ⅰ		1		
HIGO生体機能学Ⅱ		1		
HIGO生命倫理学		1		
HIGO臨床病理学		1		
HIGO社会医学総論		2		
HIGO医療情報・倫理学理論		2		
HIGO生体分子情報学理論		2		
HIGO細胞機能制御学理論		2		
HIGO造血免疫制御学理論		2		
HIGO感染病態制御学理論		2		
HIGO神経情報科学理論		2		
HIGO神経機能科学理論		2		
HIGO発生再生医学理論		2		
HIGO先端診断医学理論		2		
HIGO先端治療医学理論		2		
HIGO代謝循環制御学理論		2		
HIGO発達生育医学理論		2		
HIGO腫瘍先端医学理論Ⅰ		2		
HIGO腫瘍先端医学理論Ⅱ		2		
HIGO機能再建医学理論		2		
HIGOがん治療学理論		2		
HIGO緩和ケア学理論		2		
HIGO臨床研究理論		2		
HIGO社会文化科学総論	2			社会文化科学研究科開講
HIGO特別実習	1			共通開講
HIGO行政セミナー	1			
HIGO企業セミナー	1			
HIGO中国語講座		1	1単位以上※2	
HIGO英語講座		1		
HIGO日本語講座		1		
HIGO行政インターンシップ		1	3単位以上	
HIGO企業インターンシップ		1		
HIGO海外インターンシップ		1		
HIGO研究プレゼンテーション		1		
キャリアアビリティ開発コース	HIGO公共政策演習Ⅰ	2	4単位以上	
	HIGO公共政策演習Ⅱ	2		
	HIGO技術マネジメント演習Ⅰ	2		
	HIGO技術マネジメント演習Ⅱ	2		
	HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅰ	2		
	HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅱ	2		
HIGO社会文化科学課題演習	2			
HIGOリーダーシップトレーニング講座	1			
HIGO最先端研究セミナー	2			
HIGO最先端研究プロジェクト	10			

※1 医学教育部において開講される授業科目から1単位以上、薬学教育部において開講される授業科目から1単位以上修得しなければならない。

※2 母国語以外の言語で実施される授業科目の単位を修得しなければならない。

※3 HIGO公共政策演習Ⅰ、HIGO公共政策演習Ⅱ及びHIGO公共政策演習Ⅲ、HIGO技術マネジメント演習Ⅰ、HIGO技術マネジメント演習Ⅱ及びHIGO技術マネジメント演習Ⅲ又はHIGO異文化コミュニケーション演習Ⅰ、HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅱ及びHIGO異文化コミュニケーション演習Ⅲのいずれかの単位を修得しなければならない。



# 大学院医学教育部（修士課程）履修届 (HIGO プログラム基礎コース)

令和 年 月 日

熊本大学大学院医学教育部長 殿

令和 年度入学 学籍番号

氏名：

メールアドレス（必須）

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	印
コース名	基礎コース		

## 【必修科目】

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
HIGO 臨床病理学	1	1～2年次		
HIGO 社会医学総論	2	1～2年次		
HIGO 社会文化科学総論	2	1～2年次		
HIGO 行政セミナー I	1	1～2年次		
HIGO 企業セミナー I	2	1～2年次		
HIGO 特別実習 I	2	1～2年次		
HIGO リーダーシップトレーニング講座	1	1～2年次		
HIGO 行政インターンシップ I	1	1～2年次		
HIGO 企業インターンシップ I	1	1～2年次		
HIGO 海外インターンシップ I	1	1～2年次		
HIGO 最先端研究プロジェクト I	8	1～2年次		
合 計	22			

## 【選択科目Ⅰ】 HIGO 生体構造学Ⅰ及びⅡ, HIGO 生体機能学Ⅰ及びⅡ, HIGO 生命倫理学から3科目3単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
合 計				

## 【選択科目Ⅱ】 医学教育部開講の理論科目から2科目4単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	2	1～2年次		
	2	1～2年次		
	2	1～2年次		
合 計				

裏面に続く

## 【選択科目Ⅲ】薬学教育部開講科目から4科目4単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
合 計				

## 【語学選択科目】HIGO 日本語講座Ⅰ、HIGO 英語講座Ⅰ、HIGO 中国語講座Ⅰから2科目2単位（母国語以外）

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
合 計	2			

備考：履修方法は、本履修案内に記載されている授業科目のうちから35単位以上を修得しなければならない。

大学院医学教育部（博士課程）履修届  
（HIGO プログラム専門コース）

令和     年     月     日

熊本大学大学院医学教育部長    殿

令和\_\_\_\_年度入学    学籍番号\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

メールアドレス（必須）\_\_\_\_\_

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	(印)
コース名	専門コース		

【必修科目】

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
HIGO 行政セミナーⅡ	1	1～4年次		
HIGO 企業セミナーⅡ	2	1～4年次		
HIGO 社会文化科学課題演習	2	1～4年次		
HIGO 最先端研究セミナーⅡ	6	1～4年次		
HIGO 最先端研究プロジェクトⅡ	10	1～4年次		
合 計	21			

【語学選択科目】 HIGO 日本語講座Ⅱ、HIGO 英語講座Ⅱ、HIGO 中国語講座Ⅱから2科目2単位

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～4年次		
	1	1～4年次		
合 計	2			

【選択科目Ⅰ】 インターンシップ科目及び研究プレゼンテーションより3科目3単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～4年次		
	1	1～4年次		
	1	1～4年次		
	1	1～4年次		
合 計				

【選択科目Ⅱ】 キャリアビジョン開発コースより4単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	2	1～4年次		
	2	1～4年次		
	2	1～4年次		
合 計				

備考：履修方法は、本履修案内に記載されている授業科目のうちから30単位以上を修得しなければならない。

【希望する専攻分野（学位）】（以下のうちのいずれかを○で囲んでください）

健康生命科学・医学・生命科学

大学院医学教育部（博士課程）履修届  
(HIGO プログラム 4 年コース)

令和    年    月    日

熊本大学大学院医学教育部長    殿

令和    年度入学    学籍番号    \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

メールアドレス（必須） \_\_\_\_\_

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

分野名		指導教員名	印
コース名	4 年コース		

【必修科目】

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
HIGO 環境社会医学理論	2	1 ～ 4 年次		
HIGO 社会文化科学総論	2	1 ～ 4 年次		
HIGO 特別実習	1	1 ～ 4 年次		
HIGO 行政セミナー	1	1 ～ 4 年次		
HIGO 企業セミナー	1	1 ～ 4 年次		
HIGO 社会文化科学課題演習	2	1 ～ 4 年次		
HIGO リーダーシップトレーニング講座	1	1 ～ 4 年次		
HIGO 最先端研究セミナー	2	1 ～ 4 年次		
HIGO 最先端研究プロジェクト	1 0	1 ～ 4 年次		
合 計	2 2			

【語学選択科目】 HIGO 日本語講座、HIGO 英語講座、HIGO 中国語講座から 1 科目 1 単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1 ～ 4 年次		
	1	1 ～ 4 年次		
合 計				

【選択科目Ⅰ】 インターンシップ科目及び研究プレゼンテーションより 3 科目 3 単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1 ～ 4 年次		
	1	1 ～ 4 年次		
	1	1 ～ 4 年次		
	1	1 ～ 4 年次		
合 計				

【選択科目Ⅱ】 キャリアビジョン開発コースより 4 単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	2	1 ～ 4 年次		
	2	1 ～ 4 年次		
	2	1 ～ 4 年次		
合 計				

裏面に続く



【選択科目Ⅲ】医学教育部及び薬学教育部開講の講義科目より合計 3 単位以上

但し、医学教育部開講科目より 1 単位以上、薬学教育部開講科目より 1 単位以上を選択しなければならない。

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
		1 ～ 4 年次		
		1 ～ 4 年次		
		1 ～ 4 年次		
		1 ～ 4 年次		
		1 ～ 4 年次		
		1 ～ 4 年次		
合 計				

備考：履修方法は、本履修案内に記載されている授業科目のうちから 33 単位以上を修得しなければならない。

【希望する専攻分野（学位）】（以下のうちのいずれかを○で囲んでください）

健康生命科学・医学・生命科学

大学院薬学教育部（博士前期課程）履修届  
(HIGO プログラム基礎コース)

令和     年     月     日

熊本大学大学院薬学教育部長 殿

令和     年度入学 学籍番号    

氏名：    

メールアドレス（必須）  
\_\_\_\_\_

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	(印)
コース名	基礎コース		

【必修科目】

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
HIGO 有機化学特論	1	1～2年次		
HIGO 物性化学特論	1	1～2年次		
HIGO 医薬品学特論	1	1～2年次		
HIGO 薬物動態学特論	1	1～2年次		
HIGO 生体機能学特論	1	1～2年次		
HIGO 臨床薬学特論	1	1～2年次		
HIGO 社会文化科学総論	2	1～2年次		
HIGO 行政セミナー I	1	1～2年次		
HIGO 企業セミナー I	2	1～2年次		
HIGO 特別実習 I	2	1～2年次		
HIGO リーダーシップ・トレーニング講座	1	1～2年次		
HIGO 行政インターンシップ I	1	1～2年次		
HIGO 企業インターンシップ I	1	1～2年次		
HIGO 海外インターンシップ I	1	1～2年次		
HIGO 最先端研究プロジェクト I	8	1～2年次		
合 計	25			

【選択必修科目 I】薬学教育部開講科目から 4 科目 4 単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
合 計				

## 【選択必修科目Ⅱ】医学教育部開講科目から2科目4単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
		1～2年次		
		1～2年次		
		1～2年次		
		1～2年次		
合 計				

## 【語学選択科目】HIGO 日本語講座Ⅰ、HIGO 英語講座Ⅰ、HIGO 中国語講座Ⅰから2科目2単位（母国語以外）

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～2年次		
	1	1～2年次		
合 計	2			

備考：履修方法は、本履修案内に記載されている授業科目のうちから35単位以上を修得しなければならない。

大学院薬学教育部（博士後期課程）履修届  
（HIGO プログラム専門コース）

令和    年    月    日

熊本大学大学院薬学教育部長 殿

令和\_\_\_\_年度入学 学籍番号\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

メールアドレス（必須）  
\_\_\_\_\_

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	⑩
コース名	専門コース		

【必修科目】

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
HIGO 行政セミナーⅡ	1	1～4年次		
HIGO 企業セミナーⅡ	2	1～4年次		
HIGO 社会文化科学課題演習	2	1～4年次		
HIGO 最先端研究セミナーⅡ	6	1～4年次		
HIGO 最先端研究プロジェクトⅡ	10	1～4年次		
合 計	21			

【語学選択科目】 HIGO 日本語講座Ⅱ、HIGO 英語講座Ⅱ、HIGO 中国語講座Ⅱから2科目2単位

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～4年次		
	1	1～4年次		
合 計	2			

【選択科目Ⅰ】 インターンシップ科目及び研究プレゼンテーションより3科目3単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1～4年次		
	1	1～4年次		
	1	1～4年次		
	1	1～4年次		
合 計				

【選択科目Ⅱ】 キャリアビジョン開発コースより4単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	2	1～4年次		
	2	1～4年次		
	2	1～4年次		
合 計				

備考：履修方法は、本履修案内に記載されている授業科目のうちから30単位以上を修得しなければならない。

大学院薬学教育部（博士課程）履修届  
（HIGO プログラム 4 年コース）

令和    年    月    日

熊本大学大学院薬学教育部長    殿

令和\_\_\_\_年度入学    学籍番号\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

メールアドレス（必須）  
\_\_\_\_\_

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

分野名		指導教員名	㊟
コース名	4 年コース		

【必修科目】

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
HIGO 社会文化科学総論	2	1 ～ 4 年次		
HIGO 特別実習	1	1 ～ 4 年次		
HIGO 行政セミナー	1	1 ～ 4 年次		
HIGO 企業セミナー	1	1 ～ 4 年次		
HIGO 社会文化科学課題演習	2	1 ～ 4 年次		
HIGO リーダーシップトレーニング講座	1	1 ～ 4 年次		
HIGO 最先端研究セミナー	2	1 ～ 4 年次		
HIGO 最先端研究プロジェクト	1 0	1 ～ 4 年次		
合 計	2 0			

【語学選択科目】 HIGO 日本語講座、HIGO 英語講座、HIGO 中国語講座から 1 科目 1 単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1 ～ 4 年次		
	1	1 ～ 4 年次		
合 計				

【選択科目Ⅰ】 インターンシップ科目及び研究プレゼンテーションより 3 科目 3 単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	1	1 ～ 4 年次		
	1	1 ～ 4 年次		
	1	1 ～ 4 年次		
		1 ～ 4 年次		
合 計				

## 【選択科目Ⅱ】キャリアビジョン開発コースより4単位以上

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
	2	1～4年次		
	2	1～4年次		
	2	1～4年次		
合 計				

## 【選択科目Ⅲ】医学教育部及び薬学教育部開講の講義科目より合計5単位以上

但し、医学教育部開講科目より1単位以上、薬学教育部開講科目より1単位以上を選択しなければならない。

授 業 科 目 名	単位数	履修年次	担当教員	備 考
		1～4年次		
		1～4年次		
		1～4年次		
		1～4年次		
		1～4年次		
		1～4年次		
合 計				

備考：履修方法は、本履修案内に記載されている授業科目のうちから33単位以上を修得しなければならない。

## 2. 講義科目

(医学教育部開講科目)

## 時間割コード

授業科目	時間割コード		初回授業	教室
	医学教育部	薬学教育部		
HIGO生体構造学Ⅰ	11000	07105		医) 第2講義室
HIGO生体構造学Ⅱ	11010	07110	4月20日	医) 第2講義室
HIGO生体機能学Ⅰ	11020	07115		医) 第2講義室
HIGO生体機能学Ⅱ	11030	07120		医) 第2講義室
HIGO生命倫理学	11040	07125	5月14日	医) 第2講義室
HIGO臨床病理学	11050	07130	5月31日	医) 第2講義室
HIGO社会医学総論	11060	07135	4月28日	医) 第2講義室
HIGO医療情報・倫理学理論	24000	09105	5月31日	医) 第2講義室
HIGO生体分子情報学理論	24010	09110	6月1日	医) 第2講義室
HIGO細胞機能制御学理論	24020	09115	6月3日	医) 第2講義室
HIGO造血免疫制御学理論	24030	09120	6月4日	医) 第2講義室
HIGO感染病態制御学理論	24040	09125	5月31日	医) 第2講義室
HIGO神経情報科学理論	24050	09130	6月1日	医) 第2講義室
HIGO神経機能科学理論	24060	09135	6月2日	医) 第2講義室
HIGO発生再生医学理論	24070	09140	6月3日	医) 第2講義室
HIGO先端診断医学理論	24080	09145	1月28日	医) 第2講義室
HIGO先端治療医学理論	24090	09150	1月28日	医) 第2講義室
HIGO代謝循環制御学理論	24100	09155	10月8日	医) 第2講義室
HIGO発達生育医学理論	24110	09160	10月7日	医) 第2講義室
HIGO腫瘍先端医学理論Ⅰ	24120	09165	10月5日	医) 第2講義室
HIGO腫瘍先端医学理論Ⅱ	24130	09170	10月5日	医) 第2講義室
HIGO機能再建医学理論	24140	09175	10月6日	医) 第2講義室
HIGOがん治療学理論	24150	09180	1月27日	医) 第2講義室
HIGO緩和ケア学理論	24160	09185		医) 第2講義室
HIGO臨床研究理論	24170	09190	10月4日	医) 第2講義室
HIGO環境社会医学理論	24075		6月4日	医) 第2講義室



HIGO 生体構造学 I 【11000】

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMM5-015-79-2	2021前期	医学教育部(11010)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO生体構造学II【HIGO Morphological Human Physiology II】()			小川 峰太郎, 嶋村 健児, 若山 友彦, 江良 択実, 大場 隆, 伊藤 隆明, 菰原 義弘		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……40% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態		講義			
授業の方法		質疑応答を含む講義形式で、Power point, OHP 等を活用する。			
授業の目的		正常な人体の構造を組織学、発生学の視点から理解し、病気の成り立ちを病理学を通じて学ぶ。			
学修目標		【A水準】 正常な人体の構造を組織学、発生学の視点から十分に理解し、病気の成り立ちを病理学を通じて十分に理解し、十分に説明できる。 【C水準】 正常な人体の構造を組織学、発生学の視点から必要最小限に理解し、病気の成り立ちを病理学を通じて必要最小限に理解し、必要最小限に説明できる。			
授業の概要		人体の構造を個体発生学の視点から説明する。 人体に生じた異常を系統的に分類し、病気の成り立ちを説明する。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	04/20	3時限 発生学	発生学・生殖細胞の発生と成熟、卵子発育と受精（担当：大場 隆）		
2	04/21	1時限 病理学	病理学・循環障害（担当：藤原章雄）		
3	04/22	1時限 病理学	病理学・物質代謝異常（担当：藤原章雄）		
4	04/22	3時限 病理学	病理学・炎症（担当：菰原義弘）		
5	04/23	1時限 発生学	発生学・初期胚の軸形成と内胚葉の発生（担当：江良択実）		
6	04/23	3時限 発生学	発生学・中胚葉系列の特異化と細胞系譜（担当：小川峰太郎）		
7	04/26	3時限 病理学	病理学・腫瘍（担当：伊藤隆明）		
8	04/27	1時限 発生学	発生学・外胚葉の領域化と形態形成（担当：嶋村健児）		
テキスト		特に指定はしない。講義のポイントをまとめたプリントを配布する。			
参考文献		"Developmental Biology", 10th edition, Scott F. Gilbert, Sinauer Associates Inc., U.S., 2013 エッセンシャル発生生物学, Jonathan Slack著、大隅典子訳、羊土社（2007）			
履修条件					
評価方法・基準		講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、授業の概要に掲げた事項についての理解度を評価する。講義ごとに出題する小テストあるいはレポートを100点満点で評価し、上位5回分の点数の平均を成績とする。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

HIGO 生体機能学 I 【11020】

HIGO 生体機能学Ⅱ【11030】

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMM5-004-81-2	2021前期	医学教育部(11040)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO生命倫理学【HIGO Bioethics】(A5)			門岡 康弘		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・50% 3.グローバルな視野と行動力・・・20%					
授業の形態	講義				
授業の方法	下記の4回については、教室で対面講義を行う。他の4回については、CITIのe-ラーニングシステムを利用して研究倫理を学ぶ。				
授業の目的	1. 医療・医科学に関わる代表的な倫理的問題について理解する 2. 医療行為と研究行為に内在する本質的問題を把握し、一貫性のある議論を行う 3. 関連倫理指針に精通し、各規範の基礎となる倫理的理解について理解する 4. 生命・医療倫理の基礎を形成する倫理的な考え方を知る 5. 公正かつ倫理的に健全な医学研究を実施できるようになる				
学修目標	【A水準】 1. 生命倫理の規範と基本概念を理解し、多角的で一貫性のある議論を展開できる。 2. 公正研究と被験者保護を実践し、健全な大学院研究を遂行できる。 【C水準】 1. 生命科学や医療がもたらす倫理社会的課題に対する感性をもつ。 2. 大学院研究を行うための研究倫理を理解している。				
授業の概要	医学系研究者そして医療専門職として知っておくべき生命倫理・医療倫理学領域の歴史、代表的事例、原則、概念、関連論文などを毎回取り上げ検討する。対面授業では、適宜スモールグループ・ディスカッションおよびプレゼンテーションを取り入れる。生命倫理・医療倫理の主要な学術誌に掲載される論文の批判的抄読を通じて、医療・医科学に関連する問題を考察する。授業内容は変更されることがある。研究倫理教育にはCITIのe-ラーニングシステムを採用する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	05/14	2時限 生命倫理学総論	生命医療倫理の歴史、倫理的推論の方法など		
2	05/21	2時限 先端医療に関わる倫理問題 1	先端医療がもたらすELSI		
3	05/28	2時限 先端医療に関わる倫理問題 2、臨床倫理 1	同上、生の始まりに関する倫理問題		
4	06/04	2時限 臨床倫理 2	生の終わりに関する倫理問題		
5		5回目はありません	5回目はありません。		
テキスト	講義毎に資料を配布する。				
参考文献	V. Ravitsky V, Fiester A, Caplan AL (eds). The Penn Center Guide to Bioethics. NY, Springer Publishing Company, 2009. Singer PA, Viens AM (eds). The Cambridge Textbook of Bioethics. UK, Cambridge University Press, 2008. The Hastings Center. Bioethics Briefing Book. (http://www.thehastingscenter.org/Publications/BriefingBook/Default.aspx) Bonnie Steinbock (Editor) The Oxford Handbook of Bioethics, Oxford University Press, Oxford, 2007. Kuhse H, Singer P (eds). A Companion to Bioethics 2nd edition. London, Oxford University Press,2009. Beauchamp TL, Childress JF. Principles of Biomedical Ethics 4th edition. NY, Oxford University Press, 1994. Lo B. Resolving ethical dilemmas A Guide for Clinician. Lippincott Williams and Wilkins, Baltimore, 2000. British Medical Association. Medical Ethics Today 3rd edition. London, BMJ, 2011. など				
履修条件					
評価方法・基準	講義における発表内容や受講態度、CITI e-learningの完遂、課題（レポート提出）などにより評価する。				
使用言語	「日本語」による授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	該当（担当教員は医学系研究の倫理審査や医療倫理支援活動を担当しており、それらの実践経験に基づく講義を提供する。）				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMM5-005-99-2	2021前期	医学教育部(11050)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO臨床病理学【HIGO Clinical Pathology】(臨床病理学B1)			中村 公俊, 中山 秀樹, 田中 靖人, 山下 賢, 福島 聡, 坂上 拓郎, 辻田 賢一, 荒木 栄一		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態		講義			
授業の方法		質疑応答を含む、講義形式、Power point, OHP等を活用する。			
授業の目的		必修科目の「病理病態学」において、病気の分類や発症進展の機構について総論的に学ぶが、「臨床病理学」では、代表的な疾患をとりあげ、具体的な臨床病態とその基礎にある分子機構を学ぶことによって、病気の概念的理解を更に深める事を目的とする。加えて、疾患が神経系や運動系、あるいは特徴ある組織に発症した場合の性状や、免疫不全症のように全身性に病状が出現する場合の機序についても学ぶ。			
学修目標		【A水準】 特定の臓器や、神経系、代謝系など全身生に起こる代表的疾患の病態を学び、病的プロセスにおける分子機構を理解することについて、十分に達成しているレベルをA水準とする。 【C水準】 特定の臓器や、神経系、代謝系など全身生に起こる代表的疾患の病態を学び、病的プロセスにおける分子機構を理解することについて、最低限達成しているレベルをC水準とする。			
授業の概要		先天代謝異常、代謝障害、免疫不全症、などの全身疾患、及び、各臓器に起こる循環障害、炎症、腫瘍、変性疾患に関して8人の専門家によるオムニバス講義を行う。各回のトピックスに関しては、下記の時間割を参照されたい。授業ではこれらの代表的な疾患に特徴的な臨床病態とその基礎にある分子機構について学ぶ。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ		内容概略	
1	05/31	4時限 中山秀樹		歯周病のメカニズムを病理学的に解説し、歯周病が様々な全身疾患の発症に関わることを学ぶ	
2	06/01	4時限 田中靖人		肝疾患の最新情報：肝硬変及び肝細胞癌の病態進展メカニズム及び最新治療について概説する	
3	06/03	4時限 山下 賢		神経難病の診断と治療	
4	06/04	4時限 福島 聡		ゲノミクスからみたメラノーマの臨床病態	
5	06/07	4時限 坂上拓郎		抗サイトカイン抗体と呼吸器疾患	
6	06/08	4時限 中村公俊		先天代謝異常の病態と臓器障害	
7	06/10	4時限 辻田賢一		急性冠症候群の病態と抗血栓療法	
8	06/11	4時限 荒木栄一		糖尿病/インスリン作用障害による代謝異常とその合併症	
テキスト		講師によってはプリントを配布する場合がある。			
参考文献		講義の際それぞれの講師が紹介する。			
履修条件					
評価方法・基準		講義への積極的な参加と小テストまたはレポートにより行う。 授業後の小テストまたはレポートは以下の点を評価する。 1) 選択した分野の用語を正しく理解しているか。 2) 選択した分野の背景を正しく理解しているか。 3) 選択した分野の現状を正しく理解しているか。 4) 授業中に強調された事柄を正しく把握しているか。 5) 自分の意見を述べているか。 各授業担当の教員が10点満点で評価(10点x8、80点満点)その合計に5/4をかけて成績を評価する。			
使用言語		「英語」による授業			
教科書・資料の言語		「英語」のテキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMM5-002-81-2	2021前期	医学教育部(11060)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO社会医学総論【HIGO General Social Medicine】(A3)			西谷 陽子, 加藤 貴彦, 松井 邦彦, 笹尾 亜子, 副島 弘文, 魏 長年, 盧 溪, 増田 翔太		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……25% 3.グローバルな視野と行動力 ……10% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……40%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power point等を活用する。				
授業の目的	社会医学は、社会的存在としてのヒトのライフサイクルの様々な局面における医学的側面と社会的側面について考究する医学の重要な分野である。				
学修目標	【A水準】 環境と健康との関わりを理解し、疾病予防・健康増進を含む総合医療の概念を修得し、個人の基本的人権の擁護、社会の安全を維持するための医と法について包括的に説明できる。 【C水準】 環境と健康との関わりを理解し、疾病予防・健康増進を含む総合医療の概念を修得し、個人の基本的人権の擁護、社会の安全を維持するための医と法について基本的な事項を説明できる。				
授業の概要	本授業では社会医学の広範な領域を、保健医学、公衆衛生学、法医学の立場から縦横に論理を展開する。保健医学では臨床栄養学について、公衆衛生学では環境の構造、環境と人間の関連、環境の指標と評価、環境基準の設定と維持、健康の概念、予防医学活動をめぐる健康社会の構築とその基本的手技である疫学について実践的な講義を行う。法医学では、法医学の目的と法医実務について総論的な講義を行うとともに、死の原因、分類、医学的、法律的、社会的な側面、および法医学からの社会貢献に触れる。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	04/28	(水) 1時限 加藤貴彦	公衆衛生学 総論、概念		
2	04/28	(水) 2時限 加藤貴彦	公衆衛生学 疫学について		
3	04/30	(金) 1時限 加藤貴彦	公衆衛生学 行動医学とは		
4	04/30	(金) 2時限 松井邦彦	総合診療学 臨床研究、デザインとアウトカム設定		
5	05/06	(木) 1時限 増田翔太	公衆衛生学 人口統計について		
6	05/06	(木) 2時限 増田翔太	公衆衛生学 感染症対策について		
7	05/07	(金) 1時限 魏 長年	環境医学 健康、ライフスタイル、ヘルスプロモーション		
8	05/07	(金) 2時限 魏 長年	環境医学 ライフスタイルの評価		
9	05/10	(月) 1時限 西谷陽子	法医学 法医学の定義、目的		
10	05/10	(月) 2時限 西谷陽子	法医学 法医学と法科学、脳死		
11	05/11	(火) 1時限 西谷陽子	法医学 死の社会的側面 (1)		
12	05/11	(火) 2時限 西谷陽子	法医学 死の社会的側面 (2)		
13	05/12	(水) 1時限 盧 溪	公衆衛生学 医療統計学		
14	05/12	(水) 2時限 笹尾亜子	法医学 法医学中毒学と薬物物検査		
15	05/13	(木) 1時限 副島弘文	保健医学 冠危険因子について		
16	05/13	(木) 2時限 副島弘文	保健医学 虚血性心疾患		
テキスト	講義にポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	齊藤和雄他編：新しい環境衛生、南江堂、東京・藤原元典他編：総合衛生公衆衛生学、南江堂、東京、Maxy-Rosenan-Last:Public Health & Preventive Medicine(14 edit)Appleton & Lange, 1998・疫学ハンドブック、重要疾患の疫学と予防、日本疫学会編集、南江堂、1998・学生のための法医学（柏村征一、恒成茂行ら著）、南山堂、2006年・				
履修条件					
評価方法・基準	講義終了後に提示するテーマに関するレポートにより評価する。 本授業では、それぞれの講義時間の最後にそれぞれの講義の内容に関連した課題を与え、それについてミニレポートを書いて提出してもらう（約15分間）。各回のレポートを100点満点で採点し、それを合計した点数を授業回数16回で割り、60点以上を合格とする。レポートは以下の点进行评估する。 1) 課題の内容を正しく理解しているか。 2) 講義で展開されたさまざまな知識や技術が適切に整理されているか。 3) 論理的な思考が明確で、自分の意見を述べているか。				
使用言語	「日本語」による授業				
教科書・資料の言語	「日本語」のテキスト				
実務経験を 活かした授業	該当（公衆衛生学、地域医療学、環境医学、法医学で実際にそれぞれの分野で研究・実務をしている内容に関する授業を行う。）				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-000-81-2	2021通年	医学教育部(24000)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO医療情報・倫理学理論【HIGO Medical Informatics and Medic(A1 生命倫理・研究倫理、救急医学・災害医学、医療情報の取り扱いに習熟する。)】			門岡 康弘, 笠岡 俊志, 宇宿 功市郎		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……25% 3.グローバルな視野と行動力 ……25% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……25%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	e-Learning、双方向性授業、Power point、Moodleを利用した授業を行う。論文精読も予定している。CITI教材は、e-Learningでの学修を行う。この仕組みの利用方法は、第1回目の講義で説明を行う。				
授業の目的	医学の進歩を実際の診療現場に生かすために医療を行うわけであるが、医療現場において発生する情報を適切に取り扱うとともに総合的な視野で病める人々を治療支援し、生命倫理に根ざした行動をすることで初めてその目的が達成される。この医療情報・倫理学理論では、医療における情報を正しく利用し、倫理規範にそった治療・研究の実践を行い、患者に総合的に的確な対処ができるようになるために、医療現場での情報の種類、個人情報保護を含めた情報の取り扱い方、生命の誕生から死に至るまでの倫理課題を解決する端緒を獲得することを目標とする。また、全人的アプローチが求められる救命救急医療に関する基礎知識の獲得を目指す。				
学修目標	【A水準】 生命倫理・研究倫理、救急医学・災害医学、医療情報の取り扱いに習熟するとともに、自身で実践できるようになる。 【C水準】 生命倫理・研究倫理、救急医学・災害医学、医療情報の取り扱いに習熟するとともに、要点を説明ができるようになる。				
授業の概要	生命倫理については、「Collaborative Institutional Training Initiative (CITI) Japan プロジェクト」の教材を利用して学修する。この中の責任ある研究行為：基盤編 1.責任ある研究行為について、2.科学分野のミスコンダクト、3.データの扱い、4.盗用、5.利益相反、6.オーサーシップ、7.ピア・レビュー、8.共同研究のルール、9.メンタリング、10.公的研究資金の取り扱い、などを学修する。加えて研究倫理の強化授業を行う。 医療情報医学では、個人情報保護の視点も踏まえた診療録の取り扱い方、情報を電子化して利用する際の情報リテラシー・情報倫理、電子カルテの利点と問題点、医療制度、DPCについても学ぶ。また、CITI教材で、人を対象とした研究：基盤編 5.研究で生じる集団の被害、8.カルテ等の診療記録を用いた研究を学修する。 救急医学および災害医学では、「医の原点」と言われる救急医療のシステムや災害時の医療対応、生命倫理とも関わりの深い心停止後症候群への対応などについて学ぶとともに、災害時の基本事項について講義する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	05/31	6時限 門岡 康弘【eEJ-0】 オリエンテーション、eAPRIN	科目の説明、責任ある研究行為について/研究における不正行為		
2	06/07	6時限 eAPRIN【eEJ-0】	データの扱い/共同研究のルール/利益相反		
3	06/14	4時限 eAPRIN【eEJ-0】	オーサーシップ/盗用（生命医科学系）/社会への情報発信		
4	06/21	4時限 eAPRIN【eEJ-0】	ピア・レビュー（生命医科学系）/メンタリング/公的研究費の取り扱い		
5	06/28	4時限 eAPRIN【eEJ-0】	生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ/研究倫理審査委員会による審査/研究における個人に関わる情報の取り扱い		
6	07/05	4時限 eAPRIN【eEJ-0】	人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究/研究で生じる集団の被害/研究におけるインフォームド・コンセント		
7	07/12	4時限 eAPRIN【eEJ-0】	特別な配慮を要する研究対象者/カルテ等の診療記録を用いた研究/生命医科学研究者のための社会科学・行動科学		
8	07/19	4時限 eAPRIN【eEJ-0】	国際研究/多能性幹細胞研究の倫理Ⅰ/多能性幹細胞研究の倫理Ⅱ		
9	07/26	4時限 eAPRIN【eEJ-0】	人を対象とした研究ダイジェスト/単元1:動物実験の基礎知識/単元2:動物実験の実施にあたり配慮すべきこと		
10	08/02	4時限 宇宿功市郎【eEJ-0】	日本と世界の医療制度		
11	08/23	4時限 宇宿功市郎【eEJ-0】	求められる電子カルテ、臨床研究とデータウェアハウス		
12	08/30	4時限 笠岡 俊志【eEJ-0】	救急医療体制、心停止後症候群		
13	09/06	4時限 笠岡 俊志【eE-0】【eEJ-0】	災害医療、トリアージ		
14	09/13	4時限 門岡 康弘	研究倫理の強化授業1		
15	09/27	4時限 門岡 康弘	研究倫理の強化授業2		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめた資料をmoodleにて配布する。				
参考文献	講義の中で適宜紹介する。				
履修条件	特に設けない。				
評価方法・基準	講義への取り組み、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度、E-Learningの受講状況などをあわせて総合的に評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業（日本語および英語）				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト（指定しない）				
実務経験を活かした授業	該当（臨床研究倫理、救急災害医学対応、病院情報システム導入・運用・管理ならびに個人情報保護に精通した教員が担当分野の講義を行う。）				



科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-001-79-2	2021通年	医学教育部(24010)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO生体分子情報学理論【HIGO Pathophysiology and Structural(B1)			光山 勝慶, 山縣 和也, 山中 邦俊, 馬場 理也		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を含む講義形式で、Power point等を活用する。				
授業の目的	(1)高血圧、心肥大、動脈硬化等の循環器疾患の機序及び薬物療法について理解することを目的とする。 (2)人体における基本的な糖・脂質代謝動態とその調節制御機構、糖尿病やメタボリックシンドローム、脂質代謝異常との関連などについて理解する。(3) ATPase、特にAAAファミリータンパク質の分子基盤、多彩な細胞機能及び各種疾患における役割について理解する。(4)癌における増殖因子とその受容体、シグナル伝達系の役割について理解し、さらに癌の分子標的治療について理解する。(5)低酸素応答シグナル、mTORシグナル、代謝産物シグナルなどのシグナル伝達系の各種疾患における役割を理解する。				
学修目標	【A水準】 生体分子の構造、機能、生理的役割、各種疾患での役割、さらには臨床への応用について深く理解し、各自の研究に活用できるようにする 【C水準】 生体分子の構造、機能、生理的役割、各種疾患での役割、さらには臨床への応用についての一般的な知識を習得する。				
授業の概要	(1)心血管病の機序及び心血管薬の薬理作用を考える上で酸化ストレスは中心的な役割を演じているので、酸化ストレスの調節機序やシグナル伝達系を中心に講義する。(2)人体における基本的な代謝経路について学ぶと共に病態との関連について講義する。(3)遺伝情報に基づいてアミノ酸が重合したタンパク質は分子内に機能モチーフやドメインという分子情報を内包した生体高分子である。タンパク質の一生を司る分子シャペロンやATP依存性プロテアーゼには様々なタイプのATPaseが含まれる。これらの作用機構を比較・概説し、特にAAAファミリータンパク質に注目して、それらの共通分子基盤と多彩な細胞機能について論じる。AAAタンパク質の変異に起因するヒト遺伝性疾患やモデル動物の発生異常などについて解説する。(4)癌の病態生理に関して、増殖因子とその受容体、細胞内シグナル伝達系を中心に講義する。また、癌に対する分子標的治療についても講義する。(5)各種疾患におけるシグナル伝達系の役割について解説し、特に低酸素応答シグナル、mTORシグナルや代謝産物シグナルを中心に講義する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	06/01	5時限 光山 勝慶 【eEJ-0】	心血管病のメカニズム(1)		
2	06/08	5時限 光山 勝慶 【eEJ-0】	心血管病のメカニズム(2)		
3	06/15	4時限 光山 勝慶(鯉淵 信孝) 【eJ-0】	妊娠期の高血圧と高血糖		
4	06/22	4時限 山縣 和也 【eEJ-0】	糖・脂質代謝の病態生理(1)		
5	06/29	4時限 山縣 和也 【eEJ-0】	糖・脂質代謝の病態生理(2)		
6	07/06	4時限 山縣 和也 【eEJ-0】	糖・脂質代謝の病態生理(3)		
7	07/13	4時限 山中 邦俊 【eJ-L】	タンパク質の一生を司るATPase		
8	07/20	4時限 山中 邦俊 【eEJ-0】	AAAタンパク質の多彩な細胞機能		
9	07/27	4時限 山中 邦俊 【eJ-L】	ヒト疾患に関連するAAAタンパク質		
10	08/03	4時限 光山 勝慶(山口 知也) 【eJ-0】	癌における増殖因子と受容体		
11	08/17	4時限 光山 勝慶(山口 知也) 【eJ-0】	癌におけるシグナル伝達		
12	08/24	4時限 光山 勝慶(山口 知也) 【eJ-0】	癌における分子標的治療		
13	08/31	4時限 馬場 理也 【eJ-0】	低酸素応答シグナル経路と疾患		
14	09/07	4時限 馬場 理也 【eJ-0】	mTORシグナル経路と疾患		
15	09/14	4時限 馬場 理也 【eJ-0】	代謝産物シグナルと疾患		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する場合がある。				
参考文献	・イラストレイテッドハーバー生化学(上代淑人監訳)丸善、2007年 ・Nader Rifai et al: Handbook of Lipoprotein Testing, AACC Press, 2000.				
履修条件					
評価方法・基準	レポートの成績で総合的に評価する。評価は受講した講義より1分野を選択し、教務へレポートを提出すること。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-002-79-2	2021通年	医学教育部(24020)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO細胞機能制御学理論【HIGO Cell Biology】(B2)			岩本 和也, 富澤 一仁, 中西 宏之, 小野 悠介, 立石 智, 中尾 光善, 日野 信次朗		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……75% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……20% 3.グローバルな視野と行動力 ……5%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power Point, OHP等を活用する。e-ラーニング講義を行う。				
授業の目的	発生・再生、がん、老化、精神神経疾患、遺伝など種々の生命現象について、生命の基本単位である細胞を中心に分子レベルから個体レベルまで分子メカニズムを理解できるようになる。				
学修目標	【A水準】 発生・再生、がん、老化、精神神経疾患、遺伝などの種々の生命現象について、生命の基本単位である細胞を中心に、基本的な分子メカニズムを理解し、最近の研究成果を説明・議論できるようになる。 【C水準】 発生・再生、がん、老化、精神神経疾患、遺伝などの種々の生命現象について、生命の基本単位である細胞を中心に、基本的な分子メカニズムを理解できる。				
授業の概要	発生・再生、がん、老化、精神神経疾患、遺伝などの種々の生命現象について、生命の基本単位である細胞を中心に、分子レベルから細胞小器官、さらには組織、器官、個体レベルでそのメカニズムを最近の研究成果を含めて解説する。講義は各教官によるオムニバス形式で行う。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	06/03	5 時限 富澤 一仁 【eE-0, eJ-0】	細胞機能制御異常と病態生理		
2	06/10	5 時限 富澤 一仁 【eE-0, eJ-0】	蛋白質リン酸化による細胞機能制御		
3	06/17	4 時限 日野 信次朗 【eE-0, eJ-0】	代謝エピジェネティクスと細胞機能		
4	06/24	4 時限 小野 悠介 【eE-0, eJ-0】	幹細胞と組織再生・適応制御Ⅰ		
5	07/01	4 時限 小野 悠介 【eE-0, eJ-0】	幹細胞と組織再生・適応制御Ⅱ		
6	07/08	4 時限 中西 宏之 【eE-0, eJ-0】	細胞骨格の制御機構Ⅰ		
7	07/15	4 時限 中西 宏之 【eJ-0】	細胞骨格の制御機構Ⅱ		
8	07/29	4 時限 中西 宏之 【eE-0, eJ-0】	細胞骨格と細胞膜の協調		
9	08/05	4 時限 中尾 光善 【eE-0, eJ-0】	エピジェネティクス医科学Ⅰ		
10	08/19	4 時限 中尾 光善 【eE-0, eJ-0】	エピジェネティクス医科学Ⅱ		
11	08/26	4 時限 岩本 和也 【eEJ-0】	ニューロエピジェネティクスⅠ		
12	09/02	4 時限 岩本 和也 【eEJ-0】	ニューロエピジェネティクスⅡ		
13	09/09	4 時限 立石 智 【eEJ-0】	細胞増殖と細胞周期について		
14	09/16	4 時限 立石 智 【eEJ-0】	体細胞分裂と減数分裂		
15	09/30	4 時限 立石 智 【eEJ-0】	遺伝子の修復と組換え		
テキスト	必要に応じて各教官が指定する。				
参考文献	・「Pathophysiology of Disease: An Introduction to Clinical Medicine, 6th Edition」edited by Stephan J. McPhee and William F. Ganong, The McGraw-Hill Companies (2009) ・「Developmental Biology, 10th Edition」edited by Scott F. Bilbert, Sinauer Associates Inc.(2013) ・「Essential 細胞生物学 第3版」中村桂子・松原謙一監訳、南江堂（2011） ・「EPIGENETICS」edited by David Allis et al. Cold Spring Harbor Laboratory Press (2007) 他、必要に応じて各教官が紹介する。				
履修条件	本授業に関連する基礎的な知識を有すること。				
評価方法・基準	【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を確認して評価する。15回の講義後に出題する小テストあるいはレポートを100点満点で評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。e-learningで受講した場合も同様である。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-003-79-2	2021通年	医学教育部(24030)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO造血免疫制御学理論【HIGO Hematopoietic and Immune System(B3)			岡田 誠治, 大口 裕人, 指田 吾郎, 佐藤 賢文, 押海 裕之, 古賀 沙緒里, 小川 峰太郎, 入江 厚, 鈴 伸也, 粟井 博丈, 滝澤 仁		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……35% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……35% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、PowerPoint, OHP等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義あるいはeラーニング等により対処する。				
授業の目的	造血免疫制御学に関する講義では、以下のことを理解することを目指す。(1)幹細胞システムとして造血系の恒常性が維持される機構、(2)造血系の起源と造血幹細胞の発生機序、(3)ヒトの造血系を構築したモデル実験動物とその応用、(4)造血器腫瘍の発生機序、(5)免疫系を構成する細胞、組織、器官とその発生・分化、(6)免疫系を構成する細胞の相互作用、(7)抗原の識別機構と、(8)その後の免疫反応				
学修目標	【A水準】造血発生、造血・免疫システム、造血器腫瘍に関する一般知識を深め、最新研究に関してその成果の意義・問題点・課題について議論できるようにする。 【C水準】造血発生、造血・免疫システム、造血器腫瘍に関する基礎的事項を理解し、その特徴を人に説明することができる。				
授業の概要	血液細胞は、骨髄中の造血幹細胞が分化することにより産生される。それぞれに寿命を持つ血液細胞を恒常的に維持している造血系は、造血幹細胞の自己複製能と多分化能に支えられた幹細胞システムの最もよく知られた例である。授業では、造血幹細胞の性質とその分離・同定の方法論、造血幹細胞が未分化状態で維持される機構、造血幹細胞から各種血液細胞への分化に関わる遺伝子や液性因子について解説する。また、個体発生における造血幹細胞の起源とその発生機序、ヒトの造血・免疫系を構築したモデルマウスについて討論する。さらに、造血器腫瘍の発症機序と分子病態について概説する。 我々の身体は常に体外の病原微生物や異物にさらされているが、免疫系はこれらに対する生体防御反応の中で最も中心的な役割を果たしている。免疫反応は我々の身体を防御し、生体を構成する自己の成分には反応せず、外界から侵入してきた異物を攻撃してこれを排除する。授業では免疫系を構成する細胞、組織、器官とその発生・分化について解説する。 これらの造血・免疫現象について分子、細胞、組織、器官および個体のレベルで、講師らの最新の研究成果を含めて講義する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	06/04	5時限 小川 峰太郎【eJ-L】	造血系の個体発生-1		
2	06/11	5時限 小川 峰太郎【eJ-L】	造血系の個体発生-2		
3	06/18	4時限 古賀 沙緒里【eJ-L】	造血系の個体発生-3		
4	06/25	4時限 岡田 誠治【eJ-0,eE-0】	造血幹細胞から免疫担当細胞への分化		
5	07/02	4時限 岡田 誠治【eJ-0,eE-0】	ヒト造血・免疫系を構築したマウスとその応用		
6	07/09	4時限 指田 吾郎【eJ-0】	造血幹細胞の機能と白血病		
7	07/16	4時限 鈴 伸也【eEJ-0】	造血制御におけるシグナル		
8	07/30	4時限 滝澤 仁【eE-L】	造血における炎症の役割		
9	08/06	4時限 佐藤 賢文【eJ-0】	Tリンパ球とレトロウイルス感染		
10	08/20	4時限 大口 裕人【eE-0】	形質細胞性腫瘍の分子形態		
11	08/27	4時限 押海 裕之【eJ-L】	自然免疫系細胞とウイルス感染症		
12	09/03	4時限 塚本 博丈【eJ-0】	Tリンパ球への発生と分化		
13	09/10	4時限 押海 裕之【eJ-L】	自然リンパ球(Innate lymphoid cells)		
14	09/17	4時限 塚本 博丈【eJ-0】	Tリンパ球への抗原提示		
15	09/24	4時限 入江 厚【eJ-L】	Bリンパ細胞の発生と分化		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する				
参考文献	・免疫学コア講義(阪口薫雄ほか編集)、南山堂 改訂4版 2017年 ・エッセンシャル免疫学 第3版 笹月健彦 メディカルサイエンスインターナショナル ・"Janeway's Immunobiology 9th Edition" by Kenneth Murphy, Paul Travers, Mark Walport, Garland Science, Taylor & Francis Group LLC, New York and Abingdon, 2016. 和訳本: 免疫生物学 原書第9版(笹月健彦監訳、南江堂、2019年) ・The Immune System, 4th Edition [Peter Parham] Garland Science, 2014 ・WHO Classification of Tumours of Haematopoietic and Lymphoid Tissues. WHO, 2017. 和訳本: WHO血液腫瘍分類—WHO分類2017をうまく活用するために, 医薬ジャーナル社、2018年 ・The Science of Stem Cells, Jonathan M. W. Slack, Wiley Blackwell, 2018 ・Williams Hematology, 9th ed. MCGRAW-HILL EDUCATION, 2016				
履修条件					
評価方法・基準	講義への出席状況、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。				
使用言語	「英語」による授業(英語もしくは日本語で講義する。日本語で講義を行う場合には、英語e-learningもしくは別に英語の対面授業を行う。)				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト(適宜日本語の参考書も提示する。)				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-004-99-2	2021通年	医学教育部(24040)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO感染病態制御学理論【HIGO Infection and Immune Control】(B4感染病態制御学理論)			佐藤 賢文, 桑田 岳夫, 久保田 龍二, 岡田 誠治, 押海 裕之, 松井 啓隆, 本園 千尋, 松岡 雅雄, 澤 智裕, 前田 洋助, 鈴 伸也, 中田 浩智, 池田 輝政, 田中 靖人、池田正徳		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……20%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power point等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、ビデオ講義あるいはe-ラーニング等により対処する。(講義形態の詳細については講義開始時に受講生に連絡する。)				
授業の目的	以下の点について理解することを目的とする。(1)感染症をおこす病原体と宿主の反応 (2)細菌およびウイルス感染の分子病態、(3)感染症に対する免疫反応とワクチン開発の戦略、(4)院内感染と日和見感染症のコントロール、(5)新興再興感染症の診断と治療				
学修目標	【A水準】 病原微生物、それらが引き起こす感染病態および宿主の応答に関する知識を深めるとともに、病原微生物に関する基礎研究およびこれらを克服するためのワクチンあるいは薬剤の開発に関する応用研究の成果およびその意義あるいは今後の課題について議論し、これらの研究を実践できるようにする。 【C水準】 病原微生物が病気を起こすメカニズムについて理解する。 病原微生物に関する基礎研究の現状と課題を把握する。 病原微生物に対する治療（ワクチンや治療）の現状や今後の課題について理解する。				
授業の概要	人類の歴史は感染症との闘いの歴史であったといっても過言ではない。今日の先進国における寿命の延長に果たしてきた感染症研究の貢献は計り知れないものがある。中でも、様々な感染症に対するワクチンの開発、細菌感染に対する抗生物質の開発、さらに治療困難とされてきた慢性ウイルス感染症に対する治療薬の開発は社会に大きなインパクトを与えてきた。これらの研究成果は、病原体の基本的な性質や生活環境についての多くの基礎研究に基づいてなされてきたものである。授業では、病原微生物の感染病態と宿主の反応、ウイルスの生活環境の研究と有効な抗ウイルス薬の開発、さらに病原体の持つ免疫反応からの逃避を克服するためのワクチンの開発戦略について、最新の研究成果を解説するとともに、講師らの研究成果を含めて講義する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	05/31	池田 輝政【eE-O】 16:45~18:15	レトロウイルスのライフサイクル		
2	06/07	澤 智裕【eE-O】 16:45~18:15	細菌感染症の分子病態		
3	06/14	押海 裕之【eE-O】 16:45~18:15	自然免疫応答による感染制御		
4	06/21	本園 千尋【eE-O】 16:45~18:15	細胞性免疫応答による感染制御		
5	06/28	桑田 岳夫【eE-O】 16:45~18:15	液性免疫応答による感染制御		
6	07/05	前田 洋助【eE-O】 16:45~18:15	HIV/結核の感染免疫病態		
7	07/12	松岡 雅雄【eE-O】 16:45~18:15	新興感染症・再興感染症		
8	07/19	鈴 伸也【eE-O】 16:45~18:15	レトロウイルスー宿主相互作用		
9	07/26	佐藤 賢文【eE-O】 16:45~18:15	レトロウイルスと潜伏感染		
10	08/02	池田 正徳【eE-O】 16:45~18:15	肝炎ウイルスの分子病態		
11	08/23	田中 靖人【eE-O】 16:45~18:15	肝炎ウイルスと肝がん		
12	08/30	久保田 龍二【eE-O】 16:45~18:15	ウイルス感染症と神経疾患		
13	09/06	岡田 誠治【eE-O】 16:45~18:15	小動物モデルを用いた感染症研究		
14	09/13	松井 啓隆【eE-O】 16:45~18:15	感染症における臨床検査の役割		
15	09/27	中田 浩智【eE-O】 16:45~18:15	院内感染と日和見感染症のコントロール		
テキスト	特に指定はせず、講義に関連した参考論文などを紹介する。				
参考文献	“Atlas of AIDS” edited by Gerald L. Mandell and Donna Mildvan. Current Medicine, Inc. Philadelphia, 2001. 和訳本:カラーアトラス A I D S ; 原書第3版(福武勝幸監修、サイエンスプレス、2002年) “Infectious Diseases and Medical Microbiology” 2nd Edition, Abraham I. Braude et al., W.B. Saunders Company				
履修条件					
評価方法・基準	本講義は15名の教員によってなされるオムニバス講義である。講義への積極的な参加、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート、小試験等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。各講義に関して、成績評価(小テストまたはレポート提出)を行い、2/3以上の評価が得られていることを修了の条件とし、さらに、評価された中から、上位10講義の得点の平均値をもって成績とする。				
使用言語	「英語」による授業				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-005-79-2	2021通年	医学教育部(24050)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO神経情報科学理論【HIGO Human Brain Functional Science】(B5 神経情報科学理論)			嶋村 健児, 朴 秀賢, 岩本 和也, 文東 美紀, 宋 文杰, 竹林 実, 藤瀬 昇, 江角 重行, 橋本 衛		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……80% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……19% 3.グローバルな視野と行動力 ……1%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power point, 等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、e-ラーニングにより対処する。				
授業の目的	外界の情報を獲得して個体の運動制御に役立てることに終始していた単純な中枢神経系は、高等哺乳類において、構成する神経細胞の種類と数を増やして高度に発達することにより、記憶、情動、自我に代表される高次精神活動を生み出すに至った。神経情報科学理論では、基盤となる中枢神経系の発生、電気神経活動、神経回路メカニズムの面から精神活動を考え、障害（遺伝子）と精神疾患の関係の研究から、精神活動を生命現象として理解し説明することを試みる。				
学修目標	【A水準】 授業の目標に掲げた事項について、理解ができたことを確認する質問をそれぞれの項目に複数配置し、教員が要求するレベルを大幅に上回っていたことを確認する。 【C水準】 授業の目標に掲げた事項について、理解ができたことを確認する質問をそれぞれの項目に複数配置し、教員が要求するレベルに達したことを確認する。				
授業の概要	中枢神経組織の原基となる神経板の誘導と、その領域化のしくみについて、さらに神経細胞の分化制御と形質決定から、部位特異的な組織構築に至るプロセスについて学ぶ。 また、神経細胞間の情報伝達の仕組みとその物質基盤を学ぶ。 神経回路が成し得る情報処理と調節の仕組みを学び、神経精神疾患患者より高次脳機能障害ならびに精神症状の神経基盤を理解する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	06/01	6時限 嶋村（脳発生）【eE-0,eJ-0】	胚発生時に見られる神経誘導		
2	06/08	6時限 嶋村（脳発生）【eE-0,eJ-0】	脳原基の発達に伴う領域化		
3	06/15	5時限 嶋村（脳発生）【eE-0,eJ-0】	領域特異的な組織構築		
4	06/22	5時限 江角（脳回路）【eEJ-0】	神経細胞の多様性と神経回路形成		
5	06/29	5時限 江角（脳回路）【eEJ-0】	大脳皮質の機能を発現させる神経回路		
6	07/06	5時限 宋（知覚生理）【eE-0,eJ-0】	活動電位を生じさせる膜チャンネル		
7	07/13	5時限 宋（知覚生理）【eE-0,eJ-0】	シナプスとシナプス伝達		
8	07/20	5時限 宋（知覚生理）【eE-0,eJ-0】	神経活動を司る神経伝達物質		
9	07/27	5時限 宋（知覚生理）【eE-0,eJ-0】	学習機能に働くシナプスの可塑性		
10	08/03	5時限 藤瀬（保健センター）【eE-0,eJ-0】	神経伝達物質と精神症状		
11	08/17	5時限 岩本（分子脳）【eE-0】	精神疾患のジェネティクス・エピジェネティクス		
12	08/24	5時限 文東（分子脳）【eE-0】	精神疾患と体細胞変異		
13	08/31	5時限 橋本（神経精神医学）【eEJ-0】	認知症に関わる神経基盤		
14	09/07	5時限 竹林（神経精神医学）【eJ-0】	「気分障害の分子基盤」		
15	09/14	5時限 朴（神経精神医学）【eJ-0】	統合失調症の神経基盤		
テキスト	講義のポイントをまとめたプリントを配布します。				
参考文献	神経解剖学、標準生理学、神経科学、神経内科、精神医学				
履修条件	6割以上の聴講と、理解度を図る小試験への記入				
評価方法・基準	講義への出席状況、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により評価する。 【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。e-ラーニング受講においては、理解度テストの得点を評価とする。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業 (e-ラーニングコンテンツについては日本語、あるいは英語のどちらかを選択)				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト (e-ラーニングコンテンツについては日本語、あるいは英語のどちらかを選択)				
実務経験を 活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-006-79-2	2021通年	医学教育部(24060)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO神経機能科学理論【HIGO Neuroscience】(B6)			福田 孝一, 水野 秀信, 江良 択実, 折田 頼尚, 竹本 誠, 塩田 倫史, 伊藤 康裕, 浜崎 禎, 井上 俊洋, 山下 賢		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・80% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20%					
授業の形態		講義			
授業の方法		Power point等を活用し、主にe-ラーニングにより実施する。使用言語：英語もしくは日本語			
授業の目的		この講義では、極めて複雑な構造を持つ脳の形態と機能、神経系の情報伝達の鍵であるシナプスの多様性、神経回路形成の動的過程と分子的基盤、形成不全としての中枢神経系の発生異常、中枢神経系の感覚系（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、痛覚）と運動系（パーキンソン病、脳血管障害）に関する病態を理解し、最近の遺伝子治療、神経移植の話題についてふれる。			
学修目標		【A水準】 脳神経系の形態学的・生理学的特徴、それらの形成過程とその形成異常、多様なシナプス伝達機構、幹細胞の利用や遺伝子を標的とする新しい治療法、視覚系・聴覚系・神経変性疾患の病態と治療法について説明できる。さらにその中に含まれる未知の課題を見出し、その解明方法について述べることができる。 【C水準】 脳神経系の形態学的・生理学的特徴、それらの形成過程とその形成異常、多様なシナプス伝達機構、学習・記憶のメカニズムと情動の関連、幹細胞の利用や遺伝子を標的とする新しい治療法、視覚系・聴覚系・神経変性疾患の病態と治療法について、基本的内容を説明できる。			
授業の概要		<ul style="list-style-type: none"><li>・中枢神経系と末梢神経系</li><li>・神経細胞とグリア細胞の形態学</li><li>・シナプスの多様性</li><li>・電気シナプスgap junction</li><li>・新皮質と海馬の構造と機能</li><li>・体性感覚野の生後発達</li><li>・大脳基底核</li><li>・髄液循環と脳室、脳血液関門の本質的要素</li><li>・神経堤細胞</li><li>・中枢神経系の奇形</li><li>・緑内障</li><li>・網膜疾患</li><li>・嗅覚疾患</li><li>・神経変性疾患の再生医療</li><li>・パーキンソン病の最新の治療について</li></ul>			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ		内容概略	
1	06/02	4 時限 福田 孝一 【eEJ-0】		神経系の概論、ニューロンとグリア、シナプス	
2	06/09	4 時限 福田 孝一 【eEJ-0】		新皮質と海馬の構造と機能	
3	06/16	4 時限 水野 秀信 【eEJ-0】		大脳皮質体性感覚野の生後発達	
4	06/23	4 時限 福田 孝一 【eEJ-0】		視覚系の構造と機能（網膜から大脳皮質視覚野まで）	
5	06/30	4 時限 福田 孝一 【eEJ-0】		大脳基底核の構造と機能	
6	07/07	4 時限 江良 択実 【eJ-0,eE-0】		神経堤細胞の発生と分化、その多能性について	
7	07/14	4 時限 江良 択実 【eJ-0,eE-0】		幹細胞を利用した神経疾患への新しい医療応用	
8	07/21	4 時限 竹本 誠 【eE-0】		学習・記憶と情動について	
9	07/28	4 時限 塩田 倫史 【eE-0】		核酸高次構造を標的とした神経疾患の治療	
10	08/04	4 時限 浜崎 禎 【eEJ-0】		中枢神経系奇形の病態と治療	
11	08/18	4 時限 伊藤 康裕 【eE-0】		網膜疾患の病態とその治療	
12	08/25	4 時限 井上 俊洋 【eE-0】		緑内障の病態生理学と治療	
13	09/01	4 時限 折田 頼尚 【eJ-0】		嗅覚傷害の病態とその治療	
14	09/08	4 時限 山下 賢 【eE-0】		神経変性疾患の再生医療	
15	09/15	4 時限 山下 賢 【eE-0】		パーキンソン病の最新の治療について	
テキスト		特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布もしくはe-ラーニング上で閲覧可能とする。			
参考文献		<ul style="list-style-type: none"><li>・神経科学 - 脳の探求 M.F.ベアー（2007,西村書店）</li><li>・最新内科学体系（井村裕夫編、中山書店）</li><li>・医学のあゆみ 神経疾患（中村重信編、医歯薬出版）</li></ul>			
履修条件					
評価方法・基準		15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業（「英語のみ」と「日本語のみ」の一方もしくは両方で提供される場合もある）			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		該当（臨床医としての実務経験がある教員が15回中14回を担当する）			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-007-79-2	2021通年	医学教育部(24070)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO発生再生医学理論【HIGO Developmental and Regenerative Me(B7)			西中村 隆一, 石黒 啓一郎, 中村 輝, 江良 択実, 福田 孝一, 小野 悠介, 丹羽 仁史, 荒木 正健, 江角 重行, 竹尾 透, 谷川 俊祐, 岡野 正樹		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……25% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……5%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power point等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、ビデオ講義あるいはe-ラーニング等により対処する。				
授業の目的	発生医学は、発生学的視点に基づいて疾患の病態解明と治療法の確立を目指す学問であるが、その手法や考え方は、もはやどの領域を研究する際にも必須となっている。発生再生医学理論では、特にその技術的側面に重点をおいて、基礎的知識を理解することを目指す。発生・再生医学研究者育成コースの受講者にとっては特論等の理解の基盤となるよう、他コースの受講者にとっては発生工学的手法の理解と利用に必要な不可欠な知識の獲得を目指す。				
学修目標	【A水準】 発生学の基本的知識及び発生工学的手法を習得し、発生学的視点に基づいて疾患の病態と治療法の原理を理解して説明できる。 【C水準】 発生学の基本的知識及び発生工学的手法を習得し、発生学的視点に基づいて疾患の病態と治療法の原理を理解することができる。				
授業の概要	遺伝子改変技術の根本を十分に解説した上で、これらの技術を使って、各臓器の発生の分子機構がどのように解かれてきたのかの実例を講義する。さらにその知識を用いた臓器再生にむけた試みも紹介する。具体的には以下のことを理解することを目指す。(1)ES細胞、iPS細胞等の幹細胞樹立法と臨床応用及び問題点 (2)生殖工学、すなわち体外受精、胚や精子の凍結、胚移植、顕微授精、核移植等の技術とその応用 (3)トランスジェニックマウス・ノックアウトマウス作製法とその意義 (4)ゲノム編集の方法とその応用 (5)幹細胞の維持機構と分化誘導の原理 (6) 個体発生、系統発生からみた各組織、臓器の形態学 (7)腎臓、肝臓、脾臓、筋、生殖腺など臓器・組織の発生・再生機構と幹細胞からの誘導法 これらの技術論と応用への展望について、初歩的レベルから最新の研究成果までをわかりやすく講義する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	06/03	6 時限 西中村 隆一 【eE-0】	発生医学と再生医療一入門編		
2	06/10	6 時限 竹尾 透 【eE-0】	体外受精、胚・精子の凍結、顕微授精、核移植		
3	06/17	5 時限 荒木 正健 【eEJ-0】	トランスジェニックマウス、ノックアウトマウス		
4	06/24	5 時限 荒木 正健 【eEJ-0】	ゲノム編集技術による遺伝子改変マウス作製		
5	07/01	5 時限 丹羽 仁史 【eE-0】	胚性幹細胞の分子機構I		
6	07/08	5 時限 丹羽 仁史 【eE-0】	胚性幹細胞の分子機構II		
7	07/15	5 時限 江良 択実 【eE-0】	iPS細胞、その医学への応用		
8	07/29	5 時限 福田 孝一 【eE-0】	系統発生と個体発生一上皮の誕生と神経系の特殊化		
9	08/05	5 時限 江角 重行 【eE-0】	各臓器の発生；内胚葉，消化器系一呼吸器系		
10	08/19	5 時限 福田 孝一 【eE-0】	各臓器の発生；中胚葉，循環器系，泌尿生殖器系		
11	08/26	5 時限 谷川 俊祐 【eE-0】	腎臓の発生とiPS細胞を用いた再生		
12	09/02	5 時限 小野 悠介 【eE-0】	骨格筋の発生と再生、老化		
13	09/09	5 時限 中村 輝 【eE-0】	生殖細胞の発生とモデル動物		
14	09/16	5 時限 石黒 啓一郎 【eE-0】	哺乳類における生殖細胞の発生		
15	09/30	5 時限 岡野 正樹 【eE-0】	エピジェネティクスと発生		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	・ “Developmental Biology, 11th edition” by Scott Gilbert 2016. 邦訳：ギルバート発生生物学（阿形清和、高橋淑子監訳、メディカルサイエンスインターナショナル 2015年） ・ “Essential Developmental Biology, 3rd edition” by Slack JMW, Blackwell Publishing, 2012. 邦訳：エッセンシャル発生生物学（大隅典子訳、羊土社、2007年） ・ “Manipulating the Mouse Embryo: A Laboratory Manual, 4th edition” by Nagy A., Gertsenstein M., Vintersten K., Behringer R., Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2014. ・ “Larsen’s Human Embryology, 5th edition” by Shoenwolf GC, Bleyl SB, Brauer PR, Francis-West PH. Churchill Livingstone, 2014.				
履修条件					
評価方法・基準	15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、点数の平均を成績とする。				
使用言語	「英語」による授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-009-82-2	2021通年	医学教育部(24080)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO先端診断医学理論【HIGO Current Theory of Medical Diagnos(C1先端診断医学理論)			松井 啓隆, 三上 芳喜, 古嶋 昭博, 平井 俊範, 菰原 義弘, 植田 光晴, 城野 博史, 三隅 洋平, 馬場理也, 佐藤陽之輔		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……45% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……45% 3.グローバルな視野と行動力 ……5% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……5%					
授業の形態	講義				
授業の方法	遠隔地の学生や社会人学生等の受講者が多いことを考慮し、予め録画されたe-learningコンテンツによるオンデマンド形式での講義を基本とする。場合により、補講、個別講義、別途の課題等により対処する。				
授業の目的	各種疾患の診断には、画像検査・生理学的検査・生化学的検査・病理学的検査をはじめ、あらゆる領域の知識や技術を総動員した、統合的な分析・診断能力が必要となる。本科目では、各領域のスペシャリストによる最新の診断技術を学び、身に着けることを目的とする。このため、神経疾患・腫瘍性疾患・炎症性疾患など、代表的な疾患を例にとり、診断理論や技術を教授する。				
学修目標	【A水準】 病理検査・臨床検査・画像検査など、先端的な内容を含む様々な検査手法を用いて総合的に疾患を診断し、治療に結びつける能力の獲得する。また、未解決の課題を自ら発見し解決に導くための方法を立案できる。 【C水準】 病理検査・臨床検査・画像検査など、先端的な内容を含む様々な検査手法の概要について理解し、説明できる。				
授業の概要	先端診断学の講義では、以下について学ぶ。病理学領域では、以下を解説する。(1)形態学や分子細胞生物学を基盤とした診断学の一端を紹介し、腫瘍で発現している分子などから細胞分化や増殖や浸潤能との関係。(2)病理標本を用いての遺伝子変異の検索やDNAメチル化などの意義。(3)アポトーシスの生体防御上の役割とアポトーシス細胞の処理機構、赤血球および多核白血球の分化における役割。臨床検査医学領域では、造血器腫瘍の発症に関わる体細胞遺伝子変異が単離された経緯や、臨床検査医学領域が高感度・高特異性をもって遺伝子変異を検出することの意義について概説する。また、癌や炎症疾患のバイオマーカーの探索や治療標的の発見に至るまでのアプローチを紹介する。放射線診断学領域では、CT, MRIなどを用いての画像診断の実際とその研究法について解説する。また、RI実験学として、RIトレーサー法の原理および放射線計測法、さらにRI分子イメージングについて概説する。神経内科学領域では、神経難病をはじめとする神経疾患の統合的な診断手法の理論と実際を概説する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ		内容概略	
1	01/28	4時限 佐藤陽之輔 【eJ-0】		免疫染色による腫瘍診断	
2	02/01	4時限 馬場理也 【eJ-0】		分子病理診断（悪性腫瘍の分子病理を中心に）	
3	02/04	4時限 三上芳喜 【eJ-0】		腫瘍診断学における病理組織学的アプローチ：形態を読むロジック	
4	02/08	4時限 植田光晴 【eJ-L】		神経難病の先端診断技術	
5	02/15	4時限 三隅洋平 【eJ-L】		希少、遺伝性疾患の先端的診断アプローチ	
6	02/18	4時限 菰原義弘 【eJ-L】		マクロファージから見た免疫病理学：非腫瘍性疾患	
7	02/22	4時限 菰原義弘 【eJ-L】		マクロファージから見た免疫病理学：腫瘍性疾患	
8	02/25	4時限 松井啓隆 【eJ-0】		次世代シーケンサーによる遺伝子解析の原理と応用	
9	03/01	4時限 松井啓隆 【eJ-0】		臨床検査医学の実際と展望	
10	03/04	4時限 城野博史 【eJ-0】		基礎・臨床エビデンスに基づいた創薬研究	
11	03/08	4時限 平井俊範 【eJ-0】		MR画像診断の最前線と研究アプローチ	
12	03/11	4時限 平井俊範 【eJ-0】		CT画像診断の最前線と研究アプローチ	
13	03/15	4時限 古嶋昭博 【eJ-0】		RIトレーサー法と放射線計測法の基礎と応用	
14	03/18	4時限 古嶋昭博 【eJ-0】		RI分子イメージング	
15	03/22	4時限 松井啓隆		出席出来なかった方への補講	
テキスト	特に指定はせず、必要に応じて講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	細胞工学別冊「RIの逆襲」アイソトープを活用した簡単・安全バイオ。(秀潤社、2007年12月)、その他、講義中に必要に応じて紹介する。				
履修条件					
評価方法・基準	講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。				
使用言語	「日本語」による授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト(スライド資料等はできる限り英語のものを用意する。)				
実務経験を活かした授業	該当(病理学・放射線医学・神経内科学・検査医学の実臨床に携わる教員が、オムニバス形式により、その経験を活かし、疾患診断学の基礎から実際まで解説する。)				



科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-010-82-2	2021通年	医学教育部(24090)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO先端治療医学理論【HIGO Advanced Therapeutics】(C2)			坂上 拓郎, 神波 大己, 村上 大造, 宮丸 悟, 伊勢 桃子, 日比 泰造, 田中 靖人, 直江 秀昭, 福島 聡		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・80% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power point, OHP等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、ビデオ講義あるいはe-ラーニング等により対処する。				
授業の目的	近年の分子生物学や医用工学の進歩は、各領域の診断・治療において新たな展開をもたらした。例えば、癌や慢性炎症の原因となる責任分子（群）が同定されるようになり、それらを標的とした治療法が臨床に導入されるようになった。さらに病態における免疫機構の役割が明らかになり、免疫の制御を介した治療法も開発されている。また臓器移植、細胞移植、さらには人工臓器が、臓器の機能不全を補完する先進的な治療法として認知されてきた。一方、内視鏡機器の発達により内視鏡的治療法が確立し「侵襲の少ない治療」として、さまざまな分野の疾患を対象に普及している。このような多方面にわたる先端治療を紹介し、これからの医療の方向性についても考察する。				
学修目標	【A水準】 先端治療法の理論的背景を理解すると共に、実際の臨床でどのように導入されているか、また課題や今後の展開についても把握する。 【C水準】 先端治療法の理論的背景を理解すると共に、実際の臨床でどのように導入されているか、その臨床的効果についても把握する				
授業の概要	発癌進展過程や慢性炎症において、これらの病態を担う責任分子（群）が近年の研究により明らかにされ、責任分子（群）の機能制御を介した病状の改善や寛解、さらには予防を目指す治療法が開発されている。講義では抗体、ペプチドなどを用いた分子標的治療の現状や将来を、基礎的理論を踏まえて紹介する。 また免疫異常と病態との関連から、免疫機構の制御を介した新たな治療法がウイルス性疾患、自己免疫性疾患や癌に対して導入されるようになっており、その理論と現状、問題点について解説する。一方、臓器不全の補完治療として位置づけられている臓器移植、細胞移植について概説し、加えて人工臓器の確立までの経緯と基礎的研究を紹介する。一方、医用工学の発展によりもたらされた内視鏡的治療法の進歩を解説し、今後の展望についても言及する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	01/28	5時限 直江 秀昭 【eJ-0】	消化器疾患の内視鏡診断と治療の進歩		
2	02/01	5時限 田中 靖人 【eJ-0】	肝疾患の診断と最新治療		
3	02/04	5時限 田中 靖人 【eJ-0】	消化器疾患における分子標的治療		
4	02/08	5時限 坂上 拓郎 【eJ-0】	呼吸器疾患の診断と治療の進歩		
5	02/15	5時限 坂上 拓郎 【eJ-0】	最新のアレルギー性肺疾患情報		
6	02/18	5時限 坂上 拓郎 【eJ-0】	最新の肺癌の診断と治療		
7	02/22	5時限 宮丸 悟 【eJ-0】	嚥下障害に対する診断と治療		
8	02/25	5時限 伊勢 桃子 【eJ-0】	高度感音難聴に対する人工内耳を用いた治療		
9	03/01	5時限 村上 大造 【eJ-0】	頭頸部疾患における内視鏡的治療		
10	03/04	5時限 日比 泰造 【eJ-0】	臓器移植の歴史と現状		
11	03/08	5時限 日比 泰造 【eJ-0】	肝移植の基礎と臨床-		
12	03/11	5時限 神波 大己 【eJ-0】	尿路性器癌の最新治療戦略		
13	03/15	5時限 神波 大己 【eJ-0】	泌尿器科疾患における内視鏡的治療		
14	03/18	5時限 福島 聡 【eJ-0】	皮膚自己免疫疾患発症に対する分子標的治療		
15	03/22	5時限 福島 聡 【eJ-0】	皮膚悪性腫瘍に対するがん免疫療法		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	1.先端医療シリーズ 11.消化器疾患、25.肝・胆・脾疾患、10.呼吸器科、35.耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、7.泌尿器科、38.皮膚科、37.人工臓器、先端医療技術研究所 2.分子標的治療薬-作用機序と臨床- メディカルトリビューン社、2005年 3.肝移植診療ガイドブック 日本肝臓学会・日本肝移植研究会 2006年				
履修条件					
評価方法・基準	講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により授業の目標に掲げた事項についての理解度を評価する。15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。				
使用言語	「日本語」による授業				
教科書・資料の言語	「日本語」のテキスト				
実務経験を活かした授業	該当(診療の経験がある教員がオムニバス形式により指導する。)				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-011-82-2	2021通年	医学教育部(24100)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO代謝循環制御学理論【HIGO Metabolic and Circulatory Regul(C3)			尾池 雄一, 山本 達郎, 向山 政志, 荒木 栄一, 後藤 知己, 海北 幸一, 安達 政隆, 辻田 賢一, 山本 英一郎, 栗原 孝成,杉田 道子		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power point, OHP等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、ビデオ講義あるいはe-ラーニング等により対処する。				
授業の目的	(1)急性冠症候群の病態と関与する因子、および治療戦略、(2) 遺伝的素因、環境因子による急性冠症候群ハイリスク群の層別化による個別化医療の意義、(3)糖尿病をふくむ代謝異常症や糖尿病血管合併症の病態とその治療戦略、(4)インスリン作用や分泌の分子機構、(5)メタボリックシンドローム・肥満発症の分子機構と治療戦略、(6) 動脈硬化・肥満症の病態進展と炎症細胞の連関、(7) 腎臓の生理的な働きと、ネフロンの各セグメントでの詳細な機能の分化、コントロール、(8) 主な腎疾患の病態と、その病態を引き起こすメカニズム、(9) 手術侵襲の代謝循環への影響とそのメカニズム、またこれらの影響を制御する治療戦略、等について理解する。				
学修目標	【A水準】 代謝循環制御学に関する講義では、以下のことを理解し、自身の研究や診療活動に応用できる。 1.急性冠症候群の病態と関与する因子、および治療戦略 2.遺伝的素因、環境因子による急性冠症候群ハイリスク群の層別化による個別化医療の意義 3.糖尿病をふくむ代謝異常症や糖尿病血管合併症の病態とその治療戦略、 4.インスリン作用や分泌の分子機構、 5.メタボリックシンドローム・肥満発症の分子機構と治療戦略 6.動脈硬化・肥満症の病態進展と炎症細胞の連関 7.腎臓の生理的な働きと、ネフロンの各セグメントでの詳細な機能の分化、コントロール 8.主な腎疾患の病態と、その病態を引き起こすメカニズム 9.手術侵襲の代謝循環への影響とそのメカニズム、またこれらの影響を制御する治療戦略 【授業の概要】 ①急性冠症候群の基盤である動脈硬化進展メカニズムおよびその治療戦略を中心に解説する。また、心筋梗塞や心筋虚血再灌流時の梗塞組織のリモデリングや虚血再灌流障害に関与する分子についての現状を解説する。遺伝的素因、環境因子による急性冠症候群発症のハイリスク群階層化による個別化医療実現について系統的に講義する。(つづく) 【C水準】 上記1～9の項目について理解はしているが、自身の研究や診療活動に応用できるレベルには到達していない。				
授業の概要	(【授業の概要】つづき) ②糖尿病や糖尿病合併症、その基盤となるインスリン作用障害やインスリン分泌障害の発症機序について解説する。さらに、文献や最新の研究成果を紹介することにより、このような病態における未知の領域に対する分子細胞生物学や発生工学的手法などの新しい技術を用いたアプローチ法を議論する。 ③動脈硬化性疾患の基盤病態であるメタボリックシンドローム・肥満の分子機構解明と治療戦略についてその現状を学ぶ。 ④腎のネフロン各セグメントの詳細な構造、チャネルや輸送体の分布を学習する。またそれらのコントロールに関わるメカニズムを学ぶ。腎血流や血圧に対する腎の機能的な変化を学習し、それらを分子生理学的にどのように捕らえていくかを学ぶ。また蛋白尿と腎機能障害の発生メカニズムを検討し、各種腎疾患における病態生理学的なメカニズムを学習する。 ⑤手術侵襲により、患者は交感神経系の興奮・疼痛・炎症反応など様々な影響により大きく代謝・循環系への影響を受ける。このような影響がどのような生理学的な基礎に基づいて発症するかを理論を解説し、またこの理論に基づいた治療戦略の概要を解説する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	10/08	5時限 海北 幸一 【eE-0】	心筋虚血再灌流障害のメカニズム		
2	10/15	5時限 山本 英一郎 【eE-L】	遺伝的素因、環境因子による個別化医療		
3	10/22	5時限 辻田 賢一 【eE-0】	動脈硬化進展メカニズムと治療戦略		
4	10/29	5時限 杉田 道子 【eE-0】	治療戦略手術侵襲の種類とその影響		
5	11/05	5時限 後藤 知己 【eE-0,eJ-0】	NOと窒素代謝について		
6	11/12	5時限 荒木 栄一 【eE-0】	インスリンとインスリンの作用		
7	11/19	5時限 荒木 栄一 【eE-0】	糖尿病合併症とその対応		
8	11/26	5時限 山本 達郎 【eE-0】	手術侵襲による影響の生理的メカニズム		
9	12/03	5時限 山本 達郎 【eE-0】	手術侵襲を制御する治療戦略、特に痛みについて		
10	12/10	5時限 安達 政隆 【eE-0】	腎臓におけるK代謝のメカニズム		
11	12/17	5時限 栗原 孝成 【eE-0】	ネフロンの構造と機能		
12	12/24	5時限 向山 政志 【eE-0】	腎臓におけるNaおよび水代謝のメカニズム		
13	01/07	5時限 後藤 知己 【eE-0,eJ-0】	小胞体ストレス病について		
14	01/14	5時限 荒木 栄一	代謝異常症の病態と治療		
15	01/21	5時限 尾池 雄一	老化・生活習慣関連疾患の分子病態		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	・ "Braunwald' s Heart Disease : A Textbook of Cardiovascular Medicine, Eight edition" edited by Libby P et al. Saunders Press, Philadelphia, 2007. ・ "Miller' s Anesthesia, sixth edition" edited by Miller RD. Elsevier Churchill Livingstone, Philadelphia, 2005. ・ Brenner & Rector' s The Kidney 10th edition, Elsevier ・ Comprehensive Clinical Nephrology 3rd edition, Mosby				
履修条件					

評価方法・基準	講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。
使用言語	「英語」による授業
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト
実務経験を 活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-012-82-2	2021通年	医学教育部(24110)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO発達生育医学理論【HIGO Reproductive and Developmental Me(C4 発達生育医学理論)】			中村 公俊, 奥山 虎之, 日比 泰造, 大場 隆, 三淵 浩, 仲里 仁史, 松本 志郎, 岩井 正憲, 齋藤 文誉, 山口 宗影, 小篠 史郎, 坂本 理恵子, 城戸 淳, 磯野 香織		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	その他				
授業の方法	質疑応答、Power Point などを活用する。遠隔地の学生や社会人学生には補講、e-ラーニング、レポートなどで対応する。				
授業の目的	発達生育医学論理論講義では以下のことを理解することを目標とする。（１）ヒトの受精、妊娠における生理機能と病態についての基本的な知識の習得、（２）出生に至るまでの医学的な介入とその社会的な意味の理解、（３）ヒトの発育、発達に関する生理的な状態と病的状態の基本的知識の取得、（４）遺伝性疾患、神経筋疾患や外科疾患、移植医療など、小児期の多様な疾患に関する理解。				
学修目標	【A水準】 発達生育医学に関わる基本的な知識と先進医療における問題について、生理と病理、病態と治療、技術と倫理的側面から理解する。さらに、妊娠や出産、未熟児医療や生殖補助医療、出生前診断や難病対策、外科疾患、移植医療などについて、十分に達成しているレベルをA水準とする。  【C水準】 達生育医学に関わる基本的な知識と先進医療における問題について、生理と病理、病態と治療、技術と倫理的側面から理解する。さらに、妊娠や出産、未熟児医療や生殖補助医療、出生前診断や難病対策、外科疾患、移植医療などについて、最低限達成しているレベルをC水準とする。				
授業の概要	発達生育医学における最も重要な事柄及び最近注目されている研究の進歩について紹介する。妊娠、出産に関する講義では、出産に至る過程に存在する様々な問題について考え、妊娠の継続に重要な胎盤の生理と病理、医学的な介入方法などを学ぶ。また、性分化異常の病態と治療についての基本的な考え方と医学的介入に関する知識を習得する。妊娠出産にいたる胎児の発育は未熟児医療の問題とも直結している。そこで、未熟新生児の生理について学び、未熟児に特有な病態や疾患などについて考える。近年、生殖補助医療の分野で進歩は目覚しく、その経験も深まりつつある。生殖補助医療の基本と最近の進歩を学ぶとともに、その倫理的側面について考える。一方、出生前診断の技術と応用例を学ぶ。その倫理的側面についても議論したい。さらに、新生児外科疾患、小児の臓器移植について理解を深める。小児期の疾患ではその概要、病態、治療について具体的な症例に学ぶとともに、最近の進歩まで俯瞰したい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	10/07	5時限 奥山 虎之 非常勤講師	小児遺伝性疾患の酵素補充療法と遺伝子治療		
2	10/14	5時限 仲里 仁史 教授	遺伝性腎疾患について		
3	10/21	5時限 中村 公俊 教授	小児難病の早期診断と治療		
4	10/28	5時限 岩井 正憲 講師	日本における近年の新生児集中治療と新生児低酸素性虚血性脳症に対する新たな治療戦略について概説する。1. 新生児集中治療室、2. 新生児低酸素性虚血性脳症に対する新生児低体温療法、3.エリスロポエチンを用いた神経新生、血管新生、再髄鞘化について研究内容の3つについて紹介する。		
5	11/04	5時限 三淵 浩 特任教授	先天異常と遺伝カウンセリング		
6	11/11	5時限 小篠 史郎 特任講師	小児神経筋疾患の分子病態と治療戦略 ―Duchenne型筋ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症―		
7	11/18	5時限 坂本 理恵子 講師	小児の肝臓病の現状と課題		
8	11/25	5時限 松本 志郎 准教授	生体内のアミノ酸代謝とその恒常性維持破綻による疾患		
9	12/02	5時限 城戸 淳 講師	我が国における先天性アミノ酸代謝異常症の現状: 治療、長期的予後や今後の課題について		
10	12/09	5時限 大場 隆 准教授 【eJ-0】	胎児異常の出生前診断とその倫理		
11	12/16	5時限 大場 隆 准教授	ヒト胎盤の構造、生理と病理、胎盤の異常と異常妊娠の関連、絨毛性疾患		
12	12/23	5時限 齋藤 文誉 助教 【eJ-0】	ヒト子宮内膜の構造、生理と病理、ならびに癌化		
13	01/06	5時限 山口 宗影 講師 【eJ-0】	ヒト胎盤絨毛マクロファージの多彩な機能と周産期疾患		
14	01/13	5時限 磯野 香織 助教	新生児外科的疾患における出生前診断と周産期管理		
15	01/20	5時限 日比 泰造 教授	小児患者に対する臓器移植の適応と成績		
テキスト	Nelson Textbook of PEDIATRICS				
参考文献	特に指定しない。				
履修条件					
評価方法・基準	講義中の内容を通して学んだことをレポートとして提出し、点数により評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-013-83-2	2021通年	医学教育部(24120)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO腫瘍先端医学理論I【HIGO Advances in Oncologic Medicine】(C5 (1) 腫瘍学全体の概要とその理解、(2) 消化器外科学の現状と最新の知見、(3) 顎口腔腫瘍学の現状と最新の知見、(4) 呼吸器外科学の現状と最新の知見)			鈴木 実, 荒木 令江, 馬場 秀夫, 中山 秀樹		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……45% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……35% 3.グローバルな視野と行動力 ……10% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power point等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、ビデオ講義あるいはe-ラーニング等により対処する。				
授業の目的	腫瘍先端医学理論Iに関する講義では、以下のことを理解することを目標とする。(1)腫瘍学全体の概要とその理解、(2)消化器外科学の現状と最新の知見、(3)顎口腔腫瘍学の現状と最新の知見、(4)呼吸器外科学の現状と最新の知見				
学修目標	【A水準】 ヒト腫瘍の原因、発生から進展、浸潤・転移のメカニズムについて最新の知識を身につける。その一方で、各腫瘍の疫学から診断・治療までの最新の臨床医療についての知識も身につける。最終的に、基礎と臨床の知識を統合し、最先端医療を行う過程で、課題を見出し解決する能力を身につけ、自ら実践していくことを目標とする。 【C水準】 ヒト腫瘍の原因、発生から進展、浸潤・転移のメカニズムについて最新の知識を身につける。その一方で、各腫瘍の疫学から診断・治療までの最新の臨床医療についての知識も身につける。				
授業の概要	腫瘍発症のメカニズムに関する歴史的発見と現在までの研究の発展に関して概説するとともに、世界的にも最先端の研究の例をあげ、当研究室の研究を含めて講義する。特に腫瘍関連遺伝子の細胞内分子メカニズム、細胞周期、細胞死、分化異常に関する研究、これに関連した治療薬、分子診断技術としてのゲノム・トランスクリプトーム・プロテオミクス、最先端の話題としてがん幹細胞に関する最近の知見を講義する 食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌、胆道癌、GIST、などの消化器癌は、患者数も多く、癌の中でも中心的な位置を占める。各消化器癌における標準治療、および難治癌、転移を伴う進行癌、再発癌に対する先進治療について解説する。 口腔扁平上皮癌の予後を左右するものは、周囲組織への浸潤と頸部リンパ節への転移である。そこで、今回は本腫瘍の浸潤、転移機構に関連する各種接着分子、蛋白分解酵素の働きについて解説する。 呼吸器外科の進歩は結核外科時代から受け継がれてきた伝統と画像診断を中心とした機器の発展に依存するところが大きい。がん死亡の大きな部分を占める肺癌を中心に、診断および治療の最先端の知見および当科での研究の一端を講義する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	10/05	4 時限 荒木 令江 【eEJ-L】	腫瘍医学総論 ----		
2	10/12	4時限 荒木 令江 【eEJ-L】	腫瘍医学各論1 ----		
3	10/19	4 時限 荒木 令江 【eEJ-L】	腫瘍医学各論2 ----		
4	10/26	4 時限 馬場 秀夫 【eJ-O】	消化器外科学総論 ----		
5	11/02	4 時限 馬場 秀夫 【eE-O】	消化器外科学各論1 ---		
6	11/09	4 時限 馬場 秀夫 【eJ-O】	消化器外科学各論2 ---		
7	11/16	4 時限 馬場 秀夫 【eE-O】	消化器外科学各論3 ---		
8	11/30	4 時限 馬場 秀夫 【eE-O】	消化器外科学各論4 ---		
9	12/07	4 時限 馬場 秀夫 【eE-O】	消化器外科学各論5 ---		
10	12/14	4 時限 中山 秀樹 【eJ-O】	顎口腔腫瘍総論 ---		
11	12/21	4 時限 中山 秀樹 【eJ-O】	口腔扁平上皮癌の診断と治療		
12	01/04	4 時限 中山 秀樹 【eJ-O】	口腔扁平上皮癌の治療上の問題点と課題		
13	01/11	4 時限 鈴木 実 【eE-O】	胸部腫瘍総論 ----		
14	01/18	4 時限 鈴木 実 【eJ-O】	肺癌 -----		
15	01/25	4 時限 鈴木 実 【eE-O】	縦隔腫瘍、その他 -----		
テキスト	特に指定はしない。				
参考文献	・「がんの生物学」ロバート・A.ワインバーグ/武藤誠 南江堂（翻訳版）「The biology of cancer」Weinberg RA, New York: Garland Science.(英語版) 「がん遺伝子の発見 がん解明の同時代史」・黒木登志夫著. 中央公論新社、「疾患プロテオミクスの最前線 - プロテオミクスで病気を治せるか」、戸田年総・荒木令江編 遺伝子医学MOOK、メディカルドゥ、Cancer: principles & practice of oncology. DeVita VT Jr, et al., editors, Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins. Abeloff MD, et al.: Clinical Oncology. New York: Churchill Livingstone. ACS surgery: principles and practice. Wilmore DW, et al., editors. New York: WebMD. 顎口腔医学推薦書 先端医療シリーズ26 呼吸器外科の最新医療(末舛恵一・人見滋樹監修、先端医療技術研究所、2004年)				
履修条件					
評価方法・基準	講義中の態度、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業 (----)				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト (-----)				
実務経験を活かした授業	該当 (手術、診療に実際に携わる医師が最新の情報と技術を持って講義を行う)				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-014-83-2	2021通年	医学教育部(24130)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO腫瘍先端医学理論II【HIGO The Forefront of Clinical Oncol(腫瘍先端医学理論II C6)			大屋 夏生、武笠 晃丈、村上 龍次、山本 豊、齋藤 文誉、本原 剛志、岩永 栄作、野坂 生郷、安永 純一郎		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……70% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……10% 3.グローバルな視野と行動力 ……10% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態		講義			
授業の方法		Power pointを活用した講義形式を原則とするが、ビデオ講義あるいはe-ラーニングを活用することもありうる。			
授業の目的		腫瘍先端医学理論IIにおける講義では、以下の領域における、腫瘍学の最先端に関する理解を深めることを目標とする。(1)放射線腫瘍学、(2)乳腺・内分泌腫瘍学、(3)婦人科腫瘍学、(4)脳神経腫瘍学、(5)造血腫瘍学			
学修目標		【A水準】 以下の領域における腫瘍学の最先端に関する理解を深めることを目標とする。 (1)放射線腫瘍学、(2)乳腺・内分泌腫瘍学、(3)婦人科腫瘍学、(4)脳神経腫瘍学、(5)造血腫瘍学 【C水準】 以下の領域における腫瘍学の最先端に関し、一定の知識を得ることを目標とする。 (1)放射線腫瘍学、(2)乳腺・内分泌腫瘍学、(3)婦人科腫瘍学、(4)脳神経腫瘍学、(5)造血腫瘍学			
授業の概要		(1)放射線腫瘍学の最先端を、特に高精度放射線治療技術に重点をおいて解説する。 (2)乳腺・内分泌腫瘍学について乳癌、甲状腺癌を中心に外科的療法、化学療法、分子標的治療などの先端医学について解説する。 (3)婦人科腫瘍学について、最近の動向と治療を中心に解説し、特に子宮頸癌の腔内照射・外照射、chemordiationに言及する。 (4)脳神経腫瘍学の最先端を、特に悪性脳腫瘍の分子生物学に重点をおいて解説する。 (5)造血管腫瘍学における最先端を、腫瘍発生病態とその制御に重点をおいて解説する。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ		内容概略	
1	10/05	5時限 大屋 夏生 【eJ-0】		放射線治療のメカニズム	
2	10/12	5時限 大屋 夏生 【eJ-0】		定位放射線治療と強度変調放射線治療	
3	10/19	5時限 村上 龍次 【eJ-0】		画像誘導放射線治療と適応放射線治療	
4	10/26	5時限 山本 豊 【eJ-0】		乳がんの疫学と生物学的特徴	
5	11/02	5時限 山本 豊 【eJ-0】		乳がん治療のパラダイムシフト	
6	11/09	5時限 山本 豊 【eJ-0】		乳がんの分子標的治療	
7	11/16	5時限 本原 剛志 【eJ-0】		婦人科悪性腫瘍の疫学と病因	
8	11/30	5時限 齋藤 文誉 【eJ-0】		婦人科悪性腫瘍に対する治療の変遷	
9	12/07	5時限 本原 剛志 【eJ-0】		婦人科悪性腫瘍における放射線治療	
10	12/14	5時限 武笠 晃丈 【eJ-0】		脳腫瘍の分子生物学的特性	
11	12/21	5時限 武笠 晃丈 【eJ-0】		脳腫瘍診断の最先端-	
12	01/04	5時限 武笠 晃丈 【eJ-0】		脳腫瘍治療の最先端-	
13	01/11	5時限 岩永 栄作 【eJ-0】		造血器腫瘍Ⅰ（白血球系）	
14	01/18	5時限 野坂 生郷 【eJ-0】		造血器腫瘍Ⅱ（リンパ球系）	
15	01/25	5時限 安永 純一郎 【eJ-0】		造血器腫瘍Ⅲ（ウイルスが引き起こす造血器腫瘍）	
テキスト		特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する場合がある。			
参考文献		特になし			
履修条件					
評価方法・基準		講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。			
使用言語		「日本語」による授業			
教科書・資料の言語		「日本語」のテキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-015-83-2	2021通年	医学教育部(24140)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO機能再建医学理論【HIGO Restorative Medicine】(C7)			宮本 健史, 福島 聡, 西川 武志, 蒲原 英伸, 河野 宏明, 福井 寿啓, 原田 正公		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……10% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態		講義			
授業の方法		質疑応答を重視した講義形式で、Power point, OHP等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、ビデオ講義あるいはe-ラーニング等により対処する。			
授業の目的		近年、機能再建医学はあらゆる領域で著しく進歩している。本講義では、生命維持と生活機能の両面から機能再建医学の現状と課題について理解し、さらに機能再建医学の新たな展開のために不可欠な臨床研究の方法論について習得することを目標とする。			
学修目標		<p>【A水準】</p> <p>以下の事項を理解し、説明できるようになることを目標とする。(1)敗血症の病態と治療戦略、敗血症から臓器不全発症のメカニズム、(2)冠症候群のリスクファクター、心臓血管系疾患とその外科治療についての最新の知識、(3)心臓血管系疾患とその外科治療についての最新の知識、(4)皮膚創傷治癒のメカニズム、体表血流分布の解剖学的部位による違い、形成外科的手技や再生医学的手法、(5)骨・関節機能の破綻とその対策、(6)臨床研究を立案・実施する上で必要な基礎知識</p> <p>【C水準】</p> <p>以下の事項を概ね理解することを目標とする。(1)敗血症の病態と治療戦略、敗血症から臓器不全発症のメカニズム、(2)冠症候群のリスクファクター、心臓血管系疾患とその外科治療についての最新の知識、(3)心臓血管系疾患とその外科治療についての最新の知識、(4)皮膚創傷治癒のメカニズム、体表血流分布の解剖学的部位による違い、形成外科的手技や再生医学的手法、(5)骨・関節機能の破綻とその対策、(6)臨床研究を立案・実施する上で必要な基礎知識</p>			
授業の概要		授業では、国際的な敗血症のガイドラインの新たな定義、治療戦略を理解し、新たな臨床研究の可能性について概説する。また、敗血症から臓器不全発症のメカニズムを基礎的および臨床的視点で検討する。さらに、緊急を要する代表的な疾患である冠症候群のリスクファクター、心不全・虚血性心疾患・心臓弁膜症に対する外科治療の進歩について講義する。一方、皮膚や骨・関節の障害は生命に直接関わることは少ないものの、生活機能に与える影響は大きい。授業では、皮膚創傷治癒の理論について分子生物学的な最新の知見を交えて解説し、人体の皮膚血流の研究による皮弁の進歩やマイクロサージャリーの発展に伴う血管・リンパ管・神経の再建医学について講義する。また、骨や関節機能の恒常性破綻機構の基礎を解説し、その対応の試みについて近年の研究成果を含めて紹介する。さらに本講義では、臨床研究を実施する上で不可欠な研究仮説の立て方と研究デザインの選択、臨床データの取り扱いと統計解析法について解説する。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ		内容概略	
1	10/06	4 時限 福島 聡 【eJ-0】		創傷治癒のメカニズム	
2	10/13	4 時限 福島 聡 【eJ-0】		局所皮弁による再建-	
3	10/20	4 時限 福島 聡 【eJ-0】		マイクロサージャリーを用いた再建	
4	10/27	4 時限 宮本 健史 【eJ-0】		骨恒常性の維持機構とその破綻	
5	11/10	4 時限 宮本 健史 【eJ-0】		関節軟骨のバイオロジー	
6	11/17	4 時限 宮本 健史 【eJ-0】		炎症性関節破壊とその対策	
7	11/24	4 時限 西川 武志 【eJ-0】		研究の仮説とデザイン	
8	12/01	4 時限 蒲原 英伸 【eJ-0】		敗血症の新たな診断と治療戦略	
9	12/08	4 時限 蒲原 英伸 【eJ-0】		Sepsisによる臓器不全のメカニズム	
10	12/15	4 時限 河野 宏明 【eJ-0】		冠動脈疾患の危険因子と性差	
11	12/22	4 時限 福井 寿啓 【eJ-0】		心不全の外科治療の進歩	
12	01/05	4 時限 福井 寿啓 【eJ-0】		虚血性心疾患の外科治療	
13	01/12	4 時限 福井 寿啓 【eE-0】		心臓弁膜症の外科治療	
14	01/19	4 時限 西川 武志 【eJ-0】		糖尿病合併症研究から考える研究の仮説とデザイン	
15	01/26	4 時限 原田 正公 【eJ-0】		臨床研究における臨床データの取扱いと統計解析	
テキスト		特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。			
参考文献		授業中に適宜紹介する。			
履修条件					
評価方法・基準		15回の講義におけるレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。			
使用言語		「日本語」による授業			
教科書・資料の言語		「日本語」のテキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-016-83-2	2021通年	医学教育部(24150)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGOがん治療学理論【HIGO Cancer therapeutics】(C 8 がん治療学理論)			鈴木 実, 武笠 晃丈, 坂上 拓郎, 大屋 夏生, 神波 大己, 折田 頼尚, 馬場 秀夫, 田中 靖人, 中山 秀樹, 野坂 生郷, 山本 豊, 日比 泰造, 宮本 健史, 福島 聡, 本原 剛志		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・60% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・35% 3.グローバルな視野と行動力・・・5%					
授業の形態	講義				
授業の方法	e-learningあるいは対面講義により講義を進める。				
授業の目的	がん治療学理論における講義では、外科治療、放射線治療、化学療法や免疫療法などのがんに対する治療法の基礎的理解を深め、また治療法の歴史的変遷、最近の標準治療、今後の方向性についても理解し習得できるように指導する。さらに、各論として、以下の領域における、がん治療の最先端に関する理解を深めることを目標とする。(1)消化器腫瘍(2)呼吸器腫瘍(3)脳神経系腫瘍(4)頭頸部腫瘍(5)顎口腔腫瘍(6)乳腺内分泌腫瘍(7)泌尿器系腫瘍(8)婦人科腫瘍(9)骨軟部腫瘍(10)皮膚腫瘍(11)造血器腫瘍(12)小児腫瘍等につき最新の治療法に関する知識の習得を目標とする。				
学修目標	【A水準】 外科治療、放射線治療、化学療法や免疫療法などのがんに対する治療法の基礎的理解を習得し、最新の治療法等を交えて他人に説明することができる。 【C水準】 外科治療、放射線治療、化学療法や免疫療法などのがんに対する治療法をおおむね理解し、他人に伝えることができる。				
授業の概要	本講義では、がん治療の総論としての、外科治療、化学療法、放射線療法、免疫療法などに加え、それぞれの臓器ごとの最新の治療法、標準治療に関する理解を深める。がんの治療に関しては近年、それぞれの臓器ごとにガイドラインが策定され、均填化が図られている。がん治療の標準化のために、さまざまな臨床試験が推進され、得られた結果に基づき、エビデンスレベルの高いものが標準治療として、確立されるが、これまでの臨床試験の結果から、どのように標準治療が確立されているかを学ぶ。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ		内容概略	
1	01/27	木曜 5時限 田中 靖人【eJ-0】		消化器がんの内科的治療	
2	01/31	月曜 5時限 馬場 秀夫【eJ-0】		消化器がんの外科治療	
3	02/03	木曜 5時限 坂上 拓郎【eJ-0】		肺がんの内科的治療__	
4	02/07	月曜 5時限 鈴木 実【eJ-0】		肺がんの外科的治療__	
5	02/10	木曜 5時限 中山 秀樹【eJ-0】		口腔癌の治療 口腔癌に対する外科治療、放射線治療、化学療法、および免疫療法などの効果と治療の位置付けについて講義する。	
6	02/14	月曜 5時限 折田 頼尚【eJ-0】		頭頸部腫瘍の治療____	
7	02/17	木曜 5時限 宮本 健史【eJ-0】		骨軟部腫瘍の治療____	
8	02/21	月曜 5時限 山本 豊【eJ-0】		乳がんの治療____	
9	02/24	木曜 5時限 本原 剛志【eJ-0】		婦人科悪性腫瘍の治療	
10	02/28	月曜 5時限 神波 大己【eJ-0】		泌尿器系腫瘍の治療____	
11	03/03	木曜 5時限 福島 聡【eJ-0】		皮膚がんの治療____	
12	03/07	月曜 5時限 日比 泰造【eJ-0】		小児固形癌の治療____	
13	03/10	木曜 5時限 武笠 晃丈【eJ-0】		脳腫瘍の治療____	
14	03/14	月曜 5時限 野坂 生郷【eJ-0】		造血器腫瘍の治療____	
15	03/17	木曜 5時限 大屋 夏生【eJ-0】		がんの放射線治療____	
テキスト	特に指定せず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	・新臨床腫瘍学、日本臨床腫瘍学会編 ・Cancer principles & practice of oncology,V.T. DeVita, S.Hellman, S.A.Rosenberg,Lippincott Willams &Wilkins ・Clinical Oncology, M.D.Abeloff, J.O. Armitage, J.E.Niederhuber,M.B.Kastan,W.G.McKenna, Elsevier ・Cancer Medicine, Holland-Frei, AACR ・The biology of Cancer, R.A.Weinberg, Garland Science ・NCCN ガイドライン				
履修条件					
評価方法・基準	講義中の質疑応答や、講義終了時に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。				
使用言語	「日本語」による授業				
教科書・資料の言語	「日本語」のテキスト				
実務経験を 活かした授業	該当(がん治療として、外科治療、化学療法、放射線療法、免疫療法などに加え、それぞれの臓器ごとの最新の治療、標準治療について経験のある教員が、その経験を活かして、各専門科目について講義する。)				



科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-017-83-2	2021通年	医学教育部(24160)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO緩和ケア学理論【HIGO Paliative Care】(C9 緩和ケア学)			山本 達郎		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・40% 3.グローバルな視野と行動力・・・15% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・15%					
授業の形態	その他				
授業の方法	日本癌治療学会が開設しているCancer e-learningに掲載されているe-learningを用いて行う。緩和医療（13コンテンツ）及び精神腫瘍学（13コンテンツ）の中から任意の14コンテンツ以上を受講する。受講後に、理解度確認テストを受け、合格することにより受講を確認する。				
授業の目的	緩和医療学に関する講義では、悪性腫瘍などの生命を脅かす疾患に罹患している患者・家族のQOL向上のために、緩和医療を実践し、さらに同分野の教育や臨床研究を行うことが出来る能力を身につけることが目標となる。				
学修目標	【A水準】 悪性腫瘍などの生命を脅かす疾患に罹患している患者・家族のQOL向上の緩和医療を実践し、さらに同分野の教育や臨床研究を行うことが出来る能力を身につけることが目標となる。 【C水準】 緩和医療・ACPの概念を知る。また患者だけでなく患者家族のQOLにも目を向けることが出来るようになる。				
授業の概要	上記目的を達成するために、①症状マネジメント、②腫瘍学、③心理社会的側面、④自分自身およびスタッフの心理的ケア、⑤スピリチュアルな側面、⑥倫理的側面、⑦チームワークとマネジメントについて講義を行い、討論をする。この他、平成19年度に施行された“がん対策基本法”に関する基本的な知識を身につけることが求められる。症状マネジメントでは、疼痛・消化器系症状・呼吸器系症状など緩和医療で問題となるあらゆる症状の基本的な対処法を学ぶ。腫瘍学では、常に基本的な最新の知識（診断、治療法など）について学ぶ。緩和医療で強調されるトータルペインの考え方を身につけ、癌患者の心理社会的側面、スピリチュアルな側面、倫理的側面の問題点を講義し、討論する。また、実際の緩和医療の現場では、医療者の燃え尽きなどが問題となることが多く、これに対する心理的ケア、またスタッフ同士のマネジメントを学び、実地での臨床に役立つ知識を学ぶ。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		緩和医療・精神腫瘍学	Cancer e-learningに掲載されているe-learningを用いて行う		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	・終末期癌患者に対する輸液治療のガイドライン、日本緩和医療学会、2007年 ・緩和ケアのために医薬品集、編集：緩和ケア編集委員会、青海社、2006年 ・がん緩和ケアに関するマニュアル 改訂第2版、編集：がん末期医療に関するケアのマニュアル改訂委員会、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団、2005年 ・Oxford Textbook of Pliative Medicine, 3rd, Edited by Doyle D, Hanks G, et al., Oxford University Press ・Textbook of Palliative Medicine, Edited by Bruera E, Higginson IJ, Ripamonti C, von Gunten CF., Hodder Arnold,				
履修条件					
評価方法・基準	日本癌治療学会が開設しているCancer e-learningの理解度確認テストを受け、合格した後に、レポートの提出を求める。このレポートにより評価する				
使用言語	「日本語」による授業(日本語)				
教科書・資料の言語	「日本語」のテキスト(日本語)				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-018-83-2	2021通年	医学教育部(24170)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO臨床研究理論【HIGO The Theory of Clinical Research】(C10 臨床研究の理論を学ぶ)			門岡 康弘, 濱田 哲暢, 田村 研治, 鈴木 実, 武笠 晃丈, 神波 大己, 馬場 秀夫, 山本 豊, 宇宿 功市郎		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……100%					
授業の形態	その他				
授業の方法	Power poinスライドや配布資料等を活用する。遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、ビデオ講義あるいはe-ラーニング等により対処する。				
授業の目的	介入研究、医師主導臨床試験、治験といったさまざまな臨床研究を遂行するために必要な知識の提供を目的とする。				
学修目標	<p>【A水準】</p> <p>1. 科学的合理性と倫理性を備えた臨床研究を立案し、遂行できる</p> <p>2. 多施設共同研究や大規模臨床試験の担当者として役割を適切に果たすことができる</p> <p>3. 臨床研究・臨床試験の研究成果を臨床医療にも活用できる</p> <p>4. 悪性腫瘍の臨床研究と標準治療に関する幅広い知識を獲得する</p> <p>【C水準】</p> <p>1. 臨床研究に関する科学的合理性と倫理性について理解する</p> <p>2. 臨床研究・臨床試験の実施方法について理解する</p> <p>3. 悪性腫瘍治療の開発や戦略について理解する</p>				
授業の概要	研究倫理、統計、研究デザイン、薬物動態など、臨床研究・臨床試験の遂行に必要な知識を学ぶ。また、肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、泌尿器がん、悪性脳腫瘍を臨床モデルとして、それぞれの生物学的特性、EBMに基づいた治療法などについて、臨床試験の結果を中心に講義を行う。また、分子生物学的な特徴からトランスレーショナル研究の現状と展望、およびこれらを考慮した最新の治療法についても講義を行う。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	10/04	5時限 門岡 康弘 【eEJ-0】	医学研究の歴史的側面		
2	10/11	5時限 門岡 康弘 【eEJ-0】	臨床研究における倫理指針		
3	10/18	5時限 宇宿 功市郎 【eJ-0,eE-0】	臨床試験の統計学的背景		
4	10/25	5時限 濱田 哲暢 【eEJ-0】	抗悪性腫瘍薬のPharmacokinetics/		
5	11/01	5時限 田村 研治 【eEJ-0】	抗悪性腫瘍薬のPharmacokinetics/		
6	11/08	5時限 山本 豊 【eEJ-0】	臨床試験のデザインと評価項目		
7	11/15	5時限 鈴木 実 【eE-0】	肺がんの臨床試験（1）		
8	11/22	5時限 鈴木 実 【eE-0】	肺がんの臨床試験（2）		
9	11/29	5時限 馬場 秀夫 【eE-0】	胃がんにおける臨床試験		
10	12/06	5時限 馬場 秀夫 【eE-0】	大腸がんにおける臨床試験		
11	12/13	5時限 馬場 秀夫 【eE-0】	肝がんにおける臨床試験		
12	12/20	5時限 山本 豊 【eEJ-0】	乳がんの臨床試験（1）		
13	12/27	5時限 山本 豊 【eEJ-0】	乳がんの臨床試験（2）		
14	01/17	5時限 神波 大己 【eEJ-0】	泌尿器がんの臨床試験		
15	01/24	5時限 武笠 晃丈 【eEJ-0】	悪性脳腫瘍の臨床試験		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	Emanuel EJ. et al. The Oxford Textbook of Clinical Research Ethics. Oxford University Press., 2008Breast Cancer, Molecular Genetics, Pathogenesis, and Therapeutics” edited by Bowcock, HUMANA PRESS, 2004American Society of Clinical Oncology Clinical Practice Guideline, National Comprehensive Cancer Network Clinical (NCCN) Guidelines for the Treatment of Cancer by Site, which are available on the internet.米国SWOGに学ぶがん臨床試験の実践。JCOGデータセンター, 2013年脳腫瘍診療ガイドライン、脳腫瘍取扱い規約第3版（ともに金原出版）				
履修条件					
評価方法・基準	講義への出席状況、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により評価を行う。e-ラーニング受講者には、視聴後に小テストを実施する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	該当 (各担当教員は、臨床研究や治験の責任医師・分担医師、プロトコール作成担当者あるいはIRBメンバーとしての実務経験を有する。)				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-008-81-2	2021通年	医学教育部(24075)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO環境社会医学理論【HIGO Environmental and Sociomedical Sc(B8)			西谷 陽子, 加藤 貴彦, 松井 邦彦, 副島 弘文, 魏 長年, 大森 久光, 盧 溪		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……25% 3.グローバルな視野と行動力 ……10% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……40%					
授業の形態		講義			
授業の方法		質疑応答を重視した講義形式で、Power point, 等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、e-ラーニングにより対処する。英語の講義・英語のテキストを基本とするが必要に応じて日本語での講義・テキストで行う。			
授業の目的		社会医学は、社会的存在としてのヒトのライフサイクルの様々な局面における医学的側面と社会的側面について考究する医学の重要な分野である。ヒトの健康は生態系の環境に規定され、また医学の社会的適用としての保健医療福祉体系によって支えられている。			
学修目標		【A水準】 環境と健康との関わりを理解し、疾病予防・健康増進を含む総合医療の概念を修得し、個人の基本的人権の擁護、社会の安全を維持するための医と法について包括的に学び、社会精神医学、社会心理学的側面から社会における対人関係の基本的概念を学ぶ。 【C水準】 環境と健康との関わりを理解し、疾病予防・健康増進を含む総合医療の概念を修得し、個人の基本的人権の擁護、社会の安全を維持するための医と法について基本的な事項を説明できる。			
授業の概要		本授業では社会医学の広範な領域を、環境保健医学（衛生学）、公衆衛生学、保健医学、法医学、神経精神医学の立場から縦横に論理を展開する。すなわち、環境保健医学（衛生学）では環境の構造、環境と人間の関連、環境の指標と評価、環境基準の設定と維持について、公衆衛生学・保健医学では、健康の概念、予防医学活動をめぐる健康社会の構築とその基本的な手技である疫学について実践的な講義を行う。法医学では、法医学の目的と法医実務について総論的な講義を行うとともに、死の原因、分類、医学的、法律的、社会的な側面、および法医学からの社会貢献に触れる。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ		内容概略	
1	06/04	6時限 加藤貴彦【eE-0, eJ-0】		公衆衛生学 社会医学の意義	
2	06/11	6時限 加藤貴彦【eE-0, eJ-0】		公衆衛生学 疫学について	
3	06/18	5時限 大森久光【eE-L】		公衆衛生学 一次予防・健診システム	
4	06/25	5時限 副島弘文【eEJ-L】		保健医学 動脈硬化について	
5	07/02	5時限 副島弘文【eEJ-L】		保健医学 血液凝固と線溶	
6	07/09	5時限 副島弘文【eEJ-L】		保健医学 生活習慣と冠動脈疾患	
7	07/16	5時限 盧 溪【eE-0】		公衆衛生学 医療統計学	
8	07/30	5時限 盧 溪【eE-0】		公衆衛生学 研究デザイン	
9	08/06	5時限 西谷陽子【eE-0, eJ-L】		法医学 法医学の定義・目的	
10	08/20	5時限 西谷陽子【eE-0, eJ-L】		法医学 法医学と法科学	
11	08/27	5時限 西谷陽子【eE-0, eJ-L】		法医学 ヒトの死の社会的側面（1）	
12	09/03	5時限 西谷陽子【eE-0, eJ-L】		法医学 ヒトの死の社会的側面（2）	
13	09/10	5時限 魏 長年【eE-L, eJ-0】		公衆衛生学 健康・ヘルスプロモーション	
14	09/17	5時限 魏 長年【eE-L, eJ-0】		公衆衛生学 ライフスタイルの評価	
15	09/24	5時限 松井邦彦【eJ-L】		総合診療学: 臨床研究、結果の解釈	
テキスト		講義にポイントをまとめたプリントを配布する。			
参考文献		・岸玲子他編：New予防医学・公衆衛生学、南江堂、東京・Maxy-Rosenan-Last:Public Health & Preventive Medicine(14 edit)Appleton & Lange. 1998・疫学ハンドブック、重要疾患の疫学と予防、日本疫学会編集、南江堂、1998・学生のための法医学（柏村征一、恒成茂行ら著）、南山堂、2006年・			
履修条件					
評価方法・基準		講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。 15回の講義における小テストあるいはレポートで評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業 (e-ラーニングを含めて英語または日本語で実施する。)			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト (e-ラーニングを含めて英語または日本語で実施する。)			
実務経験を活かした授業		該当 (公衆衛生学、地域医療学、環境医学、法医学で実際にそれぞれの分野で研究・実務をしている内容に関する授業を行う。)			



### **3. 講義科目**

**(薬学教育部開講科目)**

## 時間割コード

授業科目	時間割コード		初回授業	教室
	医学教育部	薬学教育部		
HIGO有機化学特論	24180	07005	調整中（後期）	調整中
HIGO物性化学特論	24190	07010	調整中	調整中
HIGO医薬品学特論	24200	07015	調整中	調整中
HIGO薬物動態学特論	24210	07020	調整中	調整中
HIGO生体機能学特論	24220	07025	調整中	調整中
HIGO臨床薬学特論	24230	07030	調整中	調整中
HIGO薬物送達学特論	24240	07035	調整中	調整中
HIGO先端医療学特論	24250	07040	調整中	調整中
HIGO創薬学特論	24260	07045	4月8日（木）	研修室
HIGO薬学生化学特論	24270	07050	4月16日（金）	遠隔
HIGO有機合成学特論	24280	07055	moodleで通知	moodleで通知
HIGO天然物化学特論	24290	07060	moodleで通知	遠隔
HIGO病態遺伝子解析学特論	24300	07065	後期（開講なし）	
HIGO臓器形成学特論	24310	07070	調整中	調整中
HIGO医療薬学論文研究	24320	09005	調整中（後期）	調整中
HIGO薬剤疫学特論	24330	09010	調整中	調整中
HIGO医療経営学特論	24340	09015	後期（開講なし）	
HIGO医療薬科学特論	24350	09020	4月16日（金）	遠隔
HIGO医薬品治験開発特論	24360	09025	前期（開講なし）	
HIGO専門薬剤師特論	24370	09030	調整中	調整中
HIGOトランスレーショナル基礎講座	24380	09035	調整中（通年）	調整中

※「HIGO臨床薬学特論」、「HIGO薬剤疫学特論」、「HIGO専門薬剤師特論」の履修希望者は石塚洋一教授へ連絡すること。

※「HIGOトランスレーショナル基礎講座」の履修希望者は薬学教務または本山教授へ連絡すること。

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YML5-301-78-1	2021後期	医学教育部(24180)	1	1	月曜1限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO有機化学特論【HIGO Advanced Organic Chemistry】(有機化学の最前線)			中島 誠, 小谷 俊介		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・85% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・10% 3.グローバルな視野と行動力・・・5%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	遠隔または対面講義とアクティブ・ラーニング。講義・テキストとも日本語と英語を併用する。				
授業の目的	金属触媒反応と有機分子触媒反応に基づいた不斉触媒反応の実践的応用例について理解し、それを他の人に説明できるようになる。				
学修目標	【A水準】 金属触媒反応と有機分子触媒反応に基づいた不斉触媒反応の実践的応用例について理解し、それを他の人に説明できるようになる。 【C水準】 金属触媒反応と有機分子触媒反応に基づいた不斉触媒反応の実践的応用例について、おおよそ理解できるようになる。				
授業の概要	金属触媒反応および有機分子触媒反応の進歩と、それらの不斉触媒反応への展開について講義する。さらに、学生が自らの文献検索により各種触媒反応について最新の情報を入手して、与えられた課題に対し自主的学習を行い、それを各自で口頭発表する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		有機化学における専門用語の確認	専門用語の理解度チェック（担当：中島）		
2		典型金属と遷移金属	金属を利用した化学反応の概要（担当：小谷）		
3		有機金属化合物	有機金属化合物を利用する反応（担当：小谷）		
4		金属触媒反応を鍵反応とした全合成研究I	生物活性天然物の合成例I（担当：小谷）		
5		金属触媒反応を鍵反応とした全合成研究II	生物活性天然物の合成例II（担当：小谷）		
6		有機分子触媒を用いた炭素炭素結合形成反応I	アルドール反応の歴史（担当：中島）		
7		有機分子触媒を用いた炭素炭素結合形成反応II	アルドール反応以外の有機分子触媒反応の歴史（担当：中島）		
8		課題学習・レポート作成I	与えられたテーマに関する学習（担当：中島）		
テキスト	必要時にプリントを配布する。				
参考文献					
履修条件	学部レベルの有機化学を履修していること。				
評価方法・基準	毎回の講義後提出のコメントシート（40%）、口頭発表（60%）にて判断する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YML5-302-78-1	2021後期	医学教育部(24190)	1	1	木曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO物性化学特論【HIGO Advanced Biophysical Chemistry】(構造生物学)			池水 信二, 森岡 弘志, 中村 照也, 小橋川 敬博		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・40% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・40% 3.グローバルな視野と行動力・・・20%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	担当教員による講義、蛋白質をはじめとする生体高分子の構造と機能（構造生物学）に関する最先端の研究成果を挙げている研究者による特別講義、受講者によるプレゼンテーションを予定。共通して授業毎に小レポートの提出を義務とする。主な講義資料はMoodleに掲載する。数回は英語による講義を予定。				
授業の目的	構造生物学は21世紀型創業に必須の学問分野であるが、多くの生命科学を学ぶ院生にとっては馴染みが薄い。従って、本授業では、生命現象の主な担い手である蛋白質の働く仕組みを蛋白質の立体構造をはじめとする物理的・化学的性質を物理や化学の言葉で理解することが大変重要である構造生物学を学び、21世紀型創業研究の基盤を理解することを目的とする。				
学修目標	【A水準】 1. 構造生物学の進展 2. 最先端量子ビーム利用による蛋白質立体構造研究 3. 様々な場面で働く蛋白質の立体構造・原子レベルでの機能発現機構 4. 蛋白質の立体構造に基づく薬物設計や蛋白質の高機能化について、高度な知見を基に説明できる。 【C水準】 1. 構造生物学の進展を説明できる。 2. 最先端量子ビーム利用による蛋白質立体構造研究を説明できる。 3. 様々な場面で働く蛋白質の立体構造・原子レベルでの機能発現機構の例を挙げて説明できる。 4. 蛋白質の立体構造に基づく薬物設計や蛋白質の高機能化の例を挙げて説明できる。				
授業の概要	21世紀型創業においては、生命現象の主な担い手である蛋白質の働く仕組みを蛋白質の立体構造をはじめとする物理的・化学的性質を物理や化学の言葉で理解すること（構造生物学の理解）が大変重要である。本授業では、 1. 構造生物学の歴史と進展 2. 最先端量子ビーム利用による蛋白質立体構造研究 3. 様々な場面で働く蛋白質の立体構造・原子レベルでの機能発現機構 4. 蛋白質の立体構造に基づく薬物設計や蛋白質の高機能化 以上について学び、21世紀型創業研究の基盤を理解する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		RNA Granules	RNA Granulesと疾患に関して学ぶ（英語の講義）。日時：7月13日（月）12:00～13:00、場所：発生研カンファレンスルーム、後期に本授業を受講予定者は出席して下さい。		
2		構造生物学の歴史と進展（1）	構造生物学の歴史と現状、とくに最近の進歩について学ぶ。最先端量子ビーム利用による蛋白質立体構造研究について理解する。		
3		構造生物学の歴史と進展（2）	構造生物学の過去、現在、未来について学ぶ（英語の講義）。		
4		蛋白質をはじめとする生体高分子の立体構造に基づく生命機能の解明（1）	構造生物学で最も成功した蛋白質の立体構造に基づく生命機能の解明の一例であるDNA複製の忠実度に関する立体構造的基盤について学ぶ。		
5		蛋白質をはじめとする生体高分子の立体構造に基づく生命機能の解明（2）	構造生物学で最も成功した蛋白質の立体構造に基づく生命機能の解明の一例であるDNA修復酵素による塩基の正常・異常の見分け方に関する立体構造的基盤について学ぶ。		
6		蛋白質をはじめとする生体高分子の立体構造に基づく薬物設計	蛋白質をはじめとする生体高分子の立体構造に基づく薬物設計の具体例、例えばインフルエンザ治療薬の設計について学ぶ。		
7		最先端研究論文の紹介（受講者によるプレゼンテーション）	最先端研究論文の紹介（少人数グループによる論文講読と代表者によるプレゼンテーション）		
8		構造生物学に関する最先端の研究成果を挙げている研究者による特別講義	構造生物学に関する最先端の研究成果を挙げている研究者による特別講義（英語による講義）		
テキスト	なし 講義資料はMoodle上に掲示する。				
参考文献	構造生物学、樋口芳樹、中川敦史著（共立出版） 構造生物学、田中勲、三木邦夫訳（化学同人） Textbook of Structural Biology, A.Liljas et al.,（World Scientific Publishing Co. Pte. Ltd.） 見てわかる構造生命科学、中村春木著（化学同人）				
履修条件					
評価方法・基準	授業毎の小レポート(50点)とプレゼンテーションもしくは課題に関するレポート(50点)で評価。				
使用言語	「日本語」による授業				
教科書・資料の言語	「日本語」のテキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				



HIGO 医薬品学特論【07015】

HIGO 薬物動態学特論【07020】

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YML5-304-78-1	2021後期	医学教育部(24220)	1	1	火曜1限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO生体機能学特論【HIGO Advanced Biomedical Physiology】()			三隅 将吾, 南 敬		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・25% 3.グローバルな視野と行動力・・・25% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・25%					
授業の形態	講義				
授業の方法	対面授業およびeラーニング				
授業の目的	生命現象を物質的観点でとらえるならば、生体は多種多様な有機・無機化合物の集合体として存在し、それらはバエランスのとれた需要供給システムを形成しているといえる。したがって生命現象を化学的側面から理解するとともに、分子レベルでそれらがいかに制御されているかを研究するかは生命の本質に迫るために必要不可欠な過程になっている。本特論では、病原微生物、特にウイルスという外来性因子を、生命を支える重要なメカニズムを明らかにするための道具としてとらえ、生化学反応の結果として成立している高次の生命現象を理解していくことを目的とする。				
学修目標	【A水準】 本特論では、病原微生物、特にウイルスという外来性因子を、生命を支える重要なメカニズムを明らかにするための道具としてとらえ、生化学反応の結果として成立している高次の生命現象を理解していくことを目標としており、受講者はほぼ100%達成できる。 【C水準】 本特論では、病原微生物、特にウイルスという外来性因子を、生命を支える重要なメカニズムを明らかにするための道具としてとらえ、生化学反応の結果として成立している高次の生命現象を理解していくことを目標としており、受講者は概ね達成できる。				
授業の概要	テーマに関する論文もしくは資料を事前に学習し、自らの経験や知識と照らし合わせ、内容をよく理解し、実際に講義を受け、議論をする。最終的に、テーマに関連した内容の課題をまとめ、提出するというサイクルを通して、以下の授業内容に関する理解を深める。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		1) 自己と非自己の識別メカニズム 2) レセプターへのリガンド結合メカニズム	1) 自己と非自己の識別メカニズム 2) レセプターへのリガンド結合メカニズム に関する論文を自ら学習し、ポイントになる部分を見出すことに務める。		
2		1) 自己と非自己の識別メカニズム 2) レセプターへのリガンド結合メカニズム	1) 自己と非自己の識別メカニズム 2) レセプターへのリガンド結合メカニズム に関して、スライドを通して概説し議論する。		
3		1) 自己と非自己の識別メカニズム 2) レセプターへのリガンド結合メカニズム	1) 自己と非自己の識別メカニズム 2) レセプターへのリガンド結合メカニズム に関する課題の内容に関してまとめ、Moodle中に提出する		
4		3) 逆転写反応と変異メカニズム 4) 遺伝子の組込みメカニズム	3) 逆転写反応と変異メカニズム 4) 遺伝子の組込みメカニズム に関する論文を自ら学習し、ポイントになる部分を見出すことに務める。		
5		3) 逆転写反応と変異メカニズム 4) 遺伝子の組込みメカニズム	3) 逆転写反応と変異メカニズム 4) 遺伝子の組込みメカニズム に関して、スライドを通して概説し議論する。		
6		3) 逆転写反応と変異メカニズム 4) 遺伝子の組込みメカニズム	3) 逆転写反応と変異メカニズム 4) 遺伝子の組込みメカニズム に関する課題の内容に関してまとめ、Moodle中に提出する		
7		5) 遺伝子の転写活性化のメカニズム 6) RNA合成とスプライシングのメカニズム 7) タンパク質生合成と翻訳後修飾のメカニズム	5) 遺伝子の転写活性化のメカニズム 6) RNA合成とスプライシングのメカニズム 7) タンパク質生合成と翻訳後修飾のメカニズム に関する論文を自ら学習し、ポイントになる部分を見出すことに務める。		
8		5) 遺伝子の転写活性化のメカニズム 6) RNA合成とスプライシングのメカニズム 7) タンパク質生合成と翻訳後修飾のメカニズム	5) 遺伝子の転写活性化のメカニズム 6) RNA合成とスプライシングのメカニズム 7) タンパク質生合成と翻訳後修飾のメカニズム に関して、スライドを通して概説し議論する。		
テキスト	必要に応じて資料を配布する				
参考文献	講義の中で適宜紹介する				
履修条件					
評価方法・基準	(1) Moodleにおける課題学習 (2) 授業中の態度 (1) および(2)により理解度・習得度を判断し、60%以上を合格とする。なお、評価の対象となる提出物は期限内に提出されたもののみを評価対象とする。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業(日本語と英語)				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト(日本語と英語)				
実務経験を活かした授業	非該当				

HIGO 臨床薬学特論【07030】

HIGO 薬物送達学特論【07035】

HIGO 先端医療学特論【07040】

## HIGO 創薬学特論【07045】

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YML5-309-78-1	2021前期	医学教育部(24270)	1	1	金曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO薬学生化学特論【HIGO Advanced Pharmaceutical Biochemistr(HIGO薬学生化学特論)			香月 博志、杉本 幸彦		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・40% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・30% 3.グローバルな視野と行動力・・・20% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・10%					
授業の形態	講義				
授業の方法	Moodleを介した動画の視聴と課題の提出。今年度は香月が授業全般を担当します。				
授業の目的	生体や細胞がさまざまな生理機能を発揮する分子機構、またその破綻としての病態の発症・進展、さらにはこういった観点からの創薬・治療への試みに関する最近の研究成果を通して、生化学・分子生物学的な実験手法や考え方を修得する。				
学修目標	【A水準】 1. 生体や細胞がさまざまな生理機能を発揮する分子機構について、複数の例を挙げて説明できる。 2. 生理機能の破綻としての病態の発症・進展について、複数の例を挙げて説明できる。 3. 上記1・2の内容について、創薬・治療への応用を具体的に考察できる。 4. 生化学・医療薬科学的な手法や論理構築を自らの研究に応用できる。 【C水準】 1. 生体や細胞の機能に関する基本的な分子機構を概説できる。 2. 生理機能の破綻としての病態の発症・進展について概説できる。 3. 上記1・2の内容について、創薬・治療との関係について考察できる。				
授業の概要	恒常性と代謝の調節、生体防御の制御、がんや中枢疾患、慢性炎症や感染症などに関する最近の研究成果を講義形式で紹介し、病態生化学・医療薬科学的な実験手法や考え方を学ぶ。また、各講義に因んだ発展的な課題に取り組む。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		医薬品開発総論 1	2000年代以降に発展した医薬品開発手法の概説		
2		医薬品開発総論 2	近年の医薬品開発の具体的事例		
3		創薬標的の各論 1	Gタンパク質共役型受容体のアロステリック調節		
4		創薬標的の各論 2	Gタンパク質共役型受容体のbiased signaling		
5		創薬標的の各論 3	エストロゲン受容体を標的とした創薬		
6		創薬標的の各論 4	そのほかの核内受容体（FXR, REV-Erb等）を標的とした創薬		
7		創薬標的の各論 5	トランスポーターを標的とした創薬		
8		創薬標的の各論 6	酵素を標的とした創薬		
テキスト		とくにありません。			
参考文献		適宜紹介します。			
履修条件					
評価方法・基準		本科目において扱う生理・病態・創薬・医療等に関連する事項についての理解度を、課題に対するレポートの内容（80%）に基づいて評価する。また、授業への取り組み姿勢（20%）についても評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			



HIGO 有機合成学特論【07055】

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YML5-311-78-1	2021前期	医学教育部(24290)	1	1	火曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO天然物化学特論【HIGO Advanced Natural Products Chemistry(HIGO天然物化学特論)】			塚本 佐知子, 人羅 勇気		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・80% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20%					
授業の形態	その他				
授業の方法	遠隔授業				
授業の目的	天然資源から医薬開発するための評価系や創薬研究に関する最先端の知識について理解する。				
学修目標	【A水準】 天然資源から医薬開発するための最先端の評価系や、分子標的創薬研究に関する最先端の知識について十分に説明することができる。 【C水準】 天然資源から医薬開発するための最先端の評価系や、分子標的創薬研究に関する最先端の知識についておおよそ理解し、幅広い知識を習得する。				
授業の概要	天然資源から医薬開発するための最先端の評価系について学ぶとともに、分子標的創薬研究に関する最先端の知識について学習する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		天然資源からの医薬開発(1)(遠隔、詳細はMoodle参照)	ユビキチン-プロテアソームシステムを標的とする創薬研究について学ぶ(1)(担当:塚本)[前期:遠隔]		
2		天然資源からの医薬開発(2)(遠隔、詳細はMoodle参照)	ユビキチン-プロテアソームシステムを標的とする創薬研究について学ぶ(2)(担当:塚本)[前期:遠隔]		
3		天然資源からの医薬開発(3)(遠隔、詳細はMoodle参照)	ユビキチン-プロテアソームシステムを標的とする創薬研究について学ぶ(3)(担当:塚本)[前期:遠隔]		
4		天然資源からの医薬開発(4)(遠隔、詳細はMoodle参照)	天然資源から医薬開発するための評価系について学ぶ(1)(担当:人羅)[前期:遠隔]		
5		天然資源からの医薬開発(5)(遠隔、詳細はMoodle参照)	天然資源から医薬開発するための評価系について学ぶ(2)(担当:人羅)[前期:遠隔]		
6		天然資源からの医薬開発(6)(遠隔、詳細はMoodle参照)	天然資源から医薬開発するための評価系について学ぶ(3)(担当:人羅)[前期:遠隔]		
7		天然資源からの医薬開発(7)(遠隔、詳細はMoodle参照)	細胞試験系を用いた生物活性物質の探索研究について学ぶ(1)(担当:人羅)[前期:遠隔]		
8		天然資源からの医薬開発(8)(遠隔、詳細はMoodle参照)	細胞試験系を用いた生物活性物質の探索研究について学ぶ(2)(担当:人羅)[前期:遠隔]		
テキスト	特に用いない。課題となる論文を提示する。				
参考文献	なし				
履修条件	薬学部レベルの知識を習得していること。				
評価方法・基準	課題の論文を読み、レポートを作成する。その内容を100%として評価する。				
使用言語	「英語」による授業				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト(英語の論文)				
実務経験を活かした授業	非該当				

HIGO 病態遺伝子解析学特論【07065】

※今年度 開講なし

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YML5-312-67-1	2021前期	医学教育部(24310)	1	1	木曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO臓器形成学特論【HIGO Advanced Developmental Genetics】(HIGO臓器形成学特論)			荒木 喜美		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・70% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・25% 3.グローバルな視野と行動力・・・5%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	生命科学において大きなインパクトを与えた重要な英語論文（原著・総説）を取り上げ、その研究の背景、研究手法、研究結果の意義とそれが及ぼす影響等、発表と討議を通して理解を深める。				
授業の目的	遺伝子操作動物を作製・利用するために必要な、個体発生や遺伝子制御に関わる基本的な知識を習得し、説明できるようになることを目指す。				
学修目標	【A水準】 遺伝子操作動物を作製・利用するために必要な、個体発生や遺伝子制御に関わる基本的な知識を習得し、自分の言葉で説明できるようになることを目指す。 【C水準】 遺伝子操作動物を作製・利用するために必要な、個体発生や遺伝子制御に関わる基本的な知識を習得することを目指す。				
授業の概要	生命科学において大きなインパクトを与えた重要な英語論文（原著・総説）を取り上げ、その研究の背景、研究手法、研究結果の意義とそれが及ぼす影響等、発表と討議を通して理解を深める。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		多能性幹細胞と個体発生	多能性幹細胞と個体発生に関する論文読解とレポート作成		
2		多能性幹細胞と個体発生	多能性幹細胞と個体発生に関する発表と質疑・応答		
3		エピジェネティクス、インプリンティング	エピジェネティクス、インプリンティングに関する論文読解とレポート作成		
4		エピジェネティクス、インプリンティング	エピジェネティクス、インプリンティングに関する発表と質疑・応答		
5		遺伝子操作動物、疾患モデル動物	遺伝子操作動物、疾患モデル動物に関する論文読解とレポート作成		
6		遺伝子操作動物、疾患モデル動物	遺伝子操作動物、疾患モデル動物に関する発表と質疑・応答		
7		遺伝子発現調節とゲノム機能	遺伝子発現調節とゲノム機能に関する論文読解とレポート作成		
8		遺伝子発現調節とゲノム機能	遺伝子発現調節とゲノム機能に関する発表と質疑・応答		
テキスト	必要に応じ、資料を配布する				
参考文献	なし				
履修条件					
評価方法・基準	2/3以上の出席が評価の前提条件。課題レポート・課題発表（60％）及び討議への参加状況(40％）から評価します。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YDH7-202-78-0	2021後期	薬学教育部(09005)	1, 2	1	月曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO医療薬学論文研究(科学英語論文の書き方および科学英語プレゼンテーションの習得)			首藤 剛, Mary Ann Suico		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……25% 3.グローバルな視野と行動力 ……40% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	演習				
授業の方法	授業は一部e-ラーニング教材で行うが、原則として、遠隔を織り交ぜながら、対面授業を中心に行い、実践的な発表の場を設ける。				
授業の目的	本演習では、科学系の大学院生に必要な科学英語プレゼンテーション能力の向上および科学英語論文の書き方の理解を目的とし、科学英語スピーキング、効果的なスライド作製法、プレゼンテーション技術を身につけ実践できる。少人数教育により効率的に学習する。全員参加の体験型学習に臨む。				
学修目標	【A水準】 科学系の大学院生に必要な科学英語プレゼンテーション能力の向上を目的とし、科学英語スピーキング、効果的なスライド作製法、プレゼンテーション技術について理解し、実践できる。 【C水準】 科学系の大学院生に必要な科学英語プレゼンテーション能力の向上を目的とし、科学英語スピーキング、効果的なスライド作製法、プレゼンテーション技術について理解する。				
授業の概要	本演習では、下記のような項目を実施し、科学英語プレゼンテーション能力の向上のために必要な事項について学ぶ。 ・ 導入講義 ・ 基本用語・専門用語と発音（TOEFL, TOEIC, ラボラトリー英会話を教材に） ・ 発表の論理的組み立て ・ 質疑応答 ・ 汎用フレーズ ・ 各論（化学系, 物理化学系, 生物系, 医療系, 生命系） ・ 発表実践練習・質疑応答				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		Introduction	講義（導入講義）（首藤）		
2		Pronunciation Practice on TOEFL-English	発音練習（TOEFL-Englishを題材に）（首藤, スイコ）		
3		Pronunciation Practice on TOEIC-English	発音練習（TOEIC-Englishを題材に）（首藤, スイコ）		
4		Lecture on Scientific English Presentation	講義（科学英語プレゼンテーション）（首藤, スイコ）		
5		Pronunciation Practice on Presentation-English	発音練習（実際のPresentation-Englishを題材に）（首藤, スイコ）		
6		Self Study on Scientific English Presentation-1	自主学習1回目（研究発表会準備）		
7		Feedback-1	フィードバック1回目（研究発表会準備）（首藤, スイコ）		
8		Self Study on Scientific English Presentation-2	自主学習2回目（研究発表会準備）		
テキスト	配布資料を準備する				
参考文献	国際学会のための科学英語絶対リスニング				
履修条件	本授業に関連する英語および自身の研究領域の基礎的な知識を有すること				
評価方法・基準	試験および実習態度（出席状況）をもとに総合的に判定する。（出席・態度点（60点）・発表・課題点（40点）により評価する。）				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YDH7-206-78-0	2021前期	医学教育部(24330)	1	1	月曜1限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO薬剤疫学特論【HIGO Pharmacoeidemiology】()			石塚 洋一, 入江 徹美, 近藤 悠希		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・30% 3.グローバルな視野と行動力・・・10% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・10%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	以下の内容を一部対面、またZOOMやMoodleを使用した遠隔授業とします：授業・グループ討論・発表と全体討論				
授業の目的	医薬品開発に関連する臨床研究を行う上で、また、医療現場において医薬品適正使用を実践する（臨床論文から得られた結果をどのように臨床に反映させるべきか判断する）上で、薬剤疫学に関する知識・技能は必要不可欠である。本演習では、臨床・疫学論文の研究論文を実例に用いて、研究デザイン・統計解析手法についての基礎的な知識・技能を学ぶ。				
学修目標	<p>【A水準】</p> <p>1. 薬剤疫学の研究論文で用いられた研究デザイン・統計解析手法について詳細に解説できる。</p> <p>2. 最新の薬剤疫学関連の研究論文を自ら検索し読解することができる。</p> <p>3. 2の研究論文について、研究デザイン・データ分析の観点から、わかりやすくプレゼンテーションできる。</p> <p>4. 3の内容について、臨床研究実施および医薬品適正使用の視点も踏まえて、討論できる。</p> <p>【C水準】</p> <p>1. 薬剤疫学の研究論文で用いられた研究デザイン・統計解析手法について概ね説明できる。</p> <p>2. 与えられた薬剤疫学論文を読解することができる。</p> <p>3. 2の研究論文について、概ねその内容をプレゼンテーションできる。</p> <p>4. 3の内容について、概ね質疑応答・討論できる。</p>				
授業の概要	<p>医薬品の開発における市販後の薬剤の評価に用いられる『薬剤疫学』研究の情報を活用することは重要である。本演習では、以下のような内容で、薬剤疫学に関する研究手法を理解し、臨床研究実施および医薬品適正使用に関する基本的な素養を身につける。</p> <p>1. 薬剤疫学の研究論文で用いられた研究デザイン・統計解析手法について解説・討論する。</p> <p>2. 興味深い最近の薬剤疫学関連の研究論文を探索する。</p> <p>3. 選択した研究論文の内容について、研究デザイン・データ分析の観点を重視したプレゼンテーションを行う。</p> <p>4. どのような研究手法が使用されているのか、得られた結果はどのような患者に適用できるのか、発表と討議を通して理解を深めていく。</p>				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		introduction	本講義の内容についてガイダンスを行う。		
2		薬剤疫学概論1	疫学の基本原理を理解するために、疫学の科学的方法の概要、研究を計画するときに出てくるさまざまな誤差、疫学研究に利用される研究デザインの概要（症例・対照研究（case-control study）、コホート研究（cohort study）、無作為化比較試験（randomized controlled）、システムティック・レビューについて復習する。		
3		薬剤疫学概論2	医療ビッグデータ解析や最近流行りのデータ分析・統計解析手法など、今後の研究のために可能な手段について学ぶ。		
4		薬剤疫学に関連する文献調査 1	薬剤疫学に関連する文献を調査する。		
5		薬剤疫学に関連する文献調査2	薬剤疫学に関連する文献を調査する。		
6		薬剤疫学に関連する文献調査3	薬剤疫学に関連する文献を調査する。		
7		薬剤疫学に関連する文献調査4	薬剤疫学に関連する文献を調査する。		
8		薬剤疫学関連論文1	選定した薬剤疫学に関する論文を、熟読する。		
テキスト	使用しない、授業中に資料を配付する				
参考文献	実例で学ぶ薬剤疫学の第一歩（監修：くすりの適正使用協議会、編集：藤田利治、出版：レーダー出版センター）、薬剤疫学（Brian L. Strom, 監訳：清水直容, 楠 正, 藤田利治, 野嶋豊, 出版：篠原出版）				
履修条件	特にないが、薬学部出身者は、医薬統計学などの関連する講義内容を復習しておくことが望ましい。				
評価方法・基準	授業への参加姿勢（20点）、課題レポートと課題発表（50点）及び討議への参加状況（30点）から評価します。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

HIGO 医療経営学特論【09015】

※今年度 開講なし

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YDH7-352-78-1	2021前期	医学教育部(24350)	1	1	金曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO医療薬科学特論【HIGO Advanced Medical and Pharmaceutical(HIGO薬学生化学特論)			香月 博志, 杉本 幸彦		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・40% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・30% 3.グローバルな視野と行動力・・・20% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・10%					
授業の形態	講義				
授業の方法	Moodleを介した動画の視聴と課題の提出。今年度は香月が授業全般を担当します。				
授業の目的	生体や細胞がさまざまな生理機能を発揮する分子機構、またその破綻としての病態の発症・進展、さらにはこういった観点からの創薬・治療への試みに関する最近の研究成果を通して、生化学・医療薬科学的な実験手法や考え方を修得する。				
学修目標	【A水準】 1. 生体や細胞がさまざまな生理機能を発揮する分子機構について、複数の例を挙げて説明できる。 2. 生理機能の破綻としての病態の発症・進展について、複数の例を挙げて説明できる。 3. 上記1・2の内容について、創薬・治療への応用を具体的に考察できる。 4. 生化学・医療薬科学的な手法や論理構築を自らの研究に応用できる。 【C水準】 1. 生体や細胞の機能に関する基本的な分子機構を概説できる。 2. 生理機能の破綻としての病態の発症・進展について概説できる。 3. 上記1・2の内容について、創薬・治療との関係について考察できる。				
授業の概要	恒常性と代謝の調節、生体防御の制御、がんや中枢疾患、慢性炎症や感染症などに関する最近の研究成果を講義形式で紹介し、病態生化学・医療薬科学的な実験手法や考え方を学ぶ。また、各講義に因んだ発展的な課題に取り組む。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		医薬品開発総論 1	2000年代以降に発展した医薬品開発手法の概説		
2		医薬品開発総論 2	近年の医薬品開発の具体的事例		
3		医薬品開発各論 1	核酸関連医薬品（アプタマー等）		
4		医薬品開発各論 2	microRNAを標的とする医薬品開発		
5		医薬品開発各論 3	抗がん薬開発の現状と課題		
6		医薬品開発各論 4	近年の抗がん薬開発の具体的事例		
7		医薬品開発各論 5	抗体医薬品開発の現状と今後の展開		
8		医薬品開発各論 6	共有結合型医薬品の歴史、現状と将来		
テキスト		とくにありません。			
参考文献		適宜紹介します。			
履修条件					
評価方法・基準		本科目において扱う生理・病態・創薬・医療等に関連する事項についての理解度を、課題に対するレポートの内容（80%）に基づいて評価する。また、授業への取り組み姿勢（20%）についても評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			



HIGO 医薬品治験開発特論【09025】

※今年度 開講なし

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YDH7-215-78-0	2021集中	医学教育部(24370)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO専門薬剤師特論【HIGO Special lectures by clinical profes(専門薬剤師特論)			石塚 洋一, 入江 徹美, 近藤 悠希		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・45% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・25% 3.グローバルな視野と行動力・・・10% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・20%					
授業の形態		講義・演習			
授業の方法		講義の聴講ならびに演習			
授業の目的		専門薬剤師（がん専門薬剤師、HIV感染症薬剤師、感染制御専門薬剤師など）の資格取得を支援するために必要な知識・技能、態度を修得することを目的とした講義形式の授業である。具体的には、医療現場の最先端の臨床知識や技能の修得だけでなく、優れた医療人として患者の命に真摯に向き合う姿勢を醸成することを目的とする。			
学修目標		<p>【A水準】 専門薬剤師として必要な基本的な素養を身につけ、以下のような研究・薬剤師業務を主体的に実践できるようになる。</p> <p>1) 各領域の薬物療法の基本を理解する。 2) 論文を含む臨床情報から、薬物療法に関する問題点・ニーズを抽出する。 3) 問題点に対する対策（研究計画・処方提案）を自ら立案する。 4) それらを他の研究者・医療従事者に提案する。</p> <p>【C水準】 専門薬剤師として必要な基本的な素養を概ね身につけ、以下のような研究・薬剤師業務を主体的に実践できるようになる。</p> <p>1) 各領域の薬物療法の基本を理解する。 2) 論文を含む臨床情報から、薬物療法に関する問題点・ニーズを抽出する。 3) 問題点に対する対策（研究計画・処方提案）を自ら立案する。 4) それらを他の研究者・医療従事者に提案する。</p>			
授業の概要		熊本大学薬学部臨床教授（医師、薬剤師等）、実務教員、各種専門・認定薬剤師の資格保持者等の講義を受講し、専門薬剤師（がん専門薬剤師、HIV感染症薬剤師、感染制御専門薬剤師など）に必要な素養・能力について討議し、レポートを作成する。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		オリエンテーション	本授業科目の目的を理解する。		
テキスト		特に、指定しない。必要に応じて、参考資料を提示する			
参考文献		「薬剤師のための医療薬科学研修会」テキストなど			
履修条件		薬剤師免許取得者			
評価方法・基準		【評価方法】 臨床教授による講義に対する参加態度およびその後の討論会での討論・発表・質疑応答態度、および最終レポート内容から総合的に評価する。【評価基準】 本特論を通して、各学生が専門薬剤師へ向けた具体的ロードマップが描けたかに着目して評価を行う。			
使用言語		「日本語」による授業			
教科書・資料の言語		「日本語」のテキスト			
実務経験を活かした授業		該当 (各講演者の臨床経験・実務経験を基にし、実臨床で生じた問題点・症例から学ぶ。)			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YDH7-356-78-1	2021通年	医学教育部(24380)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGOトランスレーショナル基礎講座【HIGO Translational Basic S(トランスレーショナルリサーチ)			本山 敬一, 石原 園子		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……15% 3.グローバルな視野と行動力 ……15% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……20%					
授業の形態	その他				
授業の方法	全てMoodleを使用した遠隔授業とします。				
授業の目的	医薬品開発におけるトランスレーショナルリサーチについて理解するとともに、医薬品医療機器総合機構（PMDA）の組織および業務について学習する。				
学修目標	【A水準】 本講座では、PMDA職員、AMED職員、大学教員等を講師に迎え、医薬品開発候補となるシーズを調査して、前臨床試験や臨床試験のデザイン、特許申請・権利化・維持、ベンチャー企業支援、共同研究・委託研究の構築、前臨床試験のデザインと企業との連携、臨床試験のデザインと医療機関との連携のために必要な知識を学ぶ。 【C水準】 医薬品開発候補となるシーズを調査して、前臨床試験や臨床試験のデザイン、特許申請・権利化・維持、前臨床試験のデザインと企業との連携、臨床試験のデザインと医療機関との連携のために必要な知識を学ぶ。				
授業の概要	本講座では、医薬品開発候補となるシーズを調査して、前臨床試験や臨床試験のデザイン、特許申請・権利化・維持、ベンチャー企業支援、共同研究・委託研究の構築、前臨床試験のデザインと企業との連携、臨床試験のデザインと医療機関との連携のために必要な知識を講義や演習形式で学習する。日本語での授業を基本とするが、留学生が履修登録している場合には、通訳をつける。集中講義形式およびe-learning形式での授業を実施する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		イントロダクション	トランスレーショナルリサーチの概要について		
テキスト		毎回配布するプリント			
参考文献		特に指定なし			
履修条件		なし			
評価方法・基準		授業態度（30%）および授業内容に関するレポート（70%）で評価する。			
使用言語		「英語」による授業(留学生が受講しない場合は「日本語」で行う。)			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			



## 4. 講義科目

(社会文化科学研究科開講科目)

## 時間割コード

授業科目	時間割コード		初回授業	教室
	医学教育部	薬学教育部		
HIG0社会文化科学総論	24390	07200	4月16日	発生研) 5F 502会議室

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RCM7-067-99-1	2021前期	医学教育部(24390)	1	2	金曜4限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO社会文化科学総論【HIGO Principles of Social and Cultural()			上野 真也, 蜂谷 紀之, 田辺 寿一郎, Andrew Mitchell		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・50% 3.グローバルな視野と行動力・・・10% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・20%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	授業は、各時間、スライド等を用いた基礎概念の説明と、その概念を用いた簡単な演習とをセットでおこなう。また最後に、質疑応答の時間を設け、理解を深められるように配慮する。				
授業の目的	この講義では、社会文化科学の基礎的かつ代表的な理論を学習するため、次の3つの分野の基礎を学び、専門性の高い学習へ繋げることを目的としている。技術マネジメント論として、熊本県の大きな課題である水俣病や水銀問題に関すること、異文化コミュニケーション論として生命倫理や原子力政策、防災政策などを事例に政治コミュニケーションに関すること、公共政策論では政治、社会制度、イデオロギーなどに関することなど、社会文化科学の基礎理論と実践的な技術について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 水俣病問題、生命倫理、政治的コミュニケーション、公共政策学に関連した社会文化科学の基礎的かつ代表的な理論について学習し、それを応用して自分なりの考えを伝えることができること。 【C水準】 講義のトピックスについて学び、自分の関心と絡めて意見を述べるができること。_____				
授業の概要	1. 技術マネジメント論では、水俣病問題や世界の水銀問題を事例として、環境マネジメントについて学ぶ。  2.異文化コミュニケーション論では、生命倫理の基礎、文化的背景を異にする存在同士の理解促進、日本の原子力政策や防災政策の課題を事例にした政治的コミュニケーションについて学ぶ。  3.公共政策論では、世界の主要国の政治体制、イデオロギーの違いなど政治・社会のありについて比較政治学の基礎知識を修得する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	04/16	4 限目 蜂谷 紀之（技術マネジメント1）	環境化学物質としての水銀、毛髪水銀の測定希望者の毛髪採取		
2	04/23	4 限目 蜂谷 紀之（技術マネジメント2）	水俣病とその対策__		
3	05/07	4 限目 蜂谷 紀之（技術マネジメント3）	世界の水銀汚染と日本の国際協力		
4	05/14	4 限目 蜂谷 紀之（技術マネジメント4）	水銀の健康リスクコミュニケーション		
5	05/21	2 限目 田辺 寿一郎（異文化コミュニケーション1－1）	生命倫理：グローバルな人権思想の発展について		
6	05/28	2 限目 田辺 寿一郎（異文化コミュニケーション1－2）	生命倫理：人間の安全保障論について		
7	06/04	2 限目 田辺 寿一郎（異文化コミュニケーション1－3）	生命倫理：多文化共生社会への挑戦		
8	06/11	4 限目 Andrew Mitchell（異文化コミュニケーション演習2－1）	原発政策にみる日本政治コミュニケーション1		
9	06/18	4 限目 Andrew Mitchell（異文化コミュニケーション演習2－2）	原発政策にみる日本政治コミュニケーション2		
10	06/25	4 限目 Andrew Mitchell（異文化コミュニケーション演習2－3）	原発政策にみる日本政治コミュニケーション3		
11	07/02	4 限目 Andrew Mitchell（異文化コミュニケーション演習2－4）	原発政策にみる日本政治コミュニケーション4		
12	07/09	4 限目 上野 真也	公共政策学入門1 ____		
13	07/16	4 限目 上野 真也	公共政策学入門2 ____		
14	07/30	4 限目 上野 真也	公共政策学入門3 ____		
15	08/06	4 限目 上野 真也	公共政策学入門4 ____		
テキスト	特に指定はしない。講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	講義で紹介する				
履修条件					
評価方法・基準	講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、「授業の目的」に掲げた事項についての理解度を確認して評価する。				
使用言語	「英語」による授業(英語による講義＋英語のテキスト)				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト(英語)				
実務経験を活かした授業	非該当				





## 5. 演習・実習・研究指導科目

## 時間割コード

## HIGOプログラム基礎コース

授業科目名	時間割コード		初回授業	教室
	医学教育部	薬学教育部		
HIGO行政セミナーⅠ	11070	07305	HIGOホームページへ掲載	確定次第連絡
HIGO企業セミナーⅠ	11080	07310	HIGOホームページへ掲載	確定次第連絡
HIGO中国語講座Ⅰ	11090	07315	開講なし	—
HIGO英語講座Ⅰ	11100	07320	開講なし	—
HIGO日本語講座Ⅰ	11110	07325	開講なし	—
HIGO特別実習Ⅰ	11120	07330	開講なし	—
HIGOリーダーシップトレーニング講座	24710	07355	8月26日	多言語文化総合教育棟
HIGO行政インターンシップⅠ	11130	07335	別途通知	—
HIGO企業インターンシップⅠ	11140	07340	別途通知	—
HIGO海外インターンシップⅠ	11150	07345	別途通知	—
HIGO最先端研究プロジェクトⅠ	11160	07350	—	—

## HIGOプログラム専門コース

授業科目	時間割コード		初回授業	教室
	医学教育部	薬学教育部		
HIGO行政セミナーⅡ	24430	08300	HIGOホームページへ掲載	確定次第連絡
HIGO企業セミナーⅡ	24440	08305	HIGOホームページへ掲載	確定次第連絡
HIGO中国語講座Ⅱ	24480	08310	後期（集中講義）	確定次第連絡
HIGO英語講座Ⅱ	24490	08315	前期（集中講義）	確定次第連絡
HIGO日本語講座Ⅱ	24500	08320	開講なし	—
HIGO行政インターンシップⅡ	24540	08325	別途通知	—
HIGO企業インターンシップⅡ	24550	08330	別途通知	—
HIGO海外インターンシップⅡ	24560	08335	別途通知	—
HIGO研究プレゼンテーション	24570	08340	—	—
HIGO公共政策演習Ⅰ	24580	08345	10月4日	黒髪地区
HIGO公共政策演習Ⅱ	24590	08350	10月7日	黒髪地区
HIGO技術マネジメント演習Ⅰ	24610	08360	9月28日	本荘地区
HIGO技術マネジメント演習Ⅱ	24620	08365	4月16日	発生研）8階 801会議室
HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅰ	24640	08375	4月20日	発生研）8階 801会議室
HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅱ	24650	08380	4月16日	黒髪地区
HIGO社会文化科学課題演習	24665	08388	—	—
HIGO最先端研究セミナーⅡ	24680	08390	HIGOホームページへ掲載	発生研）1階カンファレンス
HIGO最先端研究プロジェクトⅡ	24700	08395	—	—

## HIGOプログラム4年コース

授業科目	時間割コード		初回授業	教室
	医学教育部	薬学教育部		
HIGO特別実習	24400	09305	開講なし	—
HIGO行政セミナー	24410	09310	HIGOホームページへ掲載	確定次第連絡
HIGO企業セミナー	24420	09315	HIGOホームページへ掲載	確定次第連絡
HIGO中国語講座	24450	09320	開講なし	—
HIGO英語講座	24460	09325	開講なし	—
HIGO日本語講座	24470	09330	開講なし	—
HIGO行政インターンシップ	24510	09335	別途通知	—
HIGO企業インターンシップ	24520	09340	別途通知	—
HIGO海外インターンシップ	24530	09345	別途通知	—
HIGO研究プレゼンテーション	24570	08340	—	—
HIGO公共政策演習Ⅰ	24580	08345	10月4日	黒髪地区
HIGO公共政策演習Ⅱ	24590	08350	10月7日	黒髪地区
HIGO技術マネジメント演習Ⅰ	24610	08360	9月28日	本荘地区
HIGO技術マネジメント演習Ⅱ	24620	08365	4月16日	発生研）8階 801会議室
HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅰ	24640	08375	4月20日	発生研）8階 801会議室
HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅱ	24650	08380	4月16日	黒髪地区
HIGO社会文化科学課題演習	24665	08388	—	—
HIGOリーダーシップトレーニング講座	24710	09360	8月26日	多言語文化総合教育棟
HIGO最先端研究セミナー	24670	09350	HIGOホームページへ掲載	発生研）1階カンファレンス
HIGO最先端研究プロジェクト	24690	09355	—	—

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-128-99-2	2021通年	医学教育部(11070)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO行政セミナーI【HIGO Governmental Seminar Series I】()			入江 徹美		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・30% 3.グローバルな視野と行動力・・・20% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	質疑応答を重視したセミナー形式で、Power point, OHP等を活用する。セミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。日本人講師の場合、原則、日本語による講義・テキスト、外国人講師の場合、英語による講義・テキストで行う。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーが必要とされている。その資質を涵養するためには、医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の幅広い知識を修得する必要がある。HIGO行政セミナーIでは、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題について、その現状、解決すべき課題、将来の展望などに関するセミナーを聴講し、通常の大学院教育部の講義では取り扱うことのない最新の知識を修得するとともに、グローバルな視点から討議する。				
学修目標	【A水準】 医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得し、応用できる。 【C水準】 医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得する。				
授業の概要	<p>熊本県庁、熊本市役所、中央官庁などの行政機関から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、医療政策、福祉、環境、公衆衛生、健康危機管理、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理などに関連する様々な分野の内容を広く取り扱う。なお、英語による講演を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。</p> <p>セミナーは年間8回開催するため、通算で8回以上受講すること。</p> <p>(前年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉法人慈愛園</li><li>・EY新日本有限責任監査法人</li><li>・沖縄県立中部病院</li><li>・熊本県保健環境科学研究所</li><li>・熊本赤十字病院</li><li>・熊本国際空港株式会社</li><li>・京都府立大学 京都地域未来創造センター、熊本市国際交流振興事業団</li></ul> <p>なお、講演を担当いただく官公庁・団体が追加・変更された場合には、HIGOプログラムホームページに掲載しますので、随時、参照するようにして下さい。</p> <p><a href="https://higoprogram.jp/category/gyousei/">https://higoprogram.jp/category/gyousei/</a></p>				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGOプログラムホームページに掲載する	HIGOプログラムホームページに掲載する		
テキスト		特に指定はせず、セミナーのポイントをまとめたプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		特別な理由が無い限りセミナーに参加すること。特別な理由によりセミナーを欠席する場合、欠席理由書を提出すること。その場合、Moodleでの受講を認める。			
評価方法・基準		8回のセミナーに出席し、2回のレポート提出を義務づける。セミナー中の質疑応答や、セミナー終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-129-99-2	2021通年	医学教育部(11080)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO企業セミナーⅠ【HIGO Business Seminar SeriesⅠ】(企業セミナー)			森岡 弘志、丸山 徹		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……20% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	質疑応答を重視したセミナー形式で、Powerpoint等のプレゼンソフトを用いる。セミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。日本人講師の場合、原則、日本語による講義・テキスト、外国人講師の場合、英語による講義・テキストで行う。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーの育成が望まれている。HIGO企業セミナーⅠでは、企業からの視点を獲得し、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を涵養することを目的に、熊本県・熊本市の企業に加えて、国内の大手企業の経営者・研究者・開発者等を講師として招聘し、健康生命科学の社会への還元のあり方等について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 地元企業や国内大手企業の経営者・研究者・開発者等によるセミナーを聴講し、企業理念やコンプライアンス、経営、社会・地域貢献等についての知識を習得して応用できる。 【C水準】 地元企業や国内大手企業の経営者・研究者・開発者等によるセミナーを聴講し、企業理念やコンプライアンス、経営、社会・地域貢献等についての知識を習得する。				
授業の概要	次のような企業等から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、企業理念、企業コンプライアンス、社会・地域貢献、地域経済、人材育成、国際化、環境、循環社会、経営、広報などに関連する様々な分野の内容を広く取り扱う。なお、日本人が講師の場合、日本語による講演を基本とするが、その場合は英語通訳等の措置を行う。  セミナーは年間8回開催するため、通算して少なくとも15回受講すること。  (前年度実績) ・熊本県民テレビ ・インテグリカルチャー株式会社 ・鹿児島大学大学院/株式会社スディックスバイオテック ・アクティブ・コネクター株式会社 ・塩野義製薬株式会社 ・セールスフォース・ドットコム日本人 ・住友電工 ・KMバイオロジクス  なお、講演を担当いただく企業・団体が追加・変更された場合には、HIGOプログラムホームページに掲載しますので、随時、参照するようにして下さい。  <a href="https://higoprogram.jp/category/kigyoku/">https://higoprogram.jp/category/kigyoku/</a>				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGOプログラムホームページに掲載する	HIGOプログラムホームページに掲載する		
テキスト	特に指定はせず、セミナーのポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	特に指定しない。				
履修条件	特別な理由が無い限りセミナーに参加すること。特別な理由によりセミナーを欠席する場合、欠席理由書を提出すること。その場合、Moodleでの受講を認める。				
評価方法・基準	15回のセミナーに出席し、3回のレポート提出を義務づける。セミナー中の質疑応答や、セミナー終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

HIGO 中国語講座 I 【11090】

※今年度 開講なし

HIGO 英語講座 I 【11100】

※今年度 開講なし

HIGO 日本語講座 I 【11100】

※今年度 開講なし

HIGO 特別実習 I 【11120】

※今年度 開講なし



科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-139-99-2	2021通年	医学教育部(11130)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO行政インターンシップⅠ【HIGO Governmental InternshipⅠ】()			入江 徹美		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・35% 3.グローバルな視野と行動力・・・15% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	行政機関や産官学連携している大学、企業等でのオムニバスの体験型実習。臨地体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーが必要とされている。その資質を涵養するためには、医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、臨地経験に基づく福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識の修得が必要である。HIGO行政インターンシップⅡでは、それらに関わる業務を臨地体験することにより、行政・企業セミナーで修得した知識を実際の現場で体験することで実践的能力を獲得すると共に、さらなる学習意欲の向上や職業観・使命感の育成を図る。				
学修目標	【A水準】 社会課題解決の現場を臨地体験することにより、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識を修得し、実践的な能力を獲得する。 【C水準】 社会課題解決の現場を臨地体験することにより、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識を修得する。				
授業の概要	行政機関や産官学連携している大学、企業等の協力の下に、健康生命科学や地方創生、外国人労働者など幅広い社会課題解決の現場を体験し学修する。 なお、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。 実習を担当いただく官公庁・団体が追加・変更された場合、複数の企業が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メール等で連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		別途通知する。	別途通知する。_____		
テキスト		特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		指導教員及びHIGO運営委員会での承認が必要			
評価方法・基準		臨地体験、発表・討論の積極的な態度およびe-Portfolioの記載内容に基づき、当該インターンシップによる実践的能力の修得度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-140-99-2	2021通年	医学教育部(11140)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO企業インターンシップⅠ【HIGO Business InternshipⅠ】(企業インターンシップⅠ)			森岡 弘志、丸山 徹		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20% 3.グローバルな視野と行動力・・・20% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・10%					
授業の形態	その他				
授業の方法	企業での体験型実習。臨地体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。				
授業の目的	HIGOプログラムは、地域・アジアのニーズを理解し、地域や世界と協働して、地域課題解決に挑戦できるグローバルな健康生命科学バイオニアの育成を目的としている。本科目では、行政・企業セミナーで、専門講義で習得した知識を、地域企業ならびに国内大手製薬企業の現場での体験を通して、企業理念・企業コンプライアンス・経営・企画・運営・経理・社会貢献・地域貢献・ニーズに関する生きた情報に触れることにより、グローバルな視点での実践的能力の向上を図るとともに、色々な環境の変化に適応する術について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 インターンシップ先の企業等においてグローバルな視点での実践的能力および色々な環境の変化に適応する術を身につけ、応用できる。  【C水準】 インターンシップ先の企業等においてグローバルな視点での実践的能力および色々な環境の変化に適応する術を身につける。				
授業の概要	本科目では以下の候補企業の中から1つを選び、30時間（5日間）の企業での体験型実習を行う。また、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。  ○熊本県内企業および団体 株式会社同仁化学研究所 KMバイオロジクス株式会社  ○国内関連企業 株式会社新日本科学  なお、実習を担当いただく企業・団体が追加・変更された場合、複数の企業が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メールで連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		別途通知する。	別途通知する。_____		
テキスト		特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		指導教員およびHIGO運営委員会での承認が必要			
評価方法・基準		e-ポートフォリオへのレポート提出を義務づける。体験実習の現場での質疑応答や発表・討論の積極的な態度、体験実習終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-141-99-1	2021通年	医学教育部(11150)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO海外インターンシップI【HIGO Overseas Internship I】()			小椋 光		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・10% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・40% 3.グローバルな視野と行動力・・・30% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・20%					
授業の形態	その他				
授業の方法	オンライン研修型の海外体験実習。各国の大学、行政機関、企業等をオンラインで訪問し、バーチャルで海外体験する。体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。				
授業の目的	「健康生命科学パイオニア」として、地域や世界と協働しながら健康社会をリードしてゆくため、医学・薬学・生命科学等を基盤とする健康生命科学の広く深い専門的知識のみならず、九州という地域性と世界観を連結させながら、国際・地域社会（グローバル社会）における課題とニーズを俯瞰的に捉える素養を涵養する必要がある。本科目では、国際的な大学、行政機関、企業等における国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力の向上を図ると共に、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力を身に付け、実践できる。 【C水準】 国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力を身に付ける。				
授業の概要	本科目では、主にインドやバングラデシュなどの南アジア、ミャンマーやタイ、フィリピン、ベトナム、中国などの東南アジアにて実施されるレクチャーの受講、討論会への参加、施設見学、実務体験などを行い、合計して30時間（5日間）以上の体験型実習を行う。 なお、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。  実習を担当いただく企業・官公庁等が追加・変更された場合、複数の企業等が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メール等で連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		別途通知する。	別途通知する。_____		
テキスト		特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		指導教員およびHIGO運営委員会での承認が必要			
評価方法・基準		e-ポートフォリオへのレポート提出を義務づける。オンライン体験実習の現場での質疑応答や発表・討論の積極的な態度、体験実習終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YML6-328-99-1	2021通年	医学教育部(11160)	1	8	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO最先端研究プロジェクトI【HIGO Cutting-Edge Research Proj(最先端研究プロジェクト)			小椋 光、森岡 弘志		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……20% 3.グローバルな視野と行動力 ……15% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……15%					
授業の形態	その他				
授業の方法	文献調査・実験計画立案・実験遂行・課題発表と討議を2年間繰り返し行います。				
授業の目的	健康生命科学の視点を軸として、医学および薬学に関する実験に取り組む。実験の結果得られた知見については適宜討論を行い、さらなる実験の立案・実施を進めるとともに、学会や学術誌への発表を行うことを目指す。				
学修目標	【A水準】 グローバルな健康生命科学パイオニア養成の理念に従い、健康生命科学、医科学、創薬科学、生命科学領域における最先端の研究に自律的に取り組むことにより、専門分野および関連分野に関する優れた先端研究活動を行うのに必要な研究能力を身につけることを目標とする。 【C水準】 グローバルな健康生命科学パイオニア養成の理念に従い、健康生命科学、医科学、創薬科学、生命科学領域における最先端の研究に取り組むことにより、専門分野および関連分野に関する先端研究活動を行うのに必要な研究能力を身につけることを目標とする。				
授業の概要	国内外の最新の研究動向を踏まえながら、健康生命科学・医学・薬学分野における研究の文献調査・実験計画立案・実験遂行・課題討議を通じたプロジェクトベースト・ラーニング型実習を行う。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		健康生命科学に関する基礎的研究 1	国内の研究動向を把握して、研究テーマを提案する。		
テキスト		適宜、指導教員が指定する。			
参考文献		関連分野における最新の和文・英文の原著論文・総説			
履修条件		関連領域の知識や実験の基礎技能を必要とします。			
評価方法・基準		文献調査と実験計画立案（30%）、実験遂行（50%）、課題討議（20%）に関する能力を総合的に判断して評価する。学会発表・論文発表の実績が上がった場合には、適宜、評価に加える。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-128-99-2	2021通年	医学教育部(24430)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO行政セミナーⅡ【HIGO Governmental Seminar Series Ⅱ】()			入江 徹美		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・30% 3.グローバルな視野と行動力・・・20% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	質疑応答を重視したセミナー形式で、Power point, OHP等を活用する。セミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。日本人講師の場合、原則、日本語による講義・テキスト、外国人講師の場合、英語による講義・テキストで行う。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーが必要とされている。その資質を涵養するためには、医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の幅広い知識を修得する必要がある。HIGO行政セミナーⅡでは、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題について、その現状、解決すべき課題、将来の展望などに関するセミナーを聴講し、通常の大学院教育部の講義では取り扱うことのない最新の知識を修得するとともに、グローバルな視座から討議する。				
学修目標	【A水準】 医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得し、応用できる。 【C水準】 医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得する。				
授業の概要	<p>熊本県庁、熊本市役所、中央官庁などの行政機関から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、医療政策、福祉、環境、公衆衛生、健康危機管理、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理などに関連する様々な分野の内容を広く取り扱う。なお、英語による講演を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。</p> <p>セミナーは年間8回開催するため、通算で8回以上受講すること。</p> <p>(前年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉法人慈愛園</li><li>・EY新日本有限責任監査法人</li><li>・沖縄県立中部病院</li><li>・熊本県保健環境科学研究所</li><li>・熊本赤十字病院</li><li>・熊本国際空港株式会社</li><li>・京都府立大学 京都地域未来創造センター、熊本市国際交流振興事業団</li></ul> <p>なお、講演を担当いただく官公庁・団体が追加・変更された場合には、HIGOプログラムホームページに掲載しますので、随時、参照するようにして下さい。</p> <p><a href="https://higoprogram.jp/category/gyousei/">https://higoprogram.jp/category/gyousei/</a></p>				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGOプログラムホームページに掲載する	HIGOプログラムホームページに掲載する		
テキスト		特に指定はせず、セミナーのポイントをまとめたプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		特別な理由が無い限りセミナーに参加すること。特別な理由によりセミナーを欠席する場合、欠席理由書を提出すること。その場合、Moodleでの受講を認める。			
評価方法・基準		8回のセミナーに出席し、2回のレポート提出を義務づける。セミナー中の質疑応答や、セミナー終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-129-99-2	2021通年	医学教育部(24440)	1, 2, 3, 4	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO企業セミナーⅡ【HIGO Business Seminar Series Ⅱ】(企業セミナー)			森岡 弘志、丸山 徹		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……20% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	質疑応答を重視したセミナー形式で、Powerpoint等のプレゼンソフトを用いる。セミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。日本人講師の場合、原則、日本語による講義・テキスト、外国人講師の場合、英語による講義・テキストで行う。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーの育成が望まれている。HIGO企業セミナーⅡでは、企業からの視点を獲得し、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を涵養することを目的に、熊本県・熊本市の企業に加えて、国内の大手企業の経営者・研究者・開発者等を講師として招聘し、健康生命科学の社会への還元のあり方等について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 地元企業や国内大手企業の経営者・研究者・開発者等によるセミナーを聴講し、企業理念やコンプライアンス、経営、社会・地域貢献等についての知識を習得して応用できる。 【C水準】 地元企業や国内大手企業の経営者・研究者・開発者等によるセミナーを聴講し、企業理念やコンプライアンス、経営、社会・地域貢献等についての知識を習得する。				
授業の概要	次のような企業等から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、企業理念、企業コンプライアンス、社会・地域貢献、地域経済、人材育成、国際化、環境、循環社会、経営、広報などに関連する様々な分野の内容を広く取り扱う。なお、日本人が講師の場合、日本語による講演を基本とするが、その場合は英語通訳等の措置を行う。  セミナーは年間8回開催するため、通算して少なくとも15回受講すること。  (前年度実績) ・熊本県民テレビ ・インテグリティカルチャー株式会社 ・鹿児島大学大学院/株式会社スディックスバイオテック ・アクティブ・コネクター株式会社 ・塩野義製薬株式会社 ・セールスフォース・ドットコム日本人 ・住友電工 ・KMバイオロジクス  なお、講演を担当いただく企業・団体が追加・変更された場合には、HIGOプログラムホームページに掲載しますので、随時、参照するようにして下さい。  <a href="https://higoprogram.jp/category/kigyou/">https://higoprogram.jp/category/kigyou/</a>				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGOプログラムホームページに掲載する	HIGOプログラムホームページに掲載する		
テキスト	特に指定はせず、セミナーのポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	特に指定しない。				
履修条件	特別な理由が無い限りセミナーに参加すること。特別な理由によりセミナーを欠席する場合、欠席理由書を提出すること。その場合、Moodleでの受講を認める。				
評価方法・基準	15回のセミナーに出席し、3回のレポート提出を義務づける。セミナー中の質疑応答や、セミナー終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMM5-104-99-3	2021集中	医学教育部(24480)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO中国語講座II()			宋 文杰, 渡邊 朝美		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……10% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……50% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態		その他			
授業の方法		集中講義（2コマ×6回）形式で実施する。			
授業の目的		アジアで健康社会をリードする「健康生命科学パイオニア」は英語と共にアジアの言語にも精通することが求められる。中でも、中国語は中国・台湾のみならず東南アジア諸国でも広く通用することから、中国語を修得する意義は大きい。HIGO中国語講座では、中国語の基礎を習得し最低限の会話ができる能力を身につけることを目標とする。			
学修目標		【A水準】 初級レベルの中国語を習得し、自分で継続的に学習できるようになるための能力を獲得する。授業を通して、簡単な中国語の読み書き、会話ができる能力を身につける。 【C水準】 中国語の基礎を習得し、自分で継続的に学習できるようになるための能力を獲得する。授業を通して、簡単な中国語の読み書き、自己紹介ができる能力を身につける。			
授業の概要		[注意]本講座は日本語で開講する。 HIGO中国語講座IIは、 HIGO中国語講座Iを修了した学生を対象に、医・薬・行政の基礎単語も紹介しながら、初級レベルの中国語の習得を目指す。 毎回の授業終了時に課題を与えるので、決められた期日までに提出すること。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGO中国語講座 II	1日目：中国語の発音、挨拶、自己紹介などの基礎の復習 2日目：時間の表現 3日目：過去、経験の表現 4日目：様々なシーンでの会話 5日目：様々なシーンでの会話 6日目：様々なシーンでの会話		
テキスト		『理系のための中国語入門』（好文出版）、その他教員が適宜準備する。			
参考文献		講義中に適宜紹介する。			
履修条件					
評価方法・基準		講義中の質疑応答や、講義終了後の試験、課題提出状況などにより、授業の目的に掲げた事項についての理解度を評価する。			
使用言語		「英語以外の外国語と日本語によるミックス」授業(日本語・中国語)			
教科書・資料の言語		「英語以外の外国語と日本語を併用した」テキスト(日本語・中国語・英語)			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMM5-105-99-1	2021集中	医学教育部(24490)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO英語講座II()			宋 文杰, Andrew Neil Mitchell		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……70% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……5% 3.グローバルな視野と行動力 ……15% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	実習				
授業の方法	英語での研究論文の書き方、プレゼンテーションの仕方について講義やディスカッションを行う。				
授業の目的	「健康生命科学パイオニア」として、グローバル地域や世界と協働しながら健康社会をリードしてゆくためには英語能力が求められる。英語での研究論文の書き方、プレゼンテーションの仕方を習得することを目指す。				
学修目標	【A水準】 自身の研究について、論文を書くことや、プレゼンテーションを行うことが、高い精度でできるようになること。 【C水準】 自身の研究について、論文を書くことや、プレゼンテーションを行うことが、ある程度の精度でできるようになること。				
授業の概要	・ HIGO英語講座Iでは、英語での研究論文の書き方、プレゼンテーションの仕方についての基本的事項について講義を行う。 ・ HIGO英語講座IIでは、 HIGO英語講座Iでの内容を踏まえて、参加者が作成した自分の研究内容を説明した英文あるいはプレゼンテーションを基に、講師と参加者が議論する形で、英語での研究論文の書き方、プレゼンテーションの仕方について、実践的な演習を行う。 ・ HIGO英語講座（4年コース）は、各自の習熟度に合わせて、HIGO英語講座Ⅰ,Ⅱのいずれか一方を受講することで代替する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGO英語講座II	英語講座I 1.英語での研究論文の書き方（基礎） 2.英語でのプレゼンテーションの仕方(基礎) 英語講座II 1.英語での研究論文の書き方（応用編）と参加者の文章を元にした演習 2.英語でのプレゼンテーションの仕方（応用編）、参加者のプレゼンによる演習		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献					
履修条件					
評価方法・基準	講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。				
使用言語	「英語」による授業				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				



HIGO 日本語講座Ⅱ【24500】

※今年度 開講なし

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-139-99-2	2021通年	医学教育部(24540)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO行政インターンシップII()			入江 徹美		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……35% 3.グローバルな視野と行動力 ……15% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	行政機関や産官学連携している大学、企業等でのオムニバスの体験型実習。臨地体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーが必要とされている。その資質を涵養するためには、医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、臨地経験に基づく福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識の修得が必要である。HIGO行政インターンシップIIでは、それらに関わる業務を臨地体験することにより、行政・企業セミナーで修得した知識を実際の現場で体験することで実践的能力を獲得すると共に、さらなる学習意欲の向上や職業観・使命感の育成を図る。				
学修目標	【A水準】 社会課題解決の現場を臨地体験することにより、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識を修得し、実践的な能力を獲得する。 【C水準】 社会課題解決の現場を臨地体験することにより、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識を修得する。				
授業の概要	行政機関や産官学連携している大学、企業等の協力の下に、健康生命科学や地方創生、外国人労働者など幅広い社会課題解決の現場を体験し学修する。 なお、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。 実習を担当いただく官公庁・団体が追加・変更された場合、複数の企業が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メール等で連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		別途通知する。	別途通知する。_____		
テキスト		特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		指導教員及びHIGO運営委員会での承認が必要			
評価方法・基準		臨地体験、発表・討論の積極的な態度およびe-Portfolioの記載内容に基づき、当該インターンシップによる実践的能力の修得度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-140-99-2	2021通年	医学教育部(24550)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO企業インターンシップII(企業インターンシップ)			森岡 弘志、丸山 徹		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20% 3.グローバルな視野と行動力・・・20% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・10%					
授業の形態	その他				
授業の方法	企業での体験型実習。臨地体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。				
授業の目的	HIGOプログラムは、地域・アジアのニーズを理解し、地域や世界と協働して、地域課題解決に挑戦できるグローバルな健康生命科学バイオニアの育成を目的としている。本科目では、行政・企業セミナーで、専門講義で習得した知識を、地域企業ならびに国内大手製薬企業の現場での体験を通して、企業理念・企業コンプライアンス・経営・企画・運営・経理・社会貢献・地域貢献・ニーズに関する生きた情報に触れることにより、グローバルな視点での実践的能力の向上を図るとともに、色々な環境の変化に適応する術について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 インターンシップ先の企業等においてグローバルな視点での実践的能力および色々な環境の変化に適応する術を身につけ、応用できる。  【C水準】 インターンシップ先の企業等においてグローバルな視点での実践的能力および色々な環境の変化に適応する術を身につける。				
授業の概要	本科目では以下の候補企業の中から1つを選び、30時間（5日間）の企業での体験型実習を行う。また、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。  ○熊本県内企業および団体 株式会社同仁化学研究所 KMバイオリジクス株式会社  ○国内関連企業 株式会社新日本科学  なお、実習を担当いただく企業・団体が追加・変更された場合、複数の企業が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メールで連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGOプログラムホームページに掲載する	HIGOプログラムホームページに掲載する		
テキスト	特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。				
参考文献	特に指定しない。				
履修条件	指導教員およびHIGO運営委員会での承認が必要				
評価方法・基準	e-ポートフォリオへのレポート提出を義務づける。体験実習の現場での質疑応答や発表・討論の積極的な態度、体験実習終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-141-99-1	2021通年	医学教育部(24560)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO海外インターンシップII()			小椋 光		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……10% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……40% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……20%					
授業の形態	その他				
授業の方法	オンライン研修型の海外体験実習。各国の大学、行政機関、企業等をオンラインで訪問し、バーチャルで海外体験する。体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。				
授業の目的	「健康生命科学パイオニア」として、地域や世界と協働しながら健康社会をリードしてゆくため、医学・薬学・生命科学等を基盤とする健康生命科学の広く深い専門的知識のみならず、九州という地域性と世界観を連結させながら、国際・地域社会（グローバル社会）における課題とニーズを俯瞰的に捉える素養を涵養する必要がある。本科目では、国際的な大学、行政機関、企業等における国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力の向上を図ると共に、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力を身に付け、実践できる。 【C水準】 国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力を身に付ける。				
授業の概要	本科目では、主にインドやバングラデシュなどの南アジア、ミャンマーやタイ、フィリピン、ベトナム、中国などの東南アジアにて実施されるレクチャーの受講、討論会への参加、施設見学、実務体験などを行い、合計して30時間（5日間）以上の体験型実習を行う。 なお、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。  実習を担当いただく企業・官公庁等が追加・変更された場合、複数の企業等が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メール等で連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		別途通知する。	別途通知する。_____		
テキスト	特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。				
参考文献	特に指定しない。				
履修条件	指導教員およびHIGO運営委員会での承認が必要				
評価方法・基準	e-ポートフォリオへのレポート提出を義務づける。オンライン体験実習の現場での質疑応答や発表・討論の積極的な態度、体験実習終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-154-99-1	2021通年	医学教育部(24680)	1, 2, 3, 4	6	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO最先端研究セミナーII(最先端研究セミナー)			西中村 隆一		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……25% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……5%					
授業の形態	講義				
授業の方法	教育コースが認定する学内外のセミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。1時間程度のセミナーをもって1回とみなす。				
授業の目的	健康生命医学は多様な学問が集結する学際性の高い研究領域であるだけでなく、21世紀の医療を担う新しい研究領域として急速に発展している。HIGO最先端研究セミナーは、健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、本教育コースの講義で習得した知識を深化させ、さらに講義では扱えない幅広い学問分野における最新の知識習得を図る。				
学修目標	【A水準】 健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、幅広い学問分野における最新の知識を習得して応用できる。 【C水準】 健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、幅広い学問分野における最新の知識を習得する。				
授業の概要	セミナーでは、講義で扱う学問分野に加えて、医学と薬学の枠を越えた健康生命科学に関連する学問分野を広く取り扱う。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		1～3年次（薬）もしくは1～4年次（医）にセミナーを聴講する。	基本的に毎週水曜の12:00から発生医学研究所1階カンファレンス室で開催するが、日時、場所の変更があり得るため、詳細はウェブサイトを参照のこと。		
テキスト		特に指定しない。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件					
評価方法・基準		教育コースが認定するセミナーを45回以上聴講し、少なくとも9回のレポート提出を義務づける。レポートに基づき、当該講演内容の理解度を評価する。			
使用言語		「英語」による授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YDL7-349-99-1	2021通年	医学教育部(24700)	1, 2, 3, 4	10	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO最先端研究プロジェクトII(最先端研究プロジェクト)			小椋 光, 森岡 弘志		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20% 3.グローバルな視野と行動力・・・15% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・15%					
授業の形態	その他				
授業の方法	文献調査・実験計画立案・実験遂行・課題発表と討議を4年間（但し、薬学教育部に所属する者にとっては3年間）繰り返し行います。				
授業の目的	健康生命科学の視点を軸として、医学および薬学に関する専門的かつ高度な実験に取り組む。実験の結果得られた知見については適宜討論を行い、さらなる実験の立案・実施を進めるとともに、国内外の学会や国際学術誌への発表を行うことを目指す。				
学修目標	【A水準】 グローバルな健康生命科学バイオニア養成の理念に従い、健康生命科学、医学、創薬科学、生命科学領域における最先端の研究に自律的に取り組むことにより、専門分野および関連分野に関する優れた最先端研究活動を行うのに必要な高度な研究能力を身につけることを目標とする。 【C水準】 グローバルな健康生命科学バイオニア養成の理念に従い、健康生命科学、医学、創薬科学、生命科学領域における最先端の研究に取り組むことにより、専門分野および関連分野に関する最先端研究活動を行うのに必要な高度な研究能力を身につけることを目標とする。				
授業の概要	国内外の最新の研究動向を踏まえながら、健康生命科学・医学・薬学分野における研究の文献調査・実験計画立案・実験遂行・課題討議を通じたプロジェクトベースト・ラーニング型実習を行う。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		健康生命科学に関する発展的研究 1	国内の研究動向を把握して、研究テーマを提案する。		
	テキスト	適宜、指導教員が指定する。			
	参考文献	関連分野における最新の和文・英文の原著論文・総説			
	履修条件	関連領域の最先端の知識や実験の高度な技能を必要とします。			
	評価方法・基準	文献調査と実験計画立案（30%）、実験遂行（50%）、課題討議（20%）に関する能力を総合的に判断して評価する。国内外の学会発表や学術誌への論文発表の実績が上がった場合には、適宜、評価に加える。			
	使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業			
	教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト			
	実務経験を活かした授業	非該当			

HIGO 特別実習【24400】

※今年度 開講なし

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-128-99-2	2021通年	医学教育部(24410)	1	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO行政セミナー【HIGO Governmental Seminar Series】()			入江 徹美		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	質疑応答を重視したセミナー形式で、Power point, OHP等を活用する。セミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。日本人講師の場合、原則、日本語による講義・テキスト、外国人講師の場合、英語による講義・テキストで行う。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーが必要とされている。その資質を涵養するためには、医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の幅広い知識を修得する必要がある。HIGO行政セミナーでは、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題について、その現状、解決すべき課題、将来の展望などに関するセミナーを聴講し、通常の大学院教育部の講義では取り扱うことのない最新の知識を修得するとともに、グローバルな視座から討議する。				
学修目標	【A水準】 医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得し、応用できる。 【C水準】 医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得する。				
授業の概要	<p>熊本県庁、熊本市役所、中央官庁などの行政機関から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、医薬政策、福祉、環境、公衆衛生、健康危機管理、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理などに関連する様々な分野の内容を広く取り扱う。なお、英語による講演を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。</p> <p>セミナーは年間8回開催するため、通算で8回以上受講すること。</p> <p>(前年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉法人慈愛園</li><li>・EY新日本有限責任監査法人</li><li>・沖縄県立中部病院</li><li>・熊本県保健環境科学研究所</li><li>・熊本赤十字病院</li><li>・熊本国際空港株式会社</li><li>・京都府立大学 京都地域未来創造センター、熊本市国際交流振興事業団</li></ul> <p>なお、講演を担当いただく官公庁・団体が追加・変更された場合には、HIGOプログラムホームページに掲載しますので、随時、参照するようにして下さい。</p> <p><a href="https://higoprogram.jp/category/gyousei/">https://higoprogram.jp/category/gyousei/</a></p>				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGOプログラムホームページに掲載する	HIGOプログラムホームページに掲載する		
テキスト		特に指定はせず、セミナーのポイントをまとめたプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		特別な理由が無い限りセミナーに参加すること。特別な理由によりセミナーを欠席する場合、欠席理由書を提出すること。その場合、Moodleでの受講を認める。			
評価方法・基準		8回のセミナーに出席し、2回のレポート提出を義務づける。セミナー中の質疑応答や、セミナー終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			



科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-129-99-2	2021通年	医学教育部(24420)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO企業セミナー【HIGO Business Seminar Series】(企業セミナー)			森岡 弘志、丸山 徹		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20% 3.グローバルな視野と行動力・・・30% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	質疑応答を重視したセミナー形式で、Powerpoint等のプレゼンソフトを用いる。セミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。日本人講師の場合、原則、日本語による講義・テキスト、外国人講師の場合、英語による講義・テキストで行う。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーの育成が望まれている。HIGO企業セミナーでは、企業からの視点を獲得し、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を涵養することを目的に、熊本県・熊本市の企業に加えて、国内の大手企業の経営者・研究者・開発者等を講師として招聘し、健康生命科学の社会への還元のある方等について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 地元企業や国内大手企業の経営者・研究者・開発者等によるセミナーを聴講し、企業理念やコンプライアンス、経営、社会・地域貢献等についての知識を習得して応用できる。 【C水準】 地元企業や国内大手企業の経営者・研究者・開発者等によるセミナーを聴講し、企業理念やコンプライアンス、経営、社会・地域貢献等についての知識を習得する。				
授業の概要	<p>次のような企業等から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、企業理念、企業コンプライアンス、社会・地域貢献、地域経済、人材育成、国際化、環境、循環社会、経営、広報などに関連する様々な分野の内容を広く取り扱う。なお、日本人が講師の場合、日本語による講演を基本とするが、その場合は英語通訳等の措置を行う。</p> <p>セミナーは年間8回開催するため、通算して少なくとも8回受講すること。</p> <p>（前年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・熊本県民テレビ</li><li>・インテグリカルチャー株式会社</li><li>・鹿児島大学大学院/株式会社スディックスバイオテック</li><li>・アクティブ・コネクター株式会社</li><li>・塩野義製薬株式会社</li><li>・セールスフォース・ドットコム日本人</li><li>・住友電工</li><li>・KMバイオロジクス</li></ul> <p>なお、講演を担当いただく企業・団体が追加・変更された場合には、HIGOプログラムホームページに掲載しますので、随時、参照するようにして下さい。</p> <p><a href="https://higoprogram.jp/category/kigyoku/">https://higoprogram.jp/category/kigyoku/</a></p>				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		HIGOプログラムホームページに掲載する	HIGOプログラムホームページに掲載する		
テキスト	特に指定はせず、セミナーのポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	特に指定しない。				
履修条件	特別な理由が無い限りセミナーに参加すること。特別な理由によりセミナーを欠席する場合、欠席理由書を提出すること。その場合、Moodleでの受講を認める。				
評価方法・基準	8回のセミナーに出席し、2回のレポート提出を義務づける。セミナー中の質疑応答や、セミナー終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

HIGO 中国語講座【24450】

※今年度 開講なし

HIGO 英語講座【24460】

※今年度 開講なし

HIGO 日本語講座【24470】

※今年度 開講なし

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-139-99-2	2021通年	医学教育部(24510)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO行政インターンシップ【HIGO Governmental Internship】()			入江 徹美		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……35% 3.グローバルな視野と行動力 ……15% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……30%					
授業の形態	その他				
授業の方法	行政機関や産官学連携している大学、企業等でのオムニバスの体験型実習。臨地体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。				
授業の目的	健康生命科学分野において、本質を俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって、地域や日本・国際社会（グローバル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーが必要とされている。その資質を涵養するためには、医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、臨地経験に基づく福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識の修得が必要である。HIGO行政インターンシップIIでは、それらに関わる業務を臨地体験することにより、行政・企業セミナーで修得した知識を実際の現場で体験することで実践的能力を獲得すると共に、さらなる学習意欲の向上や職業観・使命感の育成を図る。				
学修目標	【A水準】 社会課題解決の現場を臨地経験することにより、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識を修得し、実践的な能力を獲得する。 【C水準】 社会課題解決の現場を臨地経験することにより、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識を修得する。				
授業の概要	行政機関や産官学連携している大学、企業等の協力の下に、健康生命科学や地方創生、外国人労働者など幅広い社会課題解決の現場を体験し学修する。 なお、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。 実習を担当いただく官公庁・団体が追加・変更された場合、複数の企業が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メール等で連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		別途通知する。	別途通知する。_____		
テキスト		特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		指導教員及びHIGO運営委員会での承認が必要			
評価方法・基準		臨地体験、発表・討論の積極的な態度およびe-Portfolioの記載内容に基づき、当該インターンシップによる実践的能力の修得度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-140-99-2	2021通年	医学教育部(24520)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO企業インターンシップ【HIGO Business Internship】(企業インターンシップ)			森岡 弘志、丸山 徹		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20% 3.グローバルな視野と行動力・・・20% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・10%					
授業の形態		その他			
授業の方法		企業での体験型実習。臨地体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。			
授業の目的		HIGOプログラムは、地域・アジアのニーズを理解し、地域や世界と協働して、地域課題解決に挑戦できるグローバルな健康生命科学バイオニアの育成を目的としている。本科目では、行政・企業セミナーで、専門講義で習得した知識を、地域企業ならびに国内大手製薬企業の現場での体験を通して、企業理念・企業コンプライアンス・経営・企画・運営・経理・社会貢献・地域貢献・ニーズに関する生きた情報に触れることにより、グローバルな視点での実践的能力の向上を図るとともに、色々な環境の変化に適応する術について学ぶ。			
学修目標		【A水準】 インターンシップ先の企業等においてグローバルな視点での実践的能力および色々な環境の変化に適応する術を身につけ、応用できる。  【C水準】 インターンシップ先の企業等においてグローバルな視点での実践的能力および色々な環境の変化に適応する術を身につける。			
授業の概要		本科目では以下の候補企業の中から1つを選び、30時間（5日間）の企業での体験型実習を行う。また、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。  ○熊本県内企業および団体 株式会社同仁化学研究所 KMバイオロジクス株式会社  ○国内関連企業 株式会社新日本科学  なお、実習を担当いただく企業・団体が追加・変更された場合、複数の企業が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メールで連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		別途通知する。	別途通知する。_____		
テキスト		特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件		指導教員およびHIGO運営委員会での承認が必要			
評価方法・基準		e-ポートフォリオへのレポート提出を義務づける。体験実習の現場での質疑応答や発表・討論の積極的な態度、体験実習終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。			
使用言語		「日本語と英語によるミックス」授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-141-99-1	2021通年	医学教育部(24530)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO海外インターンシップ【HIGO Overseas Internship】()			小椋 光		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……10% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……40% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……20%					
授業の形態	その他				
授業の方法	オンライン研修型の海外体験実習。各国の大学、行政機関、企業等をオンラインで訪問し、バーチャルで海外体験する。体験終了後、発表・討論を行い、学習内容の理解を深める。				
授業の目的	「健康生命科学パイオニア」として、地域や世界と協働しながら健康社会をリードしてゆくため、医学・薬学・生命科学等を基盤とする健康生命科学の広く深い専門的知識のみならず、九州という地域性と世界観を連結させながら、国際・地域社会（グローバル社会）における課題とニーズを俯瞰的に捉える素養を涵養する必要がある。本科目では、国際的な大学、行政機関、企業等における国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力の向上を図ると共に、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力について学ぶ。				
学修目標	【A水準】 国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力を身に付け、実践できる。 【C水準】 国際的な早期就業体験や訓練を通じて、グローバル社会における課題設定・解決能力、国際競争力のあるコミュニケーション能力やネゴシエーション能力を身に付ける。				
授業の概要	本科目では、主にインドやバングラデシュなどの南アジア、ミャンマーやタイ、フィリピン、ベトナム、中国などの東南アジアにて実施されるレクチャーの受講、討論会への参加、施設見学、実務体験などを行い、合計して30時間（5日間）以上の体験型実習を行う。 なお、英語による実習を基本とするが、日本語で実施される場合は、英語通訳等の措置を行う。  実習を担当いただく企業・官公庁等が追加・変更された場合、複数の企業等が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メール等で連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		別途通知する。	別途通知する。_____		
テキスト	特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。				
参考文献	特に指定しない。				
履修条件	指導教員およびHIGO運営委員会での承認が必要				
評価方法・基準	e-ポートフォリオへのレポート提出を義務づける。オンライン体験実習の現場での質疑応答や発表・討論の積極的な態度、体験実習終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-153-99-1	2021通年	医学教育部(24670)	1	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO最先端研究セミナー【HIGO Cutting-Edge Seminar Series】(最先端研究セミナー)			西中村 隆一		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……25% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……5%					
授業の形態	講義				
授業の方法	教育コースが認定する学内外のセミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。1時間程度のセミナーをもって1回とみなす。				
授業の目的	健康生命医学は多様な学問が集結する学際性の高い研究領域であるだけでなく、21世紀の医療を担う新しい研究領域として急速に発展している。HIGO最先端研究セミナーは、健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、本教育コースの講義で習得した知識を深化させ、さらに講義では扱えない幅広い学問分野における最新の知識習得を図る。				
学修目標	【A水準】 健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、幅広い学問分野における最新の知識を習得して応用できる。 【C水準】 健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、幅広い学問分野における最新の知識を習得する。				
授業の概要	セミナーでは、講義で扱う学問分野に加えて、医学と薬学の枠を越えた健康生命科学に関連する学問分野を広く取り扱う。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		1-3年次（薬）もしくは1-4年次（医）にセミナーを聴講する。	基本的に毎週水曜の12:00から発生医学研究所1階カンファランス室で開催するが、場所の変更があり得るため、詳細はウェブサイトを参照のこと。		
テキスト		特に指定しない。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件					
評価方法・基準		教育コースが認定するセミナーを15回以上聴講し、少なくとも3回のレポート提出を義務づける。レポートに基づき、当該講演内容の理解度を評価する。			
使用言語		「英語」による授業			
教科書・資料の言語		「日本語と英語を併用した」テキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			



科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
YDH7-374-99-1	2021通年	医学教育部(24690)	1	10	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO最先端研究プロジェクト【HIGO Cutting-Edge Research Proje(最先端研究プロジェクト)			小椋 光、森岡 弘志		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……20% 3.グローバルな視野と行動力 ……15% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……15%					
授業の形態	その他				
授業の方法	文献調査・実験計画立案・実験遂行・課題発表と討議を4年間繰り返し行います。				
授業の目的	健康生命科学の視点を軸として、医学および薬学に関する専門的かつ高度な実験に取り組む。実験の結果得られた知見については適宜討論を行い、さらなる実験の立案・実施を進めるとともに、国内外の学会や国際学術誌への発表を行うことを目指す。				
学修目標	【A水準】 グローバルな健康生命科学パイオニア養成の理念に従い、健康生命科学、医学、医療薬学、生命科学領域における最先端の研究に自律的に取り組むことにより、専門分野および関連分野に関する優れた最先端研究活動を行うのに必要な高度な研究能力を身につけることを目標とする。  【C水準】 グローバルな健康生命科学パイオニア養成の理念に従い、健康生命科学、医学、医療薬学、生命科学領域における最先端の研究に取り組むことにより、専門分野および関連分野に関する最先端研究活動を行うのに必要な高度な研究能力を身につけることを目標とする。				
授業の概要	国内外の最新の研究動向を踏まえながら、健康生命科学・医学・薬学分野における研究の文献調査・実験計画立案・実験遂行・課題討議を通じたプロジェクトベースト・ラーニング型実習を行う。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		健康生命科学に関する発展的研究 1	国内の研究動向を把握して、研究テーマを提案する。		
テキスト	適宜、指導教員が指定する。				
参考文献	関連分野における最新の和文・英文の原著論文・総説				
履修条件	関連領域の先端の知識や実験の技能を必要とします。				
評価方法・基準	文献調査と実験計画立案（30%）、実験遂行（50%）、課題討議（20%）に関する能力を総合的に判断して評価する。国内外の学会発表や学術誌への論文発表の実績が上がった場合には、適宜、評価に加える。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-702-99-1	2021集中	医学教育部(24710)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGOリーダーシップトレーニング講座(リーダーシップトレーニング講座)			森岡 弘志		
学修成果とその割合					
2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……20% 3.グローバルな視野と行動力 ……40% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……40%					
授業の形態	演習				
授業の方法	演習、スモールグループ討論				
授業の目的	ビジネスや社会活動におけるセルフ・リーダーシップ、チーム・リーダーシップ、グローバル・リーダーシップを学び、実践的スキルを身につける。				
学修目標	【A水準】 セルフ・リーダーシップ、チーム・リーダーシップ、グローバル・リーダーシップを理論、ケーススタディなどを通して学ぶ。また、自分自身のリーダーシップ開発プランを作成、発表を行い、今後の行動につなげる。 【C水準】 セルフ・リーダーシップ、チーム・リーダーシップ、グローバル・リーダーシップを理論、ケーススタディなどを通して学ぶ。				
授業の概要	MBA（ビジネススクール）などで学ぶリーダーシップ論（研究）の流れとリーダーシップの全体像を理解する				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		3-Days MBAプログラム（リーダーシップ編） 3日間の演習プログラム	3-Days MBAプログラム（リーダーシップ編） 3日間の演習プログラム		
テキスト	World Class Leadership（World Scientific）、ワールドクラス・リーダーシップ（同友館）				
参考文献					
履修条件	事前課題図書 World Class Leadership（ワールドクラス・リーダーシップ）を読んでおくことが望ましい。				
評価方法・基準	3日間のリーダーシッププログラムへの受講状況（50％）とe-portfolioを利用したレポート（50％）で評価する。				
使用言語	「英語」による授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を 活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-142-99-1	2021通年	医学教育部(24570)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO研究プレゼンテーション【HIGO Research presentation】(HIGO研究プレゼンテーション)			小川 峰太郎		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……20%					
授業の形態		演習			
授業の方法		HIGOプログラムが認定する健康生命科学に関する国内外の学術集会に出席し、自ら得た研究成果に関する発表と討論を行う。			
授業の目的		健康生命科学の研究に従事するにあたって、研究で得た成果について国内外の学術集会で発表し、他の研究者と積極的に討論を行うことが不可欠である。HIGO研究プレゼンテーションでは、健康生命科学に関連する国内外の学術集会に出席し、他の研究者の発表に対して適切な討論を行い、さらに自らの研究成果を効果的に発表し討論する能力の習得を図る。			
学修目標		【A水準】 学術集会に出席し、他の研究者の発表に対して適切な討論を行い、自らの研究成果を効果的に発表し討論することができる。 【C水準】 学術集会に出席し、他の研究者の発表に対して討論を行い、自らの研究成果を発表し討論することができる。－			
授業の概要		HIGOプログラムが認定する健康生命科学に関する国内外の学術集会に出席し、研究者による学術発表を視聴し討論を行う。さらに、自ら得た研究成果に関する発表と討論を行う。発表前の準備過程や発表の状況に応じて教員から適宜アドバイスを受ける。出席した学術集会毎に、視聴した学術発表の内容とそれに対して行った討論の状況、自らの発表内容と討論の状況等を記したレポートを作成する。レポートの形式・分量は特に指定しないが、レポートに基づいて学術発表および討論の能力についての達成度が評価される。			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		-----	-----		
テキスト		特に指定しない。			
参考文献		特に指定しない。			
履修条件					
評価方法・基準		HIGOプログラムが認定する学術集会に合計2日間以上出席し、最低1回の発表とレポートの提出を義務づける。レポートに基づき、学術発表および討論の能力についての達成度を評価する。			
使用言語		「英語」による授業			
教科書・資料の言語		「英語」のテキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-143-99-1	2021後期	医学教育部(24580)	1, 2, 3, 4	2	月曜3限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO公共政策演習I()			上野 真也		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……35% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……35% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	演習				
授業の方法	講義とディスカッション				
授業の目的	21世紀の政治社会行政制度と、その背景となっている歴史・文化・価値観などについて理解する。				
学修目標	【A水準】 歴史の中の「いま」、私たちの揺らぎ、社会を支える価値や信頼、未来を語るに必要な歴史認識、公、希望などの課題について、深く知識を修得し、自分なりに理解できたことを効果的に伝え、人とディスカッションができるようになること。 【C水準】 様々な現代社会の課題について理解し、それについて自分の意見をもち、演習授業の中でそれを伝えることができること。				
授業の概要	現代社会では、日本のみならず世界各国でも、国や地方、市民と政治の関わり方、移民問題、世界市場化の問題などを、これまでの社会秩序を問い直す試みが続いている。この講義では、幅広い社会科学のアプローチから、個人の生き方や、幸福観、公正、信頼、歴史認識、未来の構想などについて自分の頭で考えるための基礎知識を修得することを目的とする。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	09/27	3 限目 GDP	GDP、HDI、幸福度。「社会の良さ」とは何か		
2	10/04	3 限目 勤労	生きづらさを加速する自己責任の社会		
3	10/11	3 限目 時代	時代を分けることと捉えること		
4	10/18	3 限目 多数決	私たちのことを私たちで決める		
5	10/25	3 限目 運動	異議申立と正統性――		
6	11/08	3 限目 私――	自分の声が社会に届かない		
7	11/15	3 限目 公正	等しく扱われること――		
8	11/22	3 限目 信頼	社会を支えるベースライン		
9	11/29	3 限目 ニーズ	税を捉える、皆で支える		
10	12/06	3 限目 歴史認識	歴史を開き、未来に繋ぐ		
11	12/13	3 限目 公――	生活の場、生産の場、補償の場を切り替える試み		
12	12/20	3 限目 希望	「まだーない」ものの力		
13	01/17	3 限目 ジェンダー	ジェンダー論の射程、フェミニズムの歴史		
14	01/24	3 限目 SDG s、地域循環共生圏	阿蘇の草原保全を事例に社会生態系システムについて		
15	01/31	3 限目 水俣病問題	水俣病問題の歴史と現代の課題について		
テキスト	井手英策・宇野重規・坂井豊貴・松沢祐作『大人のための社会科―未来を語るために』有斐閣、2017年。				
参考文献	関連論文を紹介する				
履修条件	HIGO社会文化科学総論の履修を完了していること。				
評価方法・基準	活発な意見交換による講義への貢献度と理解度、および毎回の講義後の小テストにより総合的に評価する。				
使用言語	「英語」による授業 (ただし、受講者が日本人学生の場合は日本語で授業)				
教科書・資料の言語	「英語以外の外国語」のテキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-144-99-1	2021後期	医学教育部(24590)	1, 2, 3, 4	2	木曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO公共政策演習II(自然災害と復興政策)			安部 美和		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力・・・20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力・・・20% 3.グローバルな視野と行動力・・・10% 4.地域社会を牽引するリーダー力・・・50%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power Point等を活用した対面式授業。令和2年7月豪雨災害の被災地訪問なども実施する（実施日については履修者と相談の上決定する）。この場合は、政策現場での体験やディスカッションから構成される。				
授業の目的	日本をはじめ各国の災害復興政策について学び、公共政策、合意形成をキーワードに地域の在り方について深く理解する。講義では被災地訪問を実施し、住民との対話や被災地での活動を通して復興における課題について討議する。				
学修目標	【A水準】 災害対策や復興について、現実の地域社会を構築していくための政策形成につながる知識、及びそれを実践的に生かすための知識を獲得し、将来、中央・地方政府、国際機関、非営利組織、ビジネス界などにおいて自らの専門能力を社会での実践に活用できるようになることを期待します。 【C水準】 災害対策や復興について、被災地の現状を把握する中で自身の専門性と関連付けた復興支援の在り方を自分の言葉で説明できる。				
授業の概要	この授業では、自然災害対策とそこからの復興を主にした地域政策のあり方をテーマとし、復興政策や合意形成をキーワードに地域課題や政策を考えます。受講生は、災害対策や復興政策の基本的な概念、理論や様々な地域づくり・政策の実践とそれに伴う問題について学びます。講義後半では、フィールドワークを予定し、震災復興の課題について支援者や住民から話を聞いたり、支援活動に参加するなど地域社会と交流しながら政策を学びます。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	09/30	ガイダンス	自然災害とその対策について受講者の状況を共有する		
2	10/07	世界各地の自然災害	各地域での災害発生状況について各災害種別の経年変化を把握する		
3	10/14	日本における自然災害	日本における被災経験とそれに伴う法律や制度の整備について学ぶ		
4	10/21	国際的な防災の取組 1	日本の国際防災協力の現状や多国間協力などの現状、持続可能な開発目標(SDGs)と防災		
5	10/28	国際的な防災の取組 2	日本の国際防災協力の現状や多国間協力などの現状、持続可能な開発目標(SDGs)と防災		
6	11/04	行政の危機管理	日本における行政と危機管理について		
7	11/11	行政の危機管理	日本における行政と危機管理について		
8	11/18	合意形成 1	災害復興時の集団移転事例をもとに合意形成プロセスとその課題について理解する		
9	11/25	合意形成 2	災害復興時の集団移転事例をもとに合意形成プロセスとその課題について理解する		
10	12/02	平成28年熊本地震と復興	熊本地震の特徴と震災後の被災地理解		
11	12/09	被災地理解	令和2年7月豪雨による被災及びその復興と地域コミュニティ		
12	12/16	被災地理解	令和2年7月豪雨による被災及びその復興と地域コミュニティ		
13	12/23	被災地理解	令和2年7月豪雨による被災及びその復興と地域コミュニティ		
14	01/13	被災地理解	令和2年7月豪雨による被災及びその復興と地域コミュニティ		
15	01/20	ディスカッション（まとめ）	自然災害に対する対策や復興政策を通して今後の地域社会の在り方についてまとめる		
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめたプリントを配布する。				
参考文献	神戸都市問題研究所編、1996、『震災復興の理論と実践』、勤草書房 植村善博、2015、『環太平洋地域の地震災害と復興』、古今書院 林勲、2010、『自然災害と復興支援』、明石書店 D.P.アドルリッチ著・石田祐／藤澤由和訳、2015、『災害復興におけるソーシャル・キャピタルの役割とは何か』、ミネルヴァ書房 Robert Picciotto, Warren van Wicklin and Edward Rice, 2001, Involuntary Resettlement, World Bank Series on Evaluation and Development Volume 2. Rajib Shaw (edt), 2015, Recovery from the Indian Ocean Tsunami, Springer. Rajib SHaw (edt), 2014, Community Practices for Disaster Risk Reduction in Japan, Springer.				
履修条件					
評価方法・基準	事前学習や講義中のディスカッション、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目標】に掲げた事項についての理解度を評価します。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト（必要に応じて、講義の中で資料を配布します。）				
実務経験を 活かした授業	該当（熊本地震以降、被災地で大学生ボランティアとの活動を続けている教員が担当します。講義の中では、令和2年7月豪雨災害の被災地など震災復興の現場に参加できるよう計画しています。）				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-146-99-1	2021後期	医学教育部(24610)	1, 2, 3, 4	2	火曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO技術マネジメント演習I(HIGO 技術マネジメント演習Ⅰ)			古田 龍輔		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……30% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	毎回、受講生の発表と相互批評で進行する。起業論の専門家である担当教員は、受講生が社会ビジネスを構想するのに必要な情報を提供し、フィールド調査の組み立てやビジネスモデル構築のアドバイスをする。				
授業の目的	本科目は、医薬系専門職のための起業講座である。受講生は、起業家マインドや起業に必要な知識を備えることによって、その専門能力を何十倍にも増幅させ、社会に貢献できるビジネスモデルを構想できるようになることを目標とする。				
学修目標	【A水準】 この科目では、毎回のクラス発表やクラス討議を通じて、グループまたは個人で営利または非営利のビジネスモデルを、最初の着想から実現可能レベルまで構築することを学ぶ。  【C水準】 この科目では、毎回のクラス発表やクラス討議を通じて、グループまたは個人で営利または非営利のビジネスモデルというものが理解でき、最低限でも受理可能なレベルの作品を考案することを学ぶ。				
授業の概要	起業は、営利目的だけでなく非営利のビジネスとしても行われる。ほとんどの起業家は、経済的自立を目的として起業に踏み切るが、例外的に野心的で有能な起業家は、自らの起業で世界の変革をしようと試みる。マイクロソフト・アップル・グーグル・フェイスブック・ウーバーなどの創業者達は、まさにこの極めて稀な種族である。 日本で「ベンチャー」と言うと、すぐに技術的成功と同一視されるのが問題である。起業の成否は技術だけではなく、十分な資金や多くの有能な人々を巻き込んだビジネスモデルの優劣で決まる。この意味で起業とは、技術・資金・人的資源の組織的なマネジメントだと考えて良い。 この授業では、毎回のクラス発表やクラス討議を通じて、営利または非営利のビジネスモデルを、最初の着想から実現可能レベルまで構築するための知識やマインドを学ぶ。グループごとの事業案は、可能な限り高い創業理念を持ち日本国内で起業する事を条件として、自由に選んで構わない。 前半部のグループワークで仮説的なビジネスモデルを構想したあとは、その実現可能性を検証するための情報収集を、熊本市内の企業をまわって実施する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	09/28	概要説明_____	講義概要等の説明_____		
2	10/05	文献学修 1	文献学修_____		
3	10/12	文献学修 2	文献学修_____		
4	10/19	文献学修 3	文献学修_____		
5	10/26	文献学修 4	文献学修_____		
6	11/09	企業訪問 1	企業訪問_____		
7	11/16	考察 1 _____	考察_____		
8	11/30	企業訪問 2	企業訪問_____		
9	12/07	考察 2 _____	考察_____		
10	12/14	企業訪問 3	企業訪問_____		
11	12/21	考察 3 _____	考察_____		
12	01/11	ビジネスモデルの現実化 1	得られた情報にもとづくビジネスモデルの現実化		
13	01/18	ビジネスモデルの現実化 2	得られた情報にもとづくビジネスモデルの現実化		
14	01/25	ビジネスモデルの現実化 3	得られた情報にもとづくビジネスモデルの現実化		
15	02/01	事業計画案の最終プレゼン	事業計画案の発表_____		
テキスト	特に指定しない。				
参考文献	必要に応じて教室で指示する。				
履修条件	「HIGO社会文化科学総論」の単位を修得済みの者				
評価方法・基準	最終的なビジネスモデルの発表を見て評価する。-----				
使用言語	「英語」による授業 (英語)				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト (英語)				
実務経験を活かした授業	非該当				

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-147-99-1	2021前期	医学教育部(24620)	1, 2, 3, 4	2	金曜2限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO技術マネジメント演習II()			蜂谷 紀之		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力……30% 3.グローバルな視野と行動力……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力……10%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	講義とディスカッション				
授業の目的	日本の公害の歴史を紹介する。とくに八代海沿岸部でメチル水銀の深刻な汚染により発生した水俣病については、歴史・社会および社会医学など多面的な観点から一連の問題を取り上げる。公害の歴史では、19世紀の終わりころには鉱工業の発展にともなう農・漁業への被害が初期の問題として出現していたものが、戦後の公害問題では、発展した経済・社会の下、水俣病のように地域住民の健康被害に問題の中心が変化した。水俣病の原因企業は患者発生地域において、雇用創出を含む地域経済の原動力としての役割を担ってきた。この状況は、水俣病被害についての地域社会の認識にも大きな影響を与えた。これは、四大公害問題がピークとなった1960年代後半に国の環境政策の転換をもたらした背景などとの対比でも考える。社会的には水俣病発生地域などで患者差別も大きな問題となった。この要因については、地域の経済構造との関係のほか、近年明らかにされた疫学的エビデンスに基づいた議論も紹介する。今日のグローバルな問題としては、一般自然環境にも存在している低濃度のメチル水銀の問題を考える。				
学修目標	【A水準】 水俣病をはじめとする公害の歴史からどのような教訓を得るか、その根拠・理由とともに説明できる。 環境化学物質の健康リスク対策の具体的な手法やその限界などについて説明できる。 【C水準】 公害とくに水俣病の歴史についてその概要を理解する。 今日、水俣条約が締結されるに至ったグローバルな水銀の環境問題を理解する。				
授業の概要	・日本の公害の歴史の概観 ・水俣病の歴史的・社会的問題 水俣病の発生から1956年の「水俣病公式確認」と原因究明／1960年代の水俣病の社会的認識と被害の潜在化／新潟水俣病の発生、環境政策の転換、水俣病の原因に関する政府統一見解、環境庁発足／熊本水俣病第一次訴訟、公害被害に対する司法の貢献／認定患者の増加と市民の対立・患者差別、住民健康調査と「第三水俣病問題」／水俣湾の環境復元、1995年政府解決、チッソ金融支援／国と熊本県の行政責任、2009年の水俣病被害者救済等の特別措置法／エビデンスに基づく医療・政策立案、など ・メチル水銀の健康リスク評価と対策については、現在のメチル水銀の「耐容摂取量」、低濃度メチル水銀の健康リスクコミュニケーション、水俣条約の意義、厚生労働省の妊娠中の魚の摂取についての注意事項、など。 なお初回の講義で、水銀濃度の測定希望者には毛髪採取を行う。分析は国立水俣病総合研究センターで行い、後日結果を受け取る。これら情報を通じて、水俣条約の背景にもなっている低濃度の環境水銀の問題を身近なものとしてとえられることが期待できる。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	04/16	序) 水俣病とメチル水銀	水俣病とは？メチル水銀の発見と毒性、水銀測定希望者の毛髪採取（結果は後日受け取れる）		
2	04/23	日本の近代化と公害 1（公害の始まり）	鉱工業の発展と公害の発生：足尾鉍毒事件・土呂久鉍害・本州製紙江戸川事件		
3	05/07	日本の近代化と公害 2（四大公害病）	水俣病・イタイイタイ病・大気汚染による健康被害		
4	05/14	水俣病の発生	チッソの創業と水俣の発展、環境と住民への影響		
5	05/21	水俣病被害の拡大と非顕在化	水俣病の公式確認（1956年）から地域社会における潜在被害の拡大まで		
6	05/28	水俣病の原因究明とその確定	熊本大学などの原因究明、新潟水俣病の発生、公害対策基本法など政策の転換と水俣病についての政府統一見解		
7	06/04	住民健康被害の補償問題	住民の健康被害の顕在化と水俣病認定申請の増加		
8	06/11	被害の救済と司法の役割	熊本水俣病第一次訴訟と補償協定、国の責任の確定		
9	06/18	地域社会における水俣病問題	水俣病補償と患者差別、「もやいなおし」		
10	06/25	大規模住民健康調査の疫学的評価	水銀の環境汚染、1975～81年の水俣市住民健康調査		
11	07/02	環境復元と問題解決に向けて	水俣湾環境復元事業、チッソ金融支援、水俣病被害者の救済等の特別措置法（2009年）		
12	07/09	[2限] リスクガバナンスの観点から見た水俣病	継続する損害賠償訴訟、環境化学物質のリスクガバナンスとリスク負担の不公平性		
13	07/09	[3限] メチル水銀の健康リスクマネジメント	メチル水銀の健康影響についての国際機関および日本のリスク評価の現状		
14	07/30	世界の水銀汚染問題	世界の水銀汚染と国際水銀条約（2013）		
15	08/06	発表と討論「水俣病の教訓から学ぶこと」	「水俣病の教訓から学ぶこと」をテーマに発表、討論を行う		
テキスト	講義資料を配付				
参考文献	The Social Scientific Study Group of Minamata Disease, National Institute for Minamata Disease (2000), What We Have Learned from the Experience of Minamata Disease - Issues during the Occurrence of the Disease and up to 1968 - (国水研HPより無料ダウンロード可、日本語版「水俣病の悲劇を繰り返さないために」もあり)  Noriyuki Hachiya (2006) The History and the Present of Minamata Disease: Entering the second half a century. Jpn Med Ass J, 49(3): 112-118 （日本医師会 JMAJ HPより無料ダウンロード可） ほか				
履修条件					
評価方法・基準	討論会での発表、レポートによる_____				
使用言語	「英語」による授業				

実務経験を 活かした授業	非該当
-----------------	-----



科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-149-99-1	2021前期	医学教育部(24640)	1, 2, 3, 4	2	金曜4限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO異文化コミュニケーション演習I(HIGO異文化コミュニケーション演習Ⅰ（異文化共生論））			Andrew Neil Mitchell		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……40% 3.グローバルな視野と行動力 ……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態		講義・演習			
授業の方法		Power Point will be used in the lectures, and active participation in the discussion is encouraged.			
授業の目的		This course helps you understand the symbiosis between humans and nature, symbiosis among humans, and symbiosis among different cultures and nations, focusing on technology, disasters, multiculturalism in the West and Japan, and by considering various global issues			
学修目標		【A水準】 Students will have a very clear grasp of the various issues discussed, as well as a strong understanding of the various theories used to frame these issues 【C水準】 Students will understand to an acceptable degree the various issues discussed, and have an idea about the different ways we use theory to describe them.			
授業の概要		In this course you will learn about the problems that can arise from use of technology and vulnerability to man-made disasters; the history and problems associated with multiculturalism; and the interplay between nations, international institutions, and ideas in the modern world.			
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		Introduction	Introduction		
2		The automation paradox – can machines make	The automation paradox – can machines make		
3		AI and death – who decides who dies in drones and cars?	AI and death – who decides who dies in drones and cars?		
4		The logic and ethics of algorithms	The logic and ethics of algorithms		
5		How can we critically think? Looking at science, law, and ethics	How can we critically think? Looking at science, law, and ethics		
6		Black Swans and the inevitability of disaster	Black Swans and the inevitability of disaster		
7		The global economy and financial meltdowns	The global economy and financial meltdowns		
8		Multiculturalism in the UK	Multiculturalism in the UK		
9		Multiculturalism in the US	Multiculturalism in the US		
10		Multiculturalism in Japan - The foreign experience of the Kumamoto earthquakes	Multiculturalism in Japan - The foreign experience of the Kumamoto earthquakes		
11		The EU and the post-War dream of a united Europe	The EU and the post-War dream of a united Europe		
12		COVID-19 and the worldwide response	COVID-19 and the worldwide response		
13		The power of ideas (and nightmares)	The power of ideas (and nightmares)		
14		The Clash of Civilisations or a chance for Perpetual Peace?	The Clash of Civilisations or a chance for Perpetual Peace?		
15		Review	Review		
テキスト		Textbooks are not specified, and handouts will be distributed if necessary.			
参考文献		The Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Disaster: Investigating the Myth and Reality, 2014			
履修条件		Required to have completed “HIGO Principles of Social and Cultural Sciences” . Students in the old curriculum can take this course as an alternative credits of cross cultural communication 3.			
評価方法・基準		Grading will be based on active class participation, occasional presentations, and the final report.			
使用言語		「英語」による授業(英語)			
教科書・資料の言語		「英語」のテキスト			
実務経験を活かした授業		非該当			

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-150-99-1	2021前期	医学教育部(24650)	1, 2, 3, 4	2	金曜3限, 金曜5限
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO異文化コミュニケーション演習II(HIGO異文化コミュニケーション演習II (生命倫理と文化))			KOIKE URSULA HELENA		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……4% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……35% 3.グローバルな視野と行動力 ……51% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	講義				
授業の方法	Designed as face-to-face class with English reading, discussions and student presentations. *If necessary and announced, this course will be online (live broadcasting by ZOOM ) and supported by Moodle. Contents will be adjusted to the teaching method.				
授業の目的	This class will cover history, social/cultural issues, ethics and science of longevity (part 1) and deepen understanding of humanitarian efforts in a global context (part 2).				
学修目標	【A水準】 Students are able to see a topic from multiple perspectives. They actively engage in discussion. Students express their profound understanding about issues of "longevity" and "humanitarianism" in a global context displaying originality, structured and critical thinking. Students apply the academic skills they acquired during the course. 【C水準】 Students know about the importance of a multidisciplinary perspective. They engage in discussion. Students sufficiently express their understanding about issues of "longevity" and "humanitarianism" in a global context endeavoring to show originality, structured thinking and mastering academic skills.				
授業の概要	Individual and large-scale projects to promote human welfare in areas afflicted by war or famine have a long and rich history and form the basis of many contemporary societal and political discussions. Part 1 looks at multidisciplinary perspectives on life longevity covering history, social/cultural issues, ethics and science of life-extensionism and the improvement of life quality. Part 2 will examine several different case studies concerning historical, political, scientific and other areas of humanitarian efforts.				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	04/16	[3rd] Quitain: Introduction of Themes and Topics of Part 1	Introduction and description of course contents and requirements.		
2	04/23	[3rd] Wang: Politics and Welfare - Changes on Japanese Welfare Policy After 1973	1973 is called the first year of the welfare era in Japan because of Prime Minister Tanaka Kakuei`s reform on welfare policy. We discuss the changes on Japanese welfare policy after 1973.		
3	05/07	[3rd] Sims: Music and Life	Students will learn how music is related to life quality, spirituality, and individuality in various world cultures.		
4	05/14	[3rd] Rickard: Multicultural Society, Migration and How We Imagine`Global Community`	This lecture will look at current trends in global migration in terms of our globalized political economic relations.		
5	05/21	[3rd] Koike: Perceptions of Longevity in Pre-Modern Japan	Longevity and aging in classical Japanese literature.		
6	05/28	[3rd] Koike: Switzerland's License to Die	Looking at the background of assisted suicide and the discussion about assisted suicide organizations in Switzerland.		
7	06/04	[3rd] Quitain: Life Extensionism in the Network Age	Science-related approaches to life extensionism in this era of Super Smart Society (Society 5.0) and Industry 4.0 will be introduced and analyzed.		
8	06/11	[3rd] Quitain: Assessment and Concluding Discussions	Review and mid-term final presentation.		
9	06/18	[5th] Koike: Introduction of Themes and Topics of Part 2; Origin of the Red Cross	Introduction and description of course contents and requirements. The foundation of the Red Cross by Henry Dunan; Europe in the 19th Century and the history of international humanitarian efforts.		
10	06/25	[5th] Koike: History of the Red Cross in Japan	Seinan War and Hakuaisha; Kumamoto as birth place of the Red Cross.		
11	07/02	[5th] Sims: Contemporary Humanitarianism Projects in Japan	Students will learn about ongoing humanitarianism projects in Japan, as well as the challenges they face.		
12	07/09	[5th] Wang: Japan`s Changing ODA Policy to China	In October 2018, Japan ended its official development assistance (ODA) to China after almost 40 years. This course aims at analyzing the background, changes and effects of Japan`s ODA policy to China.		
13	07/16	[5th] Rickard: Humanitarianism and Social Conflict	Specific focus on contemporary efforts to deal with refugee migration around the world.		
14	07/30	[5th] Rickard: Aid and Development as an Industry	The class will look at international cooperation and different forms of aid agencies.		
15	08/06	[5th] Koike: Assessment and Concluding Discussions	Wrap-up of the course contents. Final presentation.		
テキスト	Reading material to be distributed.				
参考文献	Reading material to be distributed.				
履修条件	Number of students is limited to classroom capacity and method of teaching, which is 40. The minimum number of students is 3. New students will not be accepted after the 2nd class.				
評価方法・基準	Short lecture report or test on each session (50%) and mid-term and final assignment (50%). Students are required to list all sources when presenting any data, text or ideas that are not originally their own. Any student				

評価方法・基準	found to be plagiarizing will receive a zero for their work.
使用言語	「英語」による授業 (English)
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト (English)
実務経験を 活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-152-99-1	2021通年	医学教育部(24665)	1, 2, 3, 4	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
HIGO社会文化科学課題演習()			上野 真也, 安部 美和, Andrew Mitchell, 河村 洋子, 田辺 寿一郎, 佐々木 葉月		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……40% 3.グローバルな視野と行動力 ……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……10%					
授業の形態	その他				
授業の方法	授業は、個人あるいはグループでの指導であり、各自の課題に関するレポートを添削指導することが中心となる。				
授業の目的	この授業では、これまでに学んだ社会文化科学の知識を踏まえて、社会文化科学に関わる理論的あるいは実践的課題について最終レポートを作成する。最終レポートの分量は2万字以上（英文では5000語以上）で、300語程度の英文アブストラクトをつける。				
学修目標	【A水準】 これまでに学んだ生命健康科学と社会文化科学の知識を踏まえて、社会文化科学に関わる理論的あるいは実践的課題について正確に考察し、その内容を伝える最終レポートを作成すること。 【C水準】 研究テーマに関してレビューを行い、必要な調査を実施し、自分の考えをまとめ、論理的な文書としてまとめることができること。				
授業の概要	最終レポートを作成するための指導を行う				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		社会文化科学課題演習	最終レポートの課題の検討		
2		社会文化科学課題演習	最終レポートの課題の検討		
3		社会文化科学課題演習	最終レポートの課題の検討		
4		社会文化科学課題演習	最終レポートの課題の決定		
5		社会文化科学課題演習	最終レポート作成への助言: 趣旨・方法論		
6		社会文化科学課題演習	最終レポート作成への助言: データ・資料収集		
7		社会文化科学課題演習	最終レポート作成への助言: 全体の構成		
8		社会文化科学課題演習	最終レポート作成への助言: 各章の構成		
9		社会文化科学課題演習	最終レポート作成への助言: 首尾一貫性		
10		社会文化科学課題演習	最終レポート作成への助言: 独創性		
11		社会文化科学課題演習	最終レポートの草稿作成		
12		社会文化科学課題演習	最終レポートの草稿作成		
13		社会文化科学課題演習	最終レポートの草稿作成		
14		社会文化科学課題演習	最終レポートの草稿作成		
15		社会文化科学課題演習	最終レポートの完成、提出		
テキスト	特に指定はしない。				
参考文献	授業中に適宜示す。				
履修条件	特になし				
評価方法・基準	最終レポートに相応しいレポートが作成できたか否かを基準とし、評価をします。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				